



- 1. 医薬品マスタDB**
商品名、製造販売会社、薬価（医療用のみ）などに関するデータ
- 2. 医薬品包装単位DB**
JANコードや包装単位コードに関するデータ
- 3. 官報告示情報**
官報告示された医薬品の情報提供サービスデータ
- 4. 12桁新旧比較DB**
12桁コードに変更があった医薬品の移行データ
- 5. 添付文書DB**
テキスト版（一部加工）、PDF版の添付文書データ
- 6. 改訂情報DB**
添付文書の改訂に関するデータ
- 7. インタビューフォームDB**
PDF版のインタビューフォームデータ
- 8. 医薬品リスク管理計画DB**
医薬品リスク管理計画（RMP）に関するデータ
- 9. 先発後発一般名処方DB**
一般名処方の対象医薬品に関するデータ
- 10. 後発医薬品DB**
先発医薬品、後発医薬品の判別データ
- 11. バイオ後続品DB**
バイオ後続品の判別データ
- 12. 成分規格分類DB**
成分、規格、剤形による分類データ
- 13. ブランドグループDB**
ブランド名による分類データ
- 14. 医薬品名称分割DB**
商品名、一般名の要素を分割・分類したデータ
- 15. 標榜薬効DB**
医薬品の標榜薬効名に関するデータ
- 16. ハイリスク候補薬剤DB**
ハイリスク候補薬の判別データ
- 17. 特定薬剤治療管理DB**
特定薬剤治療管理の対象医薬品の判別データ
- 18. 糖尿病薬分類DB**
インスリン製剤とSU剤の判別データ
- 19. 吸入薬指導加算候補薬剤DB**
呼吸器疾患向け吸入薬の判別データ
- 20. 在宅自己注射DB**
在宅自己注射の対象医薬品の判別データ
- 21. 向精神薬候補薬剤DB**
向精神薬多剤投与や長期投与などの対象医薬品の判別データ
- 22. クロルプロマジン換算DB**
クロルプロマジン換算に関するデータ
- 23. 長期投与制限DB**
新薬、麻薬、向精神薬などの投与日数制限データ
- 24. 生物由来製品等DB**
特定生物由来製品、生物由来製品、指定再生医療等製品の判別データ
- 25. 処方せん医薬品DB**
処方せん医薬品の判別データ
- 26. 相互作用DB**
医薬品、飲食物間の相互作用に関するデータ
- 27. 成分DB**
有効成分に関するデータ
- 28. 成分量DB**
有効成分の含有量に関するデータ
- 29. 同種同効薬DB**
同種同効薬の分類データ
- 30. アンチドーピングDB**
ドーピング禁止物質を含有する医薬品の判別データ
- 31. ATC分類DB**
WHOのATC分類の割り当てデータ
- 32. 英名DB**
商品名、一般名の英名データ
- 33. 配合変化DB**
配合変化に関するデータ
- 34. pH・溶解液DB**
注射薬のpH及び溶解液として使用される医薬品に関するデータ
- 35. 用法・用量DB**
用法・用量に関するデータ
- 36. タイミングDB**
医薬品の使用タイミングに関するデータ
- 37. 腎機能低下時の注意DB**
腎機能低下時の投与注意情報に関するデータ
- 38. 臨床検査項目とのリンクDB**
臨床検査項目と禁忌病名や副作用とのリンクデータ
- 39. 検査関連DB**
使用時に影響が出る検査と実施が必要な検査に関するデータ
- 40. 適応病名DB**
添付文書の適応病名に関するデータ

41. 適応病名とレセプト病名とのリンクDB

適応病名とレセプト病名とのリンクデータ

42. 禁忌病名DB

添付文書の禁忌病名に関する投与制限データ

43. 禁忌病名とレセプト病名とのリンクDB

禁忌病名とレセプト病名とのリンクデータ

44. 問診疾患禁忌病名DB

患者の併発疾患に対する投与制限データ

45. 処方矛盾DB

適応病名と禁忌病名とが相反する薬剤のチェックデータ

46. 副作用DB

添付文書の副作用に関するデータ

47. 副作用分類DB

副作用をカテゴリ別に分類したデータ

48. 副作用初期症状DB

副作用の初期症状に関するデータ

49. 問診副作用DB

重篤副作用疾患の初期症状に関するデータ

50. 医薬品アレルギーDB

医薬品アレルギーに対する投与制限データ

51. 飲食物アレルギーDB

飲食物アレルギーに対する投与制限データ

52. 小児・高齢者・妊婦・授乳婦・性別注意DB

患者属性の注意事項に関するデータ

53. 職業DB

服用時に注意が必要な職業や作業に関するデータ

54. せん妄リスク薬候補薬剤DB

せん妄を起こす恐れのある医薬品に関するデータ

55. 薬剤情報提供DB

薬剤情報提供書用のデータ

56. 粉碎分割一包化DB

粉碎、分割、一包化の判別データ

57. 剤形・薬剤識別・カラーDB

剤形（内服）や識別記号、色調に関するデータ

58. 使用及び調剤上の注意DB

使用時、調剤時の注意事項に関するデータ

59. 栄養管理DB

栄養組成成分に関するデータ

60. Naイオン・Kイオン当量DB

電解質（Na、K）に関するイオン当量データ

61. エネルギー量DB

熱量に関するデータ



データベースの概要

医療用医薬品およびOTC医薬品のマスタデータベースです。

薬品の基本データとしてご利用いただけます。

また、医療用医薬品は官報告示にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能です。

データベースの特徴

医療用医薬品とOTC医薬品に対応

本データベースの収載範囲は以下の通りです。

医療用医薬品

「薬価基準収載医薬品」および「生活改善薬」の約22,000品目を収載しています。（2022年1月現在）

個別医薬品コード（通称：YJコード）をキーコードとしており、電子カルテや電子薬歴、保険請求などの各種医療情報システムとの連携が可能です。

個別医薬品コードは、保険請求（レセプト電算処理）で使用するレセプト電算コードに変換してご利用いただけます。

参考情報：一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）提供マスタ、官報、薬務公報、
独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）公開情報、添付文書情報など

OTC医薬品

医薬部外品、指定医薬部外品を除く約12,000品目を収載しています。（2022年1月現在）

DIR独自コードをキーコードとしています。

参考情報：セルフメディケーション・データベースセンター（JSM-DBC）提供情報、
独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）公開情報、官報、薬務公報、添付文書情報など

収載項目

メインマスタ	
医療用医薬品	個別医薬品コード（通称：YJコード）
	薬効分類番号
	毒劇区分（覚醒剤、麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬）
	剤形コード
	商品名
	一般名
	規格
	商品名および一般名の読み仮名
	製造会社コード
	販売会社コード
	薬価
	経過措置フラグ
	結核フラグ
	薬価未収載フラグ
OTC医薬品	医薬品コード（独自コード）
	薬効分類番号（独自コード）
	投与経路区分（内服薬・外用薬）
	商品名
	商品名の読み仮名
	製造会社コード
	販売会社コード
サブマスタ（薬効）	
医療用医薬品	薬効分類番号
	薬効分類名
OTC医薬品	薬効分類番号（独自コード）
	薬効分類名

医療用医薬品の薬効分類番号は、日本標準商品分類番号の上2桁の「87」を省略した1～4桁の番号により、4階層で分類構成されています。

- 1桁目のコード：大分類
- 2桁目のコード：中分類
- 3桁目のコード：小分類
- 4桁目のコード：細分類

例

『カロナール錠200』 薬効分類番号：1141

- 大分類：神経系及び感覚器官用医薬品
- 中分類：中枢神経系用薬
- 小分類：解熱鎮痛消炎剤
- 細分類：アニリン系製剤

サブマスタ（剤形）	
医療用医薬品	剤形コード
	剤形名

医療用医薬品の剤形コードは、1～3桁の3階層で分類構成されています。

1桁目のコード：大分類

2桁目のコード：中分類

3桁目のコード：小分類

例

『ロキソニン細粒10%』 剤形コード：113

大分類：内服薬

中分類：散剤

小分類：細粒

サブマスタ（製造・販売会社）	
医療用医薬品	製造・販売会社コード
	製造・販売会社名
OTC医薬品	製造・販売会社コード
	製造・販売会社名

サブマスタ（OTC医薬品分類）	
OTC医薬品	要指導医薬品
	OTC医薬品分類*

* OTC医薬品分類は、第1類医薬品、指定第2類医薬品、第2類医薬品、第3類医薬品、調査中の5つで構成されています。

豊富な検索キー

多数の検索キーを作成し、検索時の多様な入力に対応しています。

品名検索キー			
	データ	説明	例
医療用医薬品	商品名・一般名 検索キー (標準版)	商品名および一般名の末尾までの仮名(ひらがな)、アルファベット、数字などの読み仮名データを作成しています。 読み仮名を「先頭」「メイン」「中間」「剤形」「末尾」の5つに区分することにより、使用する区分を選択した検索が可能です。	商品名： 『ハーゾジゴキシンKY錠0.125』 検索キー： (1) はーふ (2) じごきしん (3) KY (4) 121 (5) 0.125 ※剤形に該当する(4)は、剤形コードを使用
	商品名・一般名 検索キー (4文字版)	仮名(ひらがな)、アルファベット、数字などで4文字の検索キーを作成しています。	商品名： 『25mgアリナミンF糖衣錠』 検索キー： 「にじゅう」「ありなみ」 「25MG」 一般名： 『フルスルチアミン錠』 検索キー： 「ふるする」「VB1」
OTC医薬品	商品名検索キー (標準版)	仮名(カタカナ)、アルファベットなどで商品名の末尾までの検索キーを作成しています。	商品名： 『NewマイティアCL-a』 検索キー： 「NewマイティアCLa」 「ニューマイティアCLa」 「マイティアCLa」

製造・販売会社検索キー			
	データ	説明	例
医療用医薬品	製造・販売会社 検索キー (4文字版)	仮名(ひらがな)、アルファベットなどで4文字の検索キーを作成しています。	製造販売会社： 『祐徳薬品』 検索キー： 「ゆうとく」 「ゆーとく」(ハイフン) 「ゆーとく」(長音符)
OTC医薬品	製造・販売会社 検索キー (4文字版)	仮名(カタカナ)、アルファベットなどで4文字の検索キーを作成しています。	製造販売会社： 『日本臓器製薬』 検索キー： 「ニホンゾ」 「ゾウキセ」

データベースの機能

医薬品マスタの作成およびメンテナンス

電子カルテや電子薬歴、保険請求などの各種医療情報システムにおいて、管理・運用するための基本データとしてご利用いただくことが可能です。

なお、医療用医薬品は個別医薬品コードをキーコードとし、OTC医薬品はJANコードに対応したDIR独自コードをキーコードとしているため、各種データベースとの連携が可能です。

※OTC医薬品のJANコードについては、セルフメディケーション・データベースセンター（JSM-DBC）から入手した約8,200コードに対応しています。（2022年1月現在）

薬品の検索

豊富な検索キーを保持しているため、多様な検索方法に対応することが可能です。

保険請求における情報の活用

個別医薬品コードは保険請求（レセプト電算処理）で使用するレセプト電算コードに変換することができるため、本データベースの各種情報を保険請求にご利用いただくことが可能です。

発表にあわせた提供（リアルタイムに対応）

官報告示にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能なため、最新の医薬品マスタ情報をご利用いただけます。



データベースの概要

医療用医薬品の個別医薬品コードに対し、JANコード、調剤包装単位・販売包装単位コード（GTIN）を関連付けたデータベースです。HOTコードにも対応しています。

OTC医薬品については、DIR独自コードに対してJANコードを関連付けています。

薬品の商品管理などにご利用いただくことが可能です。

データベースの特徴

医療用医薬品

商品コード（JAN/GTIN）データベース（提供元：株式会社メディコード）に対し、当社医療用医薬品マスタの個別医薬品コードを関連付けており、HOTコードにも対応しています。

例

『ロキソニン錠60mg』のデータ（概略）

個別医薬品コード	JANコード	調剤包装単位コード	販売包装単位コード	HOTコード	商品名	規格容量
1149019F1560	4987081105403	04987081753352	14987081105400	1009880010204	ロキソニン錠60mg	60mg/錠 PTP 10錠×10
1149019F1560	4987081105410	04987081753352	14987081105417	1009880010205	ロキソニン錠60mg	60mg/錠 PTP 10錠×100
1149019F1560	4987081105427	04987081753352	14987081105424	1009880010206	ロキソニン錠60mg	60mg/錠 PTP 10錠×300
1149019F1560	4987081105434	04987081753451	14987081105431	1009880010102	ロキソニン錠60mg	60mg/錠 バラ 1000錠×1缶
1149019F1560	4987081105458	04987081753406	14987081105455	1009880010302	ロキソニン錠60mg	60mg/錠 PTP 21錠×150

OTC医薬品

商品コード（JAN）データベース（提供元：セルフメディケーション・データベースセンター（JSM-DBC））に対し、当社OTC医薬品マスタの医薬品コード（DIR独自コード）を関連付けています。

例

『ロキソニンSプレミアム』のデータ（概略）

医薬品コード (DIR独自コード)	商品名	JANコード	内容量	内容量単位	入数	入数単位
A00301198054	ロキソニンSプレミアム	4987107619006	12	錠	1	個
A00301198054	ロキソニンSプレミアム	4987107619013	24	錠	1	個

データベースの機能

薬品の在庫管理および発注業務を支援

薬品の在庫管理や発注管理のシステムなどにご利用いただけます。

JAN/GTIN/HOTコードを保持しているため、外部システムとの連携が可能です。



データベースの概要

医療用医薬品の「薬価収載」および「経過措置」に関する官報告示情報です。

当社ホームページにおいて、「新薬告示情報」および「経過措置医薬品告示情報」として“リアルタイム”で掲載しており、官報告示情報を速やかに確認することが可能です。

データベースの特徴

官報で告示された情報（薬品名、規格単位、薬価、および経過措置期限）に個別医薬品コードや製造会社・販売会社などの情報を付加して掲載しています。

薬価収載の官報告示情報

掲載項目
告示日
個別医薬品コード（通称：YJコード）
規制区分
商品名
一般名
規格
製造会社
販売会社
薬価

経過措置の官報告示情報

掲載項目
告示日
個別医薬品コード（通称：YJコード）
規制区分
商品名
一般名
規格
製造会社
販売会社
薬価
経過措置期限

データベースの機能

「薬価収載」および「経過措置」情報の確認

医療用医薬品の「薬価収載」および「経過措置」に関する官報告示が行われた際に、速やかに告示の内容を確認することができるため、医薬品マスタの管理などにご利用いただくことが可能です。



データベースの概要

薬品の販売名変更に伴い、新販売名と旧販売名のそれぞれの個別医薬品コードを関連付けたデータベースです。

医薬品マスタの管理などにご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収録の全ての薬品を網羅しています。

データベースの特徴

販売名変更に伴う旧販売名の個別医薬品コードから新販売名の個別医薬品コードへの移行に際し、新旧の個別医薬品コードを関連付けて保持しています。

例

『メマンチン塩酸塩OD錠5mg「武田デバ」』（旧販売名）と
『メマンチン塩酸塩OD錠5mg「NIG」』（新販売名）のデータ（概略）

旧販売名の個別医薬品コード	新販売名の個別医薬品コード
1190018F4189	1190018F4251

データベースの機能

販売名変更に伴う個別医薬品コードの移行

旧販売名から新販売名への移行に際し、旧個別医薬品コードの情報を継続して保持することが可能です。

電子カルテや電子薬歴システムにおける薬歴管理などにおいて、処方チェックの漏れを防ぐなどの安全性確保にもお役立ていただけます。

データベースの概要

医療用医薬品およびOTC医薬品における「テキスト版」、「PDF版」の添付文書情報のデータベースです。

添付文書の記載内容の参照および検索などにご利用いただくことが可能です。

また、医療用医薬品のPDF版添付文書は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）の掲載にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能です。

データベースの特徴

医療用医薬品

「薬価基準収載医薬品」および「生活改善薬」約20,000品目を収載しており、個別医薬品コードで管理しています。（2022年1月現在）

テキスト版

テキスト形式の医療用医薬品の添付文書情報（一部加工）です。

添付文書の次の項目の情報を網羅しており、項目毎に表示や検索を行うことが可能です。

【警告】【禁忌】【組成・性状】【効能又は効果】【用法及び用量】【重要な基本的注意】【特定の背景を有する患者に関する注意（合併症・既往歴等のある患者など）】【相互作用】【副作用】【臨床検査結果に及ぼす影響】【過量投与】【適用上の注意】【その他の注意】【薬物動態】【臨床成績】【薬効薬理】【取扱い上の注意】【保管上の注意（貯法）】など

例

『フォシーガ錠 5mg』の添付文書情報<テキスト版>（抜粋）

【 組成・性状 】
3. 1 組成
販売名 フォシーガ錠 5mg
有効成分 1錠中
タバグリフロジン 5mg
(タバグリフロジンプロピレングリコール水和物として6.15mg)
添加剤 結晶セルロース、無水乳糖、クロスポビドン、二酸化ケイ素、ステアリン酸マグネシウム、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、酸化チタン、マクロゴール4000、タルク、黄色三酸化鉄
3. 2 剤形の性状
販売名 フォシーガ錠 5mg
剤形 淡黄色～黄色の円形のフィルムコーティング錠
外形 表面 <<図省略>>
裏面 <<図省略>>
側面 <<図省略>>
大きさ 直径 7.1mm
厚さ 3.2mm
重量 130mg
識別コード 1427

【 用法及び用量 】
(2型糖尿病)
通常、成人にはタバグリフロジンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら10mg 1日1回に増量することができる。
(1型糖尿病)
インスリン製剤との併用において、通常、成人にはタバグリフロジンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら10mg 1日1回に増量することができる。
(慢性心不全、慢性腎臓病)
通常、成人にはタバグリフロジンとして10mgを1日1回経口投与する。

(用法及び用量に関連する注意)
7. 1. (1型糖尿病) 本剤はインスリン製剤の代替薬ではないため、インスリン製剤の投与を中止すると急激な高血糖やケトアシドーシスが起これるおそれがあるので、本剤の投与にあたってはインスリン製剤を中止しないこと〔8. 6、11. 1. 4参照〕。
7. 2. (1型糖尿病) 本剤とインスリン製剤の併用にあたっては、低血糖リスクを軽減するためにインスリン製剤の減量を検討すること（ただし、過度な減量はケトアシドーシスのリスクを高めるので注意すること）、なお、臨床試験では、インスリン製剤の1日投与量の減量は20%以内とすることが推奨された〔8. 6、11. 1. 1、11. 1. 4、17. 1. 2参照〕。
7. 3. (慢性心不全、慢性腎臓病) 1型糖尿病を合併する慢性心不全、1型糖尿病を合併する慢性腎臓病患者では、糖尿病治療に精通した医師あるいはその指導のもとで、適切な対応が行える管理下で5mg 1日1回から投与を開始し、また、経過を十分に観察しながらインスリン量を調整した後、10mg 1日1回に増量すること（5mg 1日1回では慢性心不全及び慢性腎臓病に対する有効性は確認されていない）〔7. 1、7. 2、8. 6、9. 1. 4、11. 1. 4参照〕

~~~~~ 以下省略 ~~~~~

## PDF版

PDF形式の医療用医薬品の添付文書情報です。添付文書のPDF版データおよび添付文書の改訂年月や版、製造販売元、販売元、発売元の情報を保持しています。

## 例

『フォシーガ錠』の添付文書情報 <PDF版> (抜粋)

| 商品名         | 改訂年月   | 版 | 製造販売元   | 販売元  |
|-------------|--------|---|---------|------|
| フォシーガ錠 5mg  | 2021/8 | 3 | アストラゼネカ | 小野薬品 |
| フォシーガ錠 10mg | 2021/8 | 3 | アストラゼネカ | 小野薬品 |

FXG-110  
 ●2021年8月改訂(第3版、効能変更)  
 ●2020年11月改訂

選択的SGLT2阻害剤  
 ダパグリフロジンプロピレングリコール錠

日本特許商品分類番号  
 873909, 87219,  
 873999

貯 法: 室温保存  
 有効期間: 3年  
 処方薬医薬品<sup>甲</sup>

フォシーガ錠5mg  
 フォシーガ錠10mg  
 forxiga 5mg・10mg tablets

|      | フォシーガ錠5mg     | フォシーガ錠10mg    |
|------|---------------|---------------|
| 承認番号 | 22600AMX00529 | 22600AMX00529 |
| 販売開始 | 2014年5月       |               |

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)  
 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者  
 2.2 重症ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡の患者【輸液、インスリンによる速やかな高血糖の是正が必要となるので本剤の投与は適さない。】  
 2.3 重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者【糖尿病を有する患者ではインスリン注射による血糖管理が望まれるので本剤の投与は適さない。】

3. 組成・性状

3.1 組成

| 販売名  | フォシーガ錠5mg                                                                                | フォシーガ錠10mg                                         |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 剤形   | 1錠中                                                                                      | 1錠中                                                |
| 有効成分 | ダパグリフロジン 5mg<br>(ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物として 6.15mg)                                        | ダパグリフロジン 10mg<br>(ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物として 12.3mg) |
| 添付期間 | 商品セルロース、澱粉、乳糖、クロスカゼイン、二酸化チタン、ステアリン酸マグネシウム、ポリビニルピロリドン(部分ゲル化型)、酸化チタン、マクロゴール4000、タタカ、黄色三酸化鉄 |                                                    |

と、[8.2.9.2.2、16.6.1、17.1.1参照]  
 5.3 本剤の適用はあらかじめ糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行った上で効果が不十分な場合に限り考慮すること。  
 (1) 糖尿病  
 5.4 本剤の適用はあらかじめ適切なインスリン治療を十分に行った上で、血糖コントロールが不十分な場合に限ること。  
 (2) 腎機能  
 ●5.5 左室駆出率の保たれた慢性心不全における本薬の有効性及び安全性は確立していないため、左室駆出率の低下した慢性心不全患者に投与すること。  
 ●5.6 「臨床成績」の項の内容を熟知し、臨床試験に組み入れられた患者の背景(前治療、左室駆出率等)を十分に理解した上で、適応患者を選択すること。[17.1.3参照]  
 (3) 腎機能  
 ●5.7 eGFRが25mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満の患者では、本剤の腎臓副作用が十分に得られない可能性があること。本剤投与中eGFRが低下することがあり、腎機能障害が悪化するおそれがあることから、投与の必要性を慎重に判断すること。eGFRが25mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満の患者を対象とした臨床試験は実施していない。

© アストラゼネカの一歩も前進を標榜します。  
 © AstraZeneca 2021  
 AstraZeneca

P420\_05

FXG  
 TNOVK

-8-

## 外形画像

医療用医薬品(内服薬および外用薬)における添付文書の【組成・性状】に記載されている外形画像の情報です。

## 例

『フォシーガ錠』の添付文書(抜粋)

3.2 製剤の性状

| 販売名 | フォシーガ錠5mg             | フォシーガ錠10mg            |      |
|-----|-----------------------|-----------------------|------|
| 剤形  | 淡黄色～黄色の円形のフィルムコーティング錠 | 淡黄色～黄色の菱形のフィルムコーティング錠 |      |
| 外形  | 表面                    | ⑤                     | ⑩    |
|     | 裏面                    | 1427                  | 1428 |
|     | 側面                    | ○                     | ○    |

『フォシーガ錠 5mg』のデータ



『フォシーガ錠 10mg』のデータ








## データベースの機能

### 添付文書の表示

テキスト版を使用することで任意の項目の絞り込みや、目的に合った自由なレイアウトでの表示が可能です。  
PDF版を用いて実際の添付文書を確認することが可能です。

#### 例

添付文書の任意の項目（【効能又は効果】【用法及び用量】など）や外形画像を用いた院内医薬品集などの表示例

|                                                                                  |                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 【商品名】 フォシーガ錠 5mg                                                                 |  |
| 【効能又は効果】                                                                         |                                                                                   |
| 1). 2型糖尿病。                                                                       |                                                                                   |
| 2). 1型糖尿病。                                                                       |                                                                                   |
| 3). 慢性心不全（ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る）。                                          |                                                                                   |
| 4). 慢性腎臓病<末期腎不全又は透析施行中の患者を除く>。                                                   |                                                                                   |
| 【用法及び用量】                                                                         |                                                                                   |
| <2型糖尿病>                                                                          |                                                                                   |
| 通常、成人にはダバグリフロジンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら10mg 1日1回に増量することができる。 |                                                                                   |

### 添付文書の検索

テキスト版を使用することで、添付文書の任意の項目の中で指定した用語が記載されている薬品を検索し、該当薬品の添付文書を参照することが可能です。

#### 例

条件として「検索語：腎盂腎炎／検索項目：重大な副作用」を設定して検索

『フォシーガ錠 5mg』の添付文書情報<テキスト版>（抜粋）

11. 1. 重大な副作用  
11. 1. 1. 低血糖（頻度不明）：低血糖があらわれることがあるので、低血糖症状が認められた場合には、糖質を含む食品を摂取するなど適切な処置を行うこと。ただし、α-グルコシダーゼ阻害剤との併用時に低血糖症状が認められた場合には、ブドウ糖を投与すること〔7. 2. 8. 1. 8. 9. 9. 1. 3. 10. 2. 17. 1. 1-17. 1. 4参照〕。  
11. 1. 2. 腎盂腎炎（0. 1%未満）、外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）（頻度不明）、敗血症（0. 1%未満）：腎盂腎炎、外陰部壊死性筋膜炎及び会陰部壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）があらわれ、敗血症（敗血症性ショックを含む）に至ることがある〔8. 5. 9. 1. 2参照〕。

『フォシーガ錠 5mg』の添付文書情報<PDF版>（抜粋）

11. 副作用  
次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。  
11.1 重大な副作用  
\*11.1.1 低血糖（頻度不明）  
低血糖があらわれることがあるので、低血糖症状が認められた場合には、糖質を含む食品を摂取するなど適切な処置を行うこと。ただし、α-グルコシダーゼ阻害剤との併用時はブドウ糖を投与すること。〔7.2.8.1.8.9.9.1.3.10.2.17.1.1-17.1.4参照〕  
11.1.2 腎盂腎炎（0.1%未満）、外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）（頻度不明）、敗血症（0.1%未満）  
腎盂腎炎、外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）があらわれ、敗血症（敗血症性ショックを含む）に至ることがある。〔8.5.9.1.2参照〕

### 掲載にあわせた提供（リアルタイムに対応）

医療用医薬品のPDF版添付文書は、PMDAの掲載にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能のため、最新の添付文書を速やかにご確認いただけます。

※添付文書の改訂年月などの情報は、リアルタイムに対応しておりません。

## データベースの概要

医療用医薬品における「使用上の注意の改訂情報（緊急安全性情報（イエローレター）・安全性速報（ブルーレター）を含む）」および「医薬品安全対策情報（DSU）」に関するデータベースです。

添付文書の改訂前に注意喚起情報を取得することが可能です。

また、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）の発表にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能です。

## データベースの特徴

一般名で発表される「使用上の注意の改訂情報」や「医薬品安全対策情報（DSU）」に対し、個別医薬品コードを関連付けており、商品名毎に注意喚起情報を取得することが可能です。

アンダーラインの箇所の情報や、図表の情報（画像ファイル）も保持しています。

### 例

#### 使用上の注意の改訂情報

| 年月日                 | レベル        | 一般的名称                         | 大項目             | 小項目                | 改訂区分 | 内容                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------|------------|-------------------------------|-----------------|--------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和3年<br>6月1日<br>指示分 | ブルー<br>レター | ジクロフェナク<br>エタルヒアルロン酸<br>ナトリウム | 1. 警告           |                    | 新設   | 【新記載要領】<br>1.1本剤投与により重篤なショック、アナフィラキシーが<br>発現することがあるので、本剤は、緊急時に十分な対応<br>のできる準備をした上で投与し、投与後も十分な観察を<br>行うこと。[8.1、11.1.1参照]                                                                                                                                          |
|                     |            |                               | 8. 重要な<br>基本的注意 |                    | 新設   | 【新記載要領】<br>8.1 本剤投与により重篤なショック、アナフィラキシー<br>が発現することがあるので、投与に際しては、緊急処置<br>を取れる準備をすること。投与中及び投与後は患者の状<br>態を十分に観察すること。<br>また、ショック、アナフィラキシーが発現する可能性が<br>あること、及びその徴候や症状について患者又は家族等<br>に十分に説明し、異常が認められた場合には、速やかに<br>医療機関を受診するよう、患者等を指導すること。[1.<br>11.1.1参照]<br>8.2～8.4（略） |
|                     |            |                               | 11. 副作用         | 11.1<br>重大な<br>副作用 | 一部改訂 | 【新記載要領】<br>11.1.1 ショック、アナフィラキシー（0.4%）[1.<br>8.1参照]                                                                                                                                                                                                               |



#### 該当薬品

| 個別医薬品コード     | 商品名          | 一般名                      | 製造会社 | 販売会社 |
|--------------|--------------|--------------------------|------|------|
| 3999458G1024 | ジョイクル関節注30mg | ジクロフェナクエタルヒアルロン酸ナトリウムキット | 生化学  | 小野薬品 |

## 例

## 医薬品安全対策情報（DSU）

| No             | レベル | 一般的名称                  | 項目      | 改訂区分 | 内容                                               |
|----------------|-----|------------------------|---------|------|--------------------------------------------------|
| No.305         | その他 | プピバカイン塩酸塩水和物<br>【アンブル】 | 取扱い上の注意 | 削除   | 【旧様式】<br>プリスター包装は高圧蒸気滅菌済みであるため、<br>使用時まで開封しないこと。 |
| <参考> 包装変更に伴う改訂 |     |                        |         |      |                                                  |



## 該当薬品

| 個別医薬品コード     | 商品名              | 一般名                 | 製造会社    | 販売会社            |
|--------------|------------------|---------------------|---------|-----------------|
| 1214403A4025 | マーカイン注脊麻用0.5%高比重 | プピバカイン塩酸塩水和物<br>注射液 | サンドファーマ | サンドファーマ/<br>サンド |
| 1214403A5021 | マーカイン注脊麻用0.5%等比重 | プピバカイン塩酸塩水和物<br>注射液 | サンドファーマ | サンドファーマ/<br>サンド |

## データベースの機能

## 使用上の注意の改訂情報やDSUの検索および情報の表示

使用上の注意の改訂情報やDSUで発表される注意喚起情報を個別医薬品コードで管理しているため、薬品から改訂情報の有無の検索、また、改訂情報に該当する薬品の検索や注意喚起情報を確認することが可能です。

服薬指導における参考情報などにご利用いただけます。

## 発表にあわせた提供（リアルタイムに対応）

PMDAの発表にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能のため、使用上の注意の改訂情報やDSUを速やかにご確認いただけます。



## データベースの概要

医療用医薬品における「PDF版」のインタビューフォーム情報のデータベースです。

個別の医薬品の総合的な解説書であるインタビューフォームについて、記載内容の参照にご利用いただくことが可能です。

## データベースの特徴

「薬価基準収載医薬品」および「生活改善薬」約18,000品目を収載しており、個別医薬品コードで管理しています。(2021年12月現在)

### 例

『フォシーガ錠 5mg』のインタビューフォーム情報（抜粋）

2021年8月改訂（第11版）

市販直後調査  
2021年8月～2022年2月  
対象：慢性腎臓病

日本標準商品分類番号  
873969, 87219, 873999

医薬品インタビューフォーム  
日本病院薬剤師会のIF記載要領2018（2019年更新版）に準拠して作成

選択的SGLT2阻害剤 薬価基準収載

# フォシーガ錠<sup>®</sup> 5mg

# 10mg

糖尿病・慢性心不全・慢性腎臓病治療剤

forxiga 5mg・10mg tablets

|                             |                          |
|-----------------------------|--------------------------|
| 6. 慣用名、別名、略号、記号番号... 6      | 4. 吸収..... 109           |
| III. 有効成分に関する項目..... 7      | 5. 分布..... 109           |
| 1. 物理化学的性質..... 7           | 6. 代謝..... 112           |
| 2. 有効成分の各種条件下における安定性..... 8 | 7. 排泄..... 115           |
| 3. 有効成分の確認試験法、定量法... 8      | 8. トランスポーターに関する情報 115    |
| IV. 製剤に関する項目..... 9         | 9. 透析等による除去率..... 115    |
| 1. 剤形..... 9                | 10. 特定の背景を有する患者..... 115 |
|                             | 11. その他..... 117         |

81  
化合物又は化  
81  
81  
102  
102  
タ..... 108  
（イオン）解析108

整済み平均変化  
ET群と比べて有

本剤5 mg+MET  
やかに低下し、

ボ+MET (n=137)  
フロゾン5mg+MET (n=137)

糖値 (mmol/L)  
B 1942.57  
5mg+MET 9.3942.72

空腹時血糖値のベースライン値からの調整済み平均変化量の推移（24週：LOCF）

## データベースの機能

### インタビューフォームの表示

任意の薬品を検索することにより、インタビューフォームのPDFファイルを表示し、情報を確認することが可能です。



## データベースの概要

医療用医薬品における「医薬品リスク管理計画（Risk Management Plan : RMP）」に関するデータベースです。

医薬品リスク管理計画の内容を取得することが可能です。

また、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）の発表にあわせた“ウィークリー”でのご提供が可能です。

## データベースの特徴

任意の薬品について、PMDAから医薬品リスク管理計画（RMP）が発表されているか否かを判別することが可能です。

医薬品リスク管理計画が発表されている薬品については、医薬品リスク管理計画書のPDFファイルに対し、個別医薬品コードを関連付けています。

医薬品マスタに記載されていない薬品（未発売等）にも対応しています。

### 例

PMDAから発表されている情報（抜粋）

| 販売名                                     | 承認取得者名    | 一般名           | 提出年月                      |
|-----------------------------------------|-----------|---------------|---------------------------|
| ソフルーザ錠10mg<br>ソフルーザ錠20mg<br>ソフルーザ顆粒2%分包 | 塩野義製薬株式会社 | パロキサビル マルボキシル | 2018年02月<br>(2021年09月 更新) |



『ソフルーザ錠 10・20mg、顆粒2%分包』のデータ（概略）

| 個別医薬品コード     | 商品名         | 一般名            | 承認取得会社名   | 提出年月    | 更新年月    |
|--------------|-------------|----------------|-----------|---------|---------|
| 6250047F1022 | ソフルーザ錠10mg  | パロキサビル マルボキシル錠 | 塩野義製薬株式会社 | 2018/02 | 2021/09 |
| 6250047F2029 | ソフルーザ錠20mg  | パロキサビル マルボキシル錠 | 塩野義製薬株式会社 | 2018/02 | 2021/09 |
| ZZZZZZZZZZZ* | ソフルーザ顆粒2%分包 | パロキサビル マルボキシル  | 塩野義製薬株式会社 | 2018/02 | 2021/09 |

\* 医薬品マスタに記載されていない医薬品（未発売等）は、'ZZZZZZZZZZZ'を設定しています。

## データベースの機能

### 対象薬品の検索および情報の表示

医薬品リスク管理計画に該当する薬品の検索や発表内容を確認することが可能なため、服薬指導における参考情報などとしてご利用いただけます。

### 発表にあわせた提供（ウィークリーに対応）

PMDAの発表にあわせた“ウィークリー”でのご提供が可能なため、医薬品リスク管理計画を速やかにご確認いただけます。

<参考>

#### 医薬品リスク管理計画 (Risk Management Plan : RMP)

個別の医薬品ごとに、次の3点をまとめた文書のこと。

- ・重要な関連性が明らか、又は疑われる副作用や不足情報（安全性検討事項）
- ・市販後に実施される情報収集活動（医薬品安全性監視活動）
- ・医療関係者への情報提供や、使用条件の設定等の医薬品のリスクを低減するための取り組み（リスク最小化活動）

2017年には、適正使用ガイド等の資材が医薬品リスク管理計画におけるリスク最小化活動に基づくものであることを医療従事者が認識しやすくするため、次のような「医薬品リスク管理計画のマーク」を医療従事者向けや患者向け資材等に表示する申し合わせが日本製薬団体連合会によってまとめられた。

医薬品リスク管理計画  
(RMP)



## データベースの概要

厚生労働省から発表された「処方せんに記載する一般名処方の標準的な記載（一般名処方マスタ）」に関するデータベースです。

“一般的名称に剤形及び含量を付加した記載（一般名処方）”による処方や調剤の際のマスタとしてご利用いただくことで先発品・後発品の情報や適応症の違いなどを商品名毎に判別することが可能です。

## データベースの特徴

一般名処方マスタ（薬価基準収載医薬品コードの上9桁に「ZZZ」の3桁が付与された12桁コード）に対し、該当する商品を個別医薬品コードで管理しており、先発品・後発品の識別や適応症の違いの有無などを取得することが可能です。

統一名収載品や、一般名処方マスタの例外コード品目（薬価基準収載医薬品コードの上9桁で適切な区分が行えない成分・規格）についても対応しています。

### 例

処方せんに記載する一般名処方の標準的な記載（一般名処方マスタ）（抜粋）

| 一般名コード           | 一般名処方の標準的な記載           | 成分名              | 規格         | 一般名処方加算対象 | 例外コード | 同一剤形・規格内の最低薬価 | 備考 |
|------------------|------------------------|------------------|------------|-----------|-------|---------------|----|
| 2329028F1<br>ZZZ | 【般】<br>ラベプラゾールN a錠10mg | ラベプラゾール<br>ナトリウム | 10mg<br>1錠 | 加算1,2     |       | 14.30         |    |
| 2329028F2<br>ZZZ | 【般】<br>ラベプラゾールN a錠20mg | ラベプラゾール<br>ナトリウム | 20mg<br>1錠 | 加算1,2     |       | 28.90         |    |

『ラベプラゾールN a錠10mg』および『ラベプラゾールN a錠20mg』のデータ（概略）

| 一般名コード           | 一般名処方の標準的な記載           | 同一剤形・規格内の最低薬価 | 個別医薬品コード         | 商品名                    | 一般名処方加算対象 | 例外コード | 先発品・後発品情報 | 薬価     | 経過措置 | 適応症の違いなどの有無 |
|------------------|------------------------|---------------|------------------|------------------------|-----------|-------|-----------|--------|------|-------------|
| 2329028F1<br>ZZZ | 【般】<br>ラベプラゾールN a錠10mg | 14.30         | 2329028<br>F1023 | パリエット錠10mg             | 加算1,2     |       | 先発品       | 72.70  |      | 1           |
|                  |                        |               | 2329028<br>F1317 | ラベプラゾールN a錠10mg「AFP」   | 加算1,2     |       | 後発品       | 39.80  |      | 1           |
|                  |                        |               | 2329028<br>F1058 | ラベプラゾールN a錠10mg「JG」    | 加算1,2     |       | 後発品       | 33.80  |      | 1           |
|                  |                        |               | 2329028<br>F1287 | ラベプラゾールナトリウム錠10mg「NPI」 | 加算1,2     |       | 後発品       | 14.30  |      | 1           |
| 2329028F2<br>ZZZ | 【般】<br>ラベプラゾールN a錠20mg | 28.90         | 2329028<br>F2020 | パリエット錠20mg             | 加算1,2     |       | 先発品       | 136.20 |      |             |
|                  |                        |               | 2329028<br>F2313 | ラベプラゾールN a錠20mg「AFP」   | 加算1,2     |       | 後発品       | 28.90  |      |             |
|                  |                        |               | 2329028<br>F2054 | ラベプラゾールN a錠20mg「JG」    | 加算1,2     |       | 後発品       | 55.00  |      |             |
|                  |                        |               | 2329028<br>F2283 | ラベプラゾールナトリウム錠20mg「NPI」 | 加算1,2     |       | 後発品       | 28.90  |      |             |

## 例

処方せんに記載する一般名処方の標準的な記載（一般名処方マスタ）（抜粋）

| 一般名コード       | 一般名処方の標準的な記載                  | 成分名     | 規格          | 一般名処方加算対象 | 例外コード | 同一剤形・規格内の最低薬価 | 備考 |
|--------------|-------------------------------|---------|-------------|-----------|-------|---------------|----|
| 2649729S1ZZZ | 【般】ケトプロフェンパップ30mg（10×14cm非温感） | ケトプロフェン | 10cm×14cm1枚 | 加算1,2     |       | 11.90         |    |
| 2649729S4ZZZ | 【般】ケトプロフェンパップ60mg（20×14cm非温感） | ケトプロフェン | 20cm×14cm1枚 | 加算1,2     |       | 17.10         |    |
| 2649729SAZZZ | 【般】ケトプロフェンテープ20mg（7×10cm非温感）  | ケトプロフェン | 7cm×10cm1枚  | 加算1,2     | 例外コード | 12.30         |    |
| 2649729SBZZZ | 【般】ケトプロフェンテープ20mg（7×10cm温感）   | ケトプロフェン | 7cm×10cm1枚  | 加算1       | 例外コード | 12.30         |    |

『ケトプロフェンパップ』および『ケトプロフェンテープ』のデータ（概略）

| 一般名コード       | 一般名処方の標準的な記載                  | 同一剤形・規格内の最低薬価 | 個別医薬品コード     | 商品名                  | 一般名処方加算対象 | 例外コード | 先発品・後発品情報 | 薬価    | 経過措置 | 適応症違いなどの有無 |
|--------------|-------------------------------|---------------|--------------|----------------------|-----------|-------|-----------|-------|------|------------|
| 2649729S1ZZZ | 【般】ケトプロフェンパップ30mg（10×14cm非温感） | 11.90         | 2649729S1154 | モーラスパップ30mg          | 加算1,2     |       | 先発品       | 17.80 |      |            |
|              |                               |               | 2649729S1189 | ミルタックスパップ30mg        | 加算1,2     |       | 先発品       | 17.10 |      |            |
|              |                               |               | 2649729S1162 | ケトプロフェンパップ30mg「ラクール」 | 加算1,2     |       | 後発品       | 11.90 |      |            |
| 2649729S4ZZZ | 【般】ケトプロフェンパップ60mg（20×14cm非温感） | 17.10         | 2649729S4030 | モーラスパップ60mg          | 加算1,2     |       | 先発品       | 27.80 |      |            |
|              |                               |               | 2649729S4048 | ケトプロフェンパップ60mg「ラクール」 | 加算1,2     |       | 後発品       | 17.10 |      |            |
| 2649729SAZZZ | 【般】ケトプロフェンテープ20mg（7×10cm非温感）  | 12.30         | 2649729S2169 | モーラステープ20mg          | 加算1,2     | 1     | 先発品       | 22.30 |      |            |
|              |                               |               | 2649729S2266 | ケトプロフェンテープ20mg「トーワ」  | 加算1,2     | 1     | 後発品       | 12.30 |      |            |
| 2649729SBZZZ | 【般】ケトプロフェンテープ20mg（7×10cm温感）   | 12.30         | 2649729S2185 | ケトプロフェンテープ20mg「ラクール」 | 加算1       | 1     | 後発品       | 12.30 |      |            |

## データベースの機能

### 一般名処方を支援

一般名処方加算の算定に対応する一般名処方のマスタとしてご利用いただけます。

また、処方せんに記載された「一般名処方の標準的な記載（一般名処方マスタ）」から、商品名を取得することが可能です。

先発品・後発品の識別や適応症の違いなどの情報も保持しているため、処方時や調剤業務における参考情報としてお役立ていただけます。

#### 例

##### 処方例

【般】ラベプラゾールN a錠10mg  
1日1回1錠 28日分

【般】ラベプラゾールN a錠10mgにリンクしている薬剤（抜粋）

| 商品名                        | 先発品・後発品<br>情報 | 適応症<br>違いなどの<br>有無 |
|----------------------------|---------------|--------------------|
| パリエット錠10mg                 | 先発品           | 1                  |
| ラベプラゾールN a錠10mg<br>「AFP」   | 後発品           | 1                  |
| ラベプラゾールN a錠10mg<br>「JG」    | 後発品           | 1                  |
| ラベプラゾールナトリウム錠10mg<br>「NPI」 | 後発品           | 1                  |

注意あり（適応症違いなど）

##### 処方例

【般】ラベプラゾールN a錠20mg  
1日1回1錠 28日分

【般】ラベプラゾールN a錠20mgにリンクしている薬剤（抜粋）

| 商品名                        | 先発品・後発品<br>情報 | 適応症<br>違いなどの<br>有無 |
|----------------------------|---------------|--------------------|
| パリエット錠20mg                 | 先発品           |                    |
| ラベプラゾールN a錠20mg<br>「AFP」   | 後発品           |                    |
| ラベプラゾールN a錠20mg<br>「JG」    | 後発品           |                    |
| ラベプラゾールナトリウム錠20mg<br>「NPI」 | 後発品           |                    |

注意なし



## データベースの概要

厚生労働省から発表された「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報」に関するデータベースです。

「診療報酬において加算等の算定対象となる後発医薬品」の判別や、「後発医薬品の数量シェア（置換え率）」の算出にご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収載の全ての薬品を網羅しています。

## データベースの特徴

### 厚生労働省の発表内容に対応

「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報」をもとに、対象薬品を分類しています。

| 区分         |            |                  |      |
|------------|------------|------------------|------|
| 先発品（後発品あり） | 先発品（後発品なし） | 先発品（後発品と薬価が同等以下） | 準先発品 |
| 後発品（加算対象）  | 後発品（加算対象外） | その他              |      |

「一般名」で薬価基準に収載された統一名収載品についても個別医薬品コードで管理しており、商品名毎に判別が可能です。

### 例

薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報（抜粋）

| 品名<br>(官報告示名称)                | 規格       | 成分名                 | 各先発医薬品の後発医薬品の<br>有無に関する情報 |
|-------------------------------|----------|---------------------|---------------------------|
| スーグラ錠 2.5mg                   | 2.5mg 1錠 | イブラグリフロジン<br>L-プロリン | 先発品（後発品なし）                |
| ベンザリン細粒 1%                    | 1% 1g    | ニトラゼパム              | 準先発品                      |
| ニトラゼパム細粒 1%「TCK」              | 1% 1g    | ニトラゼパム              | 後発品（加算対象）                 |
| アフタッチ口腔用貼付剤 2.5μg             | 2.5μg 1錠 | トリアムシノロンアセトニド       | 先発品<br>(後発品と薬価が同等以下)      |
| トリアムシノロンアセトニド口腔用貼付剤 2.5μg「大正」 | 2.5μg 1枚 | トリアムシノロンアセトニド       | 後発品<br>(先発品と薬価が同等以上)      |
| ディオバン錠 40mg                   | 40mg 1錠  | バルサルタン              | 先発品（後発品あり）                |
| バルサルタン 20mg 錠                 | 20mg 1錠  | バルサルタン              | 後発品（加算対象）                 |

銘柄別収載品

統一名収載品

後発医薬品のデータ（概略）

| 商品名                           | 規格       | 一般名                  | 先発品/後発品              |
|-------------------------------|----------|----------------------|----------------------|
| スーグラ錠 2.5mg                   | 2.5mg 1錠 | イブラグリフロジン<br>L-プロリン錠 | 先発品（後発品なし）           |
| ベンザリン細粒 1%                    | 1% 1g    | ニトラゼパム細粒             | 準先発品                 |
| ニトラゼパム細粒 1%「TCK」              | 1% 1g    | ニトラゼパム細粒             | 後発品（加算対象）            |
| アフタッチ口腔用貼付剤 2.5μg             | 2.5μg 1錠 | トリアムシノロンアセトニド<br>貼付剤 | 先発品<br>(後発品と薬価が同等以下) |
| トリアムシノロンアセトニド口腔用貼付剤 2.5μg「大正」 | 2.5μg 1枚 | トリアムシノロンアセトニド<br>貼付剤 | 後発品<br>(加算対象外)       |
| ディオバン錠 40mg                   | 40mg 1錠  | バルサルタン錠              | 先発品（後発品あり）           |
| バルサルタン錠 20mg「杏林」              | 20mg 1錠  | バルサルタン 20mg 錠        | 後発品（加算対象）            |
| バルサルタン錠 20mg「アメル」             | 20mg 1錠  | バルサルタン 20mg 錠        | 後発品（加算対象）            |

商品名毎に判別可能

## データベースの機能

### 診療報酬において加算等の対象となる後発医薬品の判別

「診療報酬において加算等の算定対象となる後発医薬品」を商品名毎に判別することが可能です。

### 後発医薬品の数量シェア（置換え率）の算出

「後発医薬品使用体制加算」などに係る「後発医薬品の数量シェア（置換え率）」の算出が可能です。

後発医薬品の数量シェア（置換え率）

$$= \text{〔後発医薬品の数量〕} / \{ \text{〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕} + \text{〔後発医薬品の数量〕} \}$$
$$= \text{〔後発品（加算対象）〕} / \{ \text{〔先発品（後発医薬品あり）〕} + \text{〔後発品（加算対象）〕} \}$$

## データベースの概要

医療用医薬品における「バイオ後続品」に関するデータベースです。

バイオ後続品に該当する医薬品と、その先行品を商品名毎に判別することが可能です。

在宅自己注射データベースと組み合わせることで、診療報酬における在宅自己注射指導管理料のうち、「バイオ後続品導入初期加算」の対象となる候補薬剤の判別にご利用いただけます。

※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

バイオ後続品に該当する医薬品とその先行品を、同一グループとして管理しています。

### 個別医薬品コードが異なる同一成分薬に対応

バイオ後続品とその先行品を同じグループとして管理しており、個別医薬品コードでは同一グループの判別ができない問題を解決します。

後続品と先行品はフラグにて判別することが可能です。

#### 例

バイオ後続品のデータ（概略）

| 個別医薬品コード         | 商品名                       | 成分名                               | 後続区分 |        |
|------------------|---------------------------|-----------------------------------|------|--------|
| 2399402<br>F1026 | レミケード点滴静注用100             | インフリキシマブ（遺伝子組換え）                  | 先行品  | 同一グループ |
| 2399403<br>F1039 | インフリキシマブBS点滴静注用100mg「NK」  | インフリキシマブ（遺伝子組換え）<br>[インフリキシマブ後続1] | 後続品  |        |
| 2399404<br>F1025 | インフリキシマブBS点滴静注用100mg「あゆみ」 | インフリキシマブ（遺伝子組換え）<br>[インフリキシマブ後続2] | 後続品  |        |
| 4291406<br>D3021 | ハーセプチン注射用60               | トラスツズマブ（遺伝子組換え）                   | 先行品  | 同一グループ |
| 4291442<br>D1033 | トラスツズマブBS点滴静注用60mg「NK」    | トラスツズマブ（遺伝子組換え）<br>[トラスツズマブ後続1]   | 後続品  |        |

### オースライズドジェネリック（AG）の判別に対応

後続品と先行品の他、AGについてもフラグにて判別することが可能です。

#### 例

バイオ後続品のデータ（概略）

| 商品名                             | 成分名                                     | 後続区分 | AG区分* |        |
|---------------------------------|-----------------------------------------|------|-------|--------|
| ネスブ注射液10μgブラシリンジ                | ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）                     | 先行品  | ×     | 同一グループ |
| ダルベポエチン アルファ注10μg シリンジ「KKF」     | ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）                     | 後続品  | ○     |        |
| ダルベポエチン アルファBS注10μg シリンジ「JCR」   | ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）<br>[ダルベポエチンアルファ後続1] | 後続品  | ×     |        |
| ダルベポエチン アルファBS注10μg シリンジ「三和」    | ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）<br>[ダルベポエチンアルファ後続2] | 後続品  | ×     |        |
| ダルベポエチン アルファBS注射液10μg シリンジ「MYL」 | ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）<br>[ダルベポエチンアルファ後続3] | 後続品  | ×     |        |

\*○：該当、×：非該当

## 製剤単位による成分同一含有量に対応

バイオ後続品とその先行品の中から、成分含有量が同一の薬剤に絞り込んだ検索が可能です。

### 例

バイオ後続品のデータ（概略）

| 商品名                          | 規格             | 一般的名称                             |                 |
|------------------------------|----------------|-----------------------------------|-----------------|
| グラン注射液 75                    | 75µg 0.3mL 1管  | フィルグラスチム（遺伝子組換え）                  | 同一成分含有量<br>グループ |
| グランシリンジ 75                   | 75µg 0.3mL 1筒  | フィルグラスチム（遺伝子組換え）                  |                 |
| フィルグラスチムB S注 75µg シリンジ「F」    | 75µg 0.3mL 1筒  | フィルグラスチム（遺伝子組換え）<br>[フィルグラスチム後続1] |                 |
| グラン注射液 150                   | 150µg 0.6mL 1管 | フィルグラスチム（遺伝子組換え）                  | 同一成分含有量<br>グループ |
| フィルグラスチムB S注 150µg シリンジ「F」   | 150µg 0.6mL 1筒 | フィルグラスチム（遺伝子組換え）<br>[フィルグラスチム後続1] |                 |
| フィルグラスチムB S注 150µg シリンジ「モチダ」 | 150µg 0.6mL 1筒 | フィルグラスチム（遺伝子組換え）<br>[フィルグラスチム後続3] |                 |

## データベースの機能

### バイオ後続品の判別

バイオ後続品を商品毎に判別しており、同一の成分での検索や含有量毎での検索が可能です。

在宅自己注射データベースと組み合わせることで、在宅自己注射指導管理料のうち、「バイオ後続品導入初期加算」の対象となる候補薬剤の判別にご利用いただけます。

また、先行品からバイオ後続品の検索も可能です。

### <参考>

#### C101 在宅自己注射指導管理料（抜粋）

- 患者に対し、バイオ後続品に係る説明を行い、バイオ後続品を処方した場合には、バイオ後続品導入初期加算として、当該バイオ後続品の初回の処方日の属する月から起算して3月を限度として、150点を所定点数に加算する。

（2021年12月現在）



## データベースの概要

医療用医薬品の添付文書に記載されている有効成分と規格（剤形を含む）をもとに、薬品を分類したデータベースです。

成分や規格が一致する代替薬の検索などにご利用いただくことが可能です。

本データベースは、全ての医療用医薬品を網羅しています。

## データベースの特徴

### 一般名の表記が異なる同一成分薬に対応

同一成分・同一規格にもかかわらず、官報告示の一般名が異なるために的確な後発品検索などができなかった問題を解決します。

#### 例

下記薬品は、有効成分・規格ともに同一の薬品ですが、一般名の表記が異なるため、一般名で後発医薬品を検索した場合、適切な結果が得られません。

しかし、本データベースでは、これら一般名が異なる薬品も同一グループとして分類しているため、同一成分・同一規格の薬品を漏れなく検索することが可能です。

官報告示の名称

| 品名<br>(官報告示名称)           | 規格      | 一般名                 | 診療報酬において<br>加算等の算定対象<br>となる後発医薬品 | 先発<br>医薬品 |        |
|--------------------------|---------|---------------------|----------------------------------|-----------|--------|
| ムコソルバン錠 15mg             | 15mg 1錠 | アンブロキシソール塩酸塩錠       |                                  | 先発品       | 銘柄別収載品 |
| ムコサル錠 15mg               | 15mg 1錠 | アンブロキシソール塩酸塩錠       | 後発品                              |           |        |
| アンブロキシソール塩酸塩錠 15mg 「トーワ」 | 15mg 1錠 | アンブロキシソール塩酸塩 15mg 錠 | 後発品                              |           | 統一名収載品 |



『アンブロキシソール塩酸塩』で「15mg 1錠」規格のデータ（概略）

| 商品名                      | 一般名                 | 規格      | 先発品/後発品 |           |
|--------------------------|---------------------|---------|---------|-----------|
| ムコソルバン錠 15mg             | アンブロキシソール塩酸塩錠       | 15mg 1錠 | 先発品     | 同一規格のグループ |
| ムコサル錠 15mg               | アンブロキシソール塩酸塩錠       | 15mg 1錠 | 後発品     |           |
| アンブロキシソール塩酸塩錠 15mg 「トーワ」 | アンブロキシソール塩酸塩 15mg 錠 | 15mg 1錠 | 後発品     |           |
| アンブロキシソール塩酸塩錠 15mg 「サワイ」 | アンブロキシソール塩酸塩 15mg 錠 | 15mg 1錠 | 後発品     |           |
| アンブロキシソール塩酸塩錠 15mg 「アメル」 | アンブロキシソール塩酸塩 15mg 錠 | 15mg 1錠 | 後発品     |           |
| アンブロキシソール塩酸塩錠 15mg 「タカタ」 | アンブロキシソール塩酸塩 15mg 錠 | 15mg 1錠 | 後発品     |           |

## 製剤単位による成分同一含有量に対応

製剤単位において、成分の含有量が同じにもかかわらず、規格が異なるために的確な後発医薬品検索などができなかった問題を解決します。

### 例

下記薬品は、規格はそれぞれ異なりますが、製剤単位としては同じ20mgが含有されている製品です。これらの薬品を同一グループとして検索することが可能です。

『オザグレルナトリウム』で「20mg」の規格分類のデータ（概略）

| 商品名                       | 一般名                   | 規格            | 先発品／後発品 | 同一規格のグループ |
|---------------------------|-----------------------|---------------|---------|-----------|
| キサンボン注射用20mg              | オザグレルナトリウム注射用         | 20mg 1瓶       | 先発品     |           |
| オザグレルNa静注用20mg「日医工」       | オザグレルナトリウム注射用         | 20mg 1瓶       | 後発品     |           |
| オザグレルNa点滴静注20mgシリンジ「武田テバ」 | オザグレルナトリウムキット         | 20mg 0.5mL 1筒 | 後発品     |           |
| オザグレルNa注射液20mgシリンジ「サワイ」   | オザグレルナトリウムキット         | 20mg 1mL 1筒   | 後発品     |           |
| オザグレルNa点滴静注20mg「タカタ」      | オザグレルナトリウム注射液         | 20mg 1mL 1瓶   | 後発品     |           |
| オザグレルNa点滴静注20mg「F Y」      | オザグレルナトリウム注射液         | 20mg 2mL 1管   | 後発品     |           |
| オザグレルNa点滴静注20mg「I P」      | オザグレルナトリウム20mg 1mL注射液 | 20mg 1mL 1管   | 後発品     |           |
| キサンボンS注射液20mg             | オザグレルナトリウム注射液         | 20mg 2.5mL 1管 | 先発品     |           |

## 剤形が異なる製剤に対応

厚生労働省から発表された「処方せんに記載する一般名処方標準的な記載（一般名処方マスタ）」では別のグループとなる普通錠と口腔内崩壊錠（OD錠）なども、同一グループとして検索することが可能です。

### 例

処方せんに記載する一般名処方の標準的な記載（一般名処方マスタ）（抜粋）

| 一般名コード       | 一般名処方の標準的な記載         | 成分名      | 規格     | 同一剤形・規格内の最低薬価 | 別グループ |
|--------------|----------------------|----------|--------|---------------|-------|
| 1190012F2ZZZ | 【般】ドネペジル塩酸塩錠5mg      | ドネペジル塩酸塩 | 5mg 1錠 | 49.80         |       |
| 1190012F4ZZZ | 【般】ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠5mg | ドネペジル塩酸塩 | 5mg 1錠 | 49.80         |       |

『ドネペジル塩酸塩』で「5mg」の規格分類データ（概略）

| 商品名                  | 一般名            | 規格     | 先発品／後発品 | 同一規格のグループ |
|----------------------|----------------|--------|---------|-----------|
| アリセプト錠5mg            | ドネペジル塩酸塩錠      | 5mg 1錠 | 先発品     |           |
| ドネペジル塩酸塩錠5mg「DSEP」   | ドネペジル塩酸塩錠      | 5mg 1錠 | 後発品     |           |
| アリセプトD錠5mg           | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠 | 5mg 1錠 | 先発品     |           |
| ドネペジル塩酸塩OD錠5mg「DSEP」 | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠 | 5mg 1錠 | 後発品     |           |

## データベースの機能

### 成分と規格による薬品選択

同一成分で規格や剤形などが異なる薬品を同じグループに分類しているため、類似する別剤形にも対応した幅広い代替薬品の検索が可能です。

後発医薬品データベースをあわせてご利用いただくことで、後発医薬品の選択も可能です。

患者さんの使用にあわせた薬品の選択にもご利用いただけます。

#### 例

ドネペジル塩酸塩5mgを1日1回投与する場合、「普通錠」、「口腔内崩壊錠（OD錠）」、「ゼリー」、「液」の剤形から選択することが可能です。また、後発医薬品を選択することも可能です。

『ドネペジル塩酸塩』の成分分類データ（概略）

| 商品名                   | 一般名            | 規格           | 先発品<br>／<br>後発品 |
|-----------------------|----------------|--------------|-----------------|
| アリセプト錠3mg             | ドネペジル塩酸塩錠      | 3mg 1錠       | 先発品             |
| ドネペジル塩酸塩錠3mg「YD」      | ドネペジル塩酸塩錠      | 3mg 1錠       | 後発品             |
| アリセプトD錠3mg            | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠 | 3mg 1錠       | 先発品             |
| ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「TCK」   | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠 | 3mg 1錠       | 後発品             |
| アリセプト内服ゼリー3mg         | ドネペジル塩酸塩ゼリー    | 3mg 1個       | 先発品             |
| ドネペジル塩酸塩内服ゼリー3mg「NP」  | ドネペジル塩酸塩ゼリー    | 3mg 1個       | 後発品             |
| ドネペジル塩酸塩内用液3mg「トーフ」   | ドネペジル塩酸塩液      | 3mg 1.5mL 1包 | 後発品             |
| アリセプト錠5mg             | ドネペジル塩酸塩錠      | 5mg 1錠       | 先発品             |
| ドネペジル塩酸塩錠5mg「FFP」     | ドネペジル塩酸塩錠      | 5mg 1錠       | 後発品             |
| アリセプトD錠5mg            | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠 | 5mg 1錠       | 先発品             |
| ドネペジル塩酸塩OD錠5mg「TCK」   | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠 | 5mg 1錠       | 後発品             |
| アリセプト内服ゼリー5mg         | ドネペジル塩酸塩ゼリー    | 5mg 1個       | 先発品             |
| ドネペジル塩酸塩内服ゼリー5mg「日医工」 | ドネペジル塩酸塩ゼリー    | 5mg 1個       | 後発品             |
| ドネペジル塩酸塩内用液5mg「タナベ」   | ドネペジル塩酸塩液      | 5mg 2.5mL 1包 | 後発品             |
| アリセプト錠10mg            | ドネペジル塩酸塩錠      | 10mg 1錠      | 先発品             |
| ドネペジル塩酸塩錠10mg「DSEP」   | ドネペジル塩酸塩錠      | 10mg 1錠      | 後発品             |
| アリセプトD錠10mg           | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠 | 10mg 1錠      | 先発品             |
| ドネペジル塩酸塩OD錠10mg「TCK」  | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠 | 10mg 1錠      | 後発品             |
| アリセプト内服ゼリー10mg        | ドネペジル塩酸塩ゼリー    | 10mg 1個      | 先発品             |
| ドネペジル塩酸塩内服ゼリー10mg「NP」 | ドネペジル塩酸塩ゼリー    | 10mg 1個      | 後発品             |
| ドネペジル塩酸塩内用液10mg「トーフ」  | ドネペジル塩酸塩液      | 10mg 5mL 1包  | 後発品             |

同一成分のグループ



## データベースの概要

医療用医薬品について、同一ブランドの薬品を分類したデータベースです。

同一ブランドで、規格又は剤形違いの薬品があることを確認できるため、処方や調剤における参考情報としてご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収録の全ての薬品を網羅しています。

## データベースの特徴

### 一般名、規格、剤形、製造販売会社の違いに対応

一般名、規格、剤形、製造販売会社などが異なる薬品であっても、同じブランド名の場合は、同一グループに分類しています。

#### 例

『ドネペジル』のデータ（概略）

| 商品名                | 一般名           | 規格     | 製造販売会社         |        |
|--------------------|---------------|--------|----------------|--------|
| アリセプト細粒0.5%        | ドネペジル塩酸塩細粒    | 0.5%1g | エーザイ           | 同一ブランド |
| アリセプト錠3mg          | ドネペジル塩酸塩錠     | 3mg1錠  | エーザイ           |        |
| アリセプト錠5mg          | ドネペジル塩酸塩錠     | 5mg1錠  | エーザイ           |        |
| アリセプトD錠5mg         | ドネペジル塩酸塩錠     | 5mg1錠  | エーザイ           |        |
| アリセプト内服ゼリー3mg      | ドネペジル塩酸塩ゼリー   | 3mg1個  | エーザイ           |        |
| アリセプトドライシロップ1%     | ドネペジル塩酸塩シロップ用 | 1%1g   | エーザイ           |        |
| ドネペジル塩酸塩錠3mg「明治」   | ドネペジル塩酸塩錠     | 3mg1錠  | MeijiSeikaファルマ | 同一ブランド |
| ドネペジル塩酸塩錠5mg「明治」   | ドネペジル塩酸塩錠     | 5mg1錠  | MeijiSeikaファルマ |        |
| ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「明治」 | ドネペジル塩酸塩錠     | 3mg1錠  | MeijiSeikaファルマ |        |
| ドネペジル塩酸塩錠3mg「杏林」   | ドネペジル塩酸塩錠     | 3mg1錠  | キョーリンリメディオ     | 同一ブランド |
| ドネペジル塩酸塩錠5mg「杏林」   | ドネペジル塩酸塩錠     | 5mg1錠  | キョーリンリメディオ     |        |
| ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「杏林」 | ドネペジル塩酸塩錠     | 3mg1錠  | キョーリンリメディオ     |        |

『ケトチフェン』のデータ（概略）

| 商品名                         | 一般名                         | 規格               | 製造販売会社      |        |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------|-------------|--------|
| ザジテン点眼液0.05%                | ケトチフェンフマル酸塩液                | 3.45mg<br>5mL1瓶  | ノバルティス ファーマ | 同一ブランド |
| ザジテン点鼻液0.05%                | ケトチフェンフマル酸塩液                | 6.048mg<br>8mL1瓶 | サンファーマ      |        |
| ザジテンカプセル1mg                 | ケトチフェンフマル酸塩カプセル             | 1mg<br>1カプセル     | サンファーマ      |        |
| ケトチフェン点眼液0.05%<br>「杏林」      | ケトチフェンフマル酸塩<br>3.45mg5mL点眼液 | 3.45mg<br>5mL1瓶  | キョーリンリメディオ  | 同一ブランド |
| ケトチフェン点鼻液0.05%<br>「杏林」      | ケトチフェンフマル酸塩液                | 6.048mg<br>8mL1瓶 | キョーリンリメディオ  |        |
| ケトチフェンシロップ0.02%<br>「杏林」     | ケトチフェンフマル酸塩<br>0.02%シロップ    | 0.02%<br>1mL     | キョーリンリメディオ  |        |
| ケトチフェンカプセル1mg<br>「タイヨー」     | ケトチフェンフマル酸塩<br>1mgカプセル      | 1mg<br>1カプセル     | 武田テバファーマ    | 同一ブランド |
| ケトチフェンシロップ0.02%<br>「タイヨー」   | ケトチフェンフマル酸塩<br>0.02%シロップ    | 0.02%<br>1mL     | 武田テバファーマ    |        |
| ケトチフェンドライシロップ0.1%<br>「タイヨー」 | ケトチフェンフマル酸塩<br>0.1%シロップ用    | 0.1%1g           | 武田テバファーマ    |        |

## データベースの機能

### 処方や調剤業務における薬品の選択を支援

規格の異なる同一ブランドの薬品が存在することを判別できるため、目的に応じた薬品の組み合わせを取得することが可能です。

#### 例

タキシテール点滴静注用を1回78mg投与する場合の規格の組み合わせと薬価の比較

『タキシテール点滴静注用 20mg・80mg』のデータ（概略）

| 商品名                         | 一般名          | 規格                      | 製造販売会社 | 剤形  | 薬価       |        |
|-----------------------------|--------------|-------------------------|--------|-----|----------|--------|
| タキシテール点滴静注用 20mg            | ドセタキセル水和物注射液 | 20mg 0.5mL 1瓶<br>(溶解液付) | サノフィ   | 注射薬 | 9836.00  | 同一ブランド |
| タキシテール点滴静注用 80mg            | ドセタキセル水和物注射液 | 80mg 2mL 1瓶<br>(溶解液付)   | サノフィ   | 注射薬 | 34119.00 |        |
| ワンタキシテール点滴静注 20mg / 1mL     | ドセタキセル水和物注射液 | 20mg 1mL 1瓶             | サノフィ   | 注射薬 | 9836.00  | 同一ブランド |
| ワンタキシテール点滴静注 80mg / 4mL     | ドセタキセル水和物注射液 | 80mg 4mL 1瓶             | サノフィ   | 注射薬 | 34119.00 |        |
| ドセタキセル点滴静注 20mg / 1mL 「トーフ」 | ドセタキセル注射液    | 20mg 1mL 1瓶             | 東和薬品   | 注射薬 | 3974.00  | 同一ブランド |
| ドセタキセル点滴静注 80mg / 4mL 「トーフ」 | ドセタキセル注射液    | 80mg 4mL 1瓶             | 東和薬品   | 注射薬 | 13882.00 |        |

タキシテール点滴静注用 20mg × 4 瓶 = 80mg  
9,836.00円 × 4 瓶 = 39,344円

タキシテール点滴静注用 80mg × 1 瓶 = 80mg  
34,119.00円 × 1 瓶 = 34,119円

## 規格・剤形違いの薬品間での相互作用や配合変化のチェックを回避

同一ブランドにグループ化されている薬品間でのチェックを除外することで、相互作用や配合変化の不要なチェックを回避することが可能です。

### 例

『タキソテール点滴静注用』の配合変化チェック

処方例：タキソテールを100mg投与するために、

『タキソテール点滴静注用 20mg』と『タキソテール点滴静注用 80mg』が処方された場合

『タキソテール点滴静注用 20mg』の添付文書（抜粋）

#### 14. 適用上の注意

14.1.2 他剤との混注を行わないこと。

**他剤**に規格違いの『タキソテール点滴静注用 80mg』も該当してしまうため、「配合禁止」のチェックがかかる

| 商品名              | 一般名          | 規格                      |
|------------------|--------------|-------------------------|
| タキソテール点滴静注用 20mg | ドセタキセル水和物注射液 | 20mg 0.5mL 1瓶<br>(溶解液付) |
| タキソテール点滴静注用 80mg | ドセタキセル水和物注射液 | 80mg 2mL 1瓶<br>(溶解液付)   |

同一ブランド

同一ブランドの薬品をチェック対象から除外

規格違いの薬品間で「配合禁止」のチェックを回避することが可能





## データベースの概要

医療用医薬品の名称を要素毎に分割・分類したデータベースです。

商品名のブランドや一般名の成分で絞り込むことができるため、剤形や規格などを含まない名称の取得にご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収録の全ての薬品を網羅しています。

## データベースの特徴

### 分割した医薬品名称（分割名称）に属性を設定

商品名および一般名を分割し、全ての要素（分割名称）を次の7種類の属性に分類しています。

また、分割名称に対応する読み仮名を保持しています。

| 分割名称の属性          |
|------------------|
| ブランド名称・成分        |
| 付加情報（剤形など）       |
| 付加情報（規格など）       |
| 付加情報（特性・用途・製法など） |
| 付加情報（メーカー・屋号など）  |
| 付加情報（記号など）       |
| 判定不能 ※上記に含まれないもの |

### 例

『レキップCR錠2mg（一般名：ロピニロール塩酸塩徐放錠）』のデータ（概略）

| 商品名/一般名 | 分割順 | 分割名称      | 読み           | 属性         |
|---------|-----|-----------|--------------|------------|
| 商品名     | 1   | レキップ      | レキップ         | ブランド名称・成分  |
|         | 2   | CR        | CR           | 付加情報（剤形など） |
|         | 3   | 錠         | ジョウ          | 付加情報（剤形など） |
|         | 4   | 2mg       | 2mg          | 付加情報（規格など） |
| 一般名     | 1   | ロピニロール塩酸塩 | ロピニロールエンサンエン | ブランド名称・成分  |
|         | 2   | 徐放錠       | ジョホウジョウ      | 付加情報（剤形など） |

『ラクトロース・シロップ60%分包10mL「コーワ」（一般名：ラクトロースシロップ）』のデータ（概略）

| 商品名/一般名 | 分割順 | 分割名称   | 読み     | 属性               |
|---------|-----|--------|--------|------------------|
| 商品名     | 1   | ラクトロース | ラクトロース | ブランド名称・成分        |
|         | 2   | .      | .      | 付加情報（記号など）       |
|         | 3   | シロップ   | シロップ   | 付加情報（剤形など）       |
|         | 4   | 60%    | 60%    | 付加情報（規格など）       |
|         | 5   | 分包     | ブンボウ   | 付加情報（特性・用途・製法など） |
|         | 6   | 10mL   | 10mL   | 付加情報（規格など）       |
|         | 7   | 「コーワ」  | 「コーワ」  | 付加情報（メーカー・屋号など）  |
| 一般名     | 1   | ラクトロース | ラクトロース | ブランド名称・成分        |
|         | 2   | シロップ   | シロップ   | 付加情報（剤形など）       |

## データベースの機能

### 規格・剤形・屋号を除いた分割名称の取得

商品名の剤形・規格・屋号などが異なる場合や、銘柄別収載品と統一名収載品で一般名が異なる場合においても、同一の分割名称を用いることでブランド名や成分名の絞り込みが可能です。

#### 例

『ドネペジル塩酸塩製剤』のデータ（概略）

| 商品名                   | 商品名の分割名称<br>(ブランド・成分) | 一般名               | 一般名の分割名称<br>(ブランド・成分) |
|-----------------------|-----------------------|-------------------|-----------------------|
| アリセプト細粒0.5%           | アリセプト                 | ドネペジル塩酸塩細粒        | ドネペジル塩酸塩              |
| ドネペジル塩酸塩細粒0.5%「アメル」   | ドネペジル塩酸塩              | ドネペジル塩酸塩細粒        | ドネペジル塩酸塩              |
| ドネペジル塩酸塩錠3mg「クニヒロ」    | ドネペジル塩酸塩              | ドネペジル塩酸塩3mg錠      | ドネペジル塩酸塩              |
| ドネペジル塩酸塩錠5mg「DSEP」    | ドネペジル塩酸塩              | ドネペジル塩酸塩錠         | ドネペジル塩酸塩              |
| ドネペジル塩酸塩錠5mg「NP」      | ドネペジル塩酸塩              | ドネペジル塩酸塩5mg錠      | ドネペジル塩酸塩              |
| ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「YD」    | ドネペジル塩酸塩              | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠    | ドネペジル塩酸塩              |
| ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「サンド」   | ドネペジル塩酸塩              | ドネペジル塩酸塩3mg口腔内崩壊錠 | ドネペジル塩酸塩              |
| ドネペジル塩酸塩ODフィルム3mg「EE」 | ドネペジル塩酸塩              | ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠    | ドネペジル塩酸塩              |

### 解析業務を支援

「ブランドグループデータベース」や「先発後発一般名処方データベース」などと組み合わせて、データ解析などの参考情報としてご利用いただくことが可能です。

## データベースの概要

医療用医薬品の分類名に関するデータベースです。

添付文書に記載された薬効薬理や効能・効果に基づき、薬品の特徴を表した代表的な分類名を標榜薬効名として保持しており、表示情報などにご利用いただくことが可能です。

## データベースの特徴

### 標榜薬効の表記を統一

添付文書に記載されている標榜薬効ではばらつきがある場合でも、表記を統一しています。

#### 例

『2 mg セルシン錠』の添付文書（抜粋）

マイナートランキライザー  
 向精神薬 処方箋医薬品<sup>(注1)</sup>  
 日本薬局方 ジアゼパム錠  
**2 mg セルシン<sup>®</sup>錠**

『ジアゼパム錠2「トーフ」』の添付文書（抜粋）

精神安定剤  
 向精神薬、処方箋医薬品<sup>(注1)</sup>  
 ※日本薬局方 ジアゼパム錠  
**ジアゼパム錠2「トーフ」**

データ（概略）

ベンゾジアゼピン系睡眠・抗不安・抗痙攣薬

『ジアゼパム錠2 mg 「タイホウ」』の添付文書（抜粋）

鎮静・抗不安剤  
 向精神薬、処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋に  
 日本薬局方 ジアゼパム錠  
**ジアゼパム錠 2mg「タイホウ」**

## 添付文書に標榜薬効の記載がない薬品に対応

添付文書に標榜薬効の記載がない薬品においても、標榜薬効名を作成しています。

### 例

『ボノサップパック400』の添付文書（抜粋）

処方箋医薬品<sup>(注)</sup>

**ボノサップ<sup>®</sup>パック400**  
【効能・効果】

<適応菌種>  
アモキシシリン、クラリスロマイシンに感性のヘリコバクター・ピロリ

<適応症>  
胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃MALTリンパ腫・特発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎

『ボノサップパック400』のデータ（概略）

ヘリコバクター・ピロリ除菌薬

## 複数の薬効に対応

複数の薬効をもつ薬品の場合は、必要に応じ複数の標榜薬効名を作成しています。

### 例

『リオナ錠250mg』の添付文書（抜粋）

高リン血症治療剤  
鉄欠乏性貧血治療剤  
クエン酸第二鉄水和物錠

**リオナ<sup>®</sup>錠250mg**

『リオナ錠250mg』のデータ（概略）

リン吸収抑制薬  
鉄剤

## 薬効分類名（日本標準商品分類）が具体的でない薬品に対応

薬効分類名が「その他の〇〇」などと表現されている薬品についても、適切な標榜薬効名を作成しています。

### 例

『ゾメタ点滴静注4mg/5mL』の添付文書（抜粋）

骨吸収抑制剤

劇薬、処方箋医薬品  
(注意-医師等の処方箋により使用すること)

**ゾメタ<sup>®</sup>点滴静注4mg/5mL**

『ゾメタ点滴静注4mg/5mL』のデータ（概略）

ビスホスホネート系骨吸収抑制薬

『ゾメタ点滴静注4mg/5mL』の薬効分類

薬効分類番号：3999  
薬効分類名：他に分類されないその他の代謝性医薬品

## データベースの機能

### 標榜薬効名の表示

商品名とともに薬効薬理や効能・効果の特徴を表した標榜薬効名を表示することで、医療事故の防止などにご利用いただけます。

#### 例

類似の商品名で効能・効果が全く異なる薬品の取り違えに対する注意喚起情報として表示

『ザルティア錠 2.5mg』のデータ（概略）

排尿障害治療薬（ホスホジエステラーゼ5（PDE-5）阻害薬）

効能・効果の違いを標榜薬効名で確認

『ザイティガ錠 250mg』のデータ（概略）

抗悪性腫瘍薬（アンドロゲン合成酵素（CYP17）阻害薬）

ご利用場面に応じ、任意の標榜薬効名を指定することが可能です。

#### 例

『ビ・シフロール錠 0.5mg』のデータ（概略）

パーキンソン治療薬

レストレスレッグス症候群治療薬

表示例①

パーキンソン治療薬

レストレスレッグス症候群治療薬

表示例②

レストレスレッグス症候群治療薬



## データベースの概要

診療報酬における「特に安全管理が必要な医薬品」（ハイリスク薬）のデータベースです。

「薬剤管理指導料1」や「特定薬剤管理指導加算1」の対象となる薬品を商品名毎に判別することが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収録の全ての薬品を網羅しています。

また、診療報酬情報提供サービスの発表にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能です。

## データベースの特徴

### 厚生労働省の発表内容に対応

「特に安全管理が必要な医薬品」に対し、該当する薬品を個別医薬品コードで管理しています。

参考情報：特定薬剤管理指導加算等の算定対象となる薬剤一覧（診療報酬情報提供サービス）

### 12種のカテゴリに分類

「特に安全管理が必要な医薬品」を、厚生労働省より発表された疑義解釈や薬品の添付文書の効能・効果の情報をもとに、官報で告示された次のカテゴリに分類しています。

| 分類名              |
|------------------|
| 抗悪性腫瘍剤           |
| 免疫抑制剤            |
| 不整脈用剤            |
| 抗てんかん剤           |
| 血液凝固阻止剤（内服薬に限る。） |
| ジギタリス製剤          |
| テオフィリン製剤         |
| カリウム製剤（注射薬に限る。）  |
| 精神神経用剤           |
| 糖尿病用剤            |
| 臓器ホルモン剤          |
| 抗HIV薬            |

(2021年12月現在)

## 例

「特定薬剤管理指導加算等の算定対象となる薬剤一覧」（抜粋）

| 医薬品コード    | 薬価基準コード      | 基本漢字名称       | 算定対象となる薬剤 |
|-----------|--------------|--------------|-----------|
| 621950901 | 3969010F1034 | ジャヌビア錠 2.5mg | ○         |
| 612470037 | 2478001F2179 | プロスタール錠 2.5  | ○         |

『ジャヌビア錠 2.5mg』の添付文書（抜粋）

【効能又は効果】  
2型糖尿病

「糖尿病用剤」のデータ（概略）

| 個別医薬品コード     | 商品名          | 分類名   |
|--------------|--------------|-------|
| 3969010F1034 | ジャヌビア錠 2.5mg | 糖尿病用剤 |

『プロスタール錠 2.5』の添付文書（抜粋）

【効能又は効果】  
前立腺肥大症、**前立腺癌**  
但し、転移のある前立腺癌症例に対しては、他療法による治療の困難な場合に使用する。

「抗悪性腫瘍剤」のデータ（概略）

| 個別医薬品コード     | 商品名         | 分類名    |
|--------------|-------------|--------|
| 2478001F2179 | プロスタール錠 2.5 | 抗悪性腫瘍剤 |

※「前立腺肥大症」に用いた場合は、算定の対象となりません。

## データベースの機能

### ハイリスク薬の判別

算定対象となる薬品を商品名毎に判別しているため、「薬剤管理指導料 1」や「特定薬剤管理指導加算 1」の対象薬品の確認にご利用いただくことが可能です。

また、分類名を確認することができるため、複数の効能・効果をもつ薬品についてハイリスク薬に該当する効能・効果の確認、および患者指導の際の参考情報としてご利用いただけます。

### 発表にあわせた提供（リアルタイムに対応）

診療報酬情報提供サービスの発表にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能のため、最新の情報をご利用いただけます。



## データベースの概要

診療報酬における「特定薬剤治療管理料」の算定対象となる候補薬剤のデータベースです。

対象となる薬品を商品名毎に判別することが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収載の全ての薬品を網羅しています。

※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

「特定薬剤治療管理料」における各算定項目に該当する薬品を分類し、個別医薬品コードで管理しています。

| 特定薬剤治療管理料 1          |               |
|----------------------|---------------|
| ジギタリス製剤              | シクロスポリン       |
| ジギタリス製剤の急速飽和         | サリチル酸系製剤      |
| 抗てんかん剤               | メトトレキサート      |
| てんかん重積状態             | タクロリムス水和物     |
| テオフィリン製剤             | トリアゾール系抗真菌剤   |
| 不整脈用剤                | グリコペプチド系抗生物質  |
| ハロペリドール製剤            | アミノ配糖体抗生物質    |
| プロムペリドール製剤           | イマチニブ         |
| リチウム製剤               | エベロリムス        |
| バルプロ酸ナトリウム（躁うつ病又は躁病） | シロリムス製剤       |
| カルバマゼピン              | スニチニブ         |
| バルプロ酸ナトリウム（片頭痛）      | 治療抵抗性統合失調症治療薬 |
| 免疫抑制剤                |               |
| 特定薬剤治療管理料 2          |               |
| サリドマイド製剤及びその誘導体      |               |

(2022年4月現在)

### 例

「てんかん重積状態」の効能をもつ薬品を分類名『てんかん重積状態』の候補薬剤としています。

『てんかん重積状態』のデータ（概略）

| 個別医薬品コード     | 商品名                   |
|--------------|-----------------------|
| 1124402A1030 | セルシン注射液 5 mg          |
| 1124402A1049 | ジアゼパム注射液 5 mg 「タイヨー」  |
| 1124402A2045 | ホリゾン注射液 10 mg         |
| 1124402A2053 | セルシン注射液 10 mg         |
| 1124402A2061 | ジアゼパム注射液 10 mg 「タイヨー」 |
| 1132400A1033 | アレビアチン注 250 mg        |
| 1132401A1020 | ホストイン静注 750 mg        |
| 1139400F1023 | ノーベルパール静注用 250 mg     |
| 1139401A1020 | ミダフレッサ静注 0.1%         |

## データベースの機能

### 特定薬剤治療管理料の算定対象となる薬品の判別

算定対象となる薬品を商品名毎に判別しているため、「特定薬剤治療管理料」の対象薬品の確認、および薬学的管理の際の参考情報としてご利用いただくことが可能です。

## データベースの概要

診療報酬における「調剤後薬剤管理指導加算」の算定対象となる候補薬剤のデータベースです。  
 糖尿病薬であるインスリン製剤、又はスルフォニル尿素系製剤（SU剤）を判別することが可能です。  
 ※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

「調剤後薬剤管理指導加算」の算定対象となるインスリン製剤又はSU剤に該当する薬品を個別医薬品コードで管理しています。

### 例

糖尿病薬のデータ（概略）

| 商品名                 | 一般名                                          | 調剤後薬剤管理<br>指導加算* |
|---------------------|----------------------------------------------|------------------|
| アマリール1mg錠           | グリメピリド錠                                      | ●                |
| ジャヌビア錠50mg          | シタグリプチンリン酸塩水和物錠                              | ×                |
| ソニアス配合錠LD           | ピオグリタゾン塩酸塩・グリメピリド配合剤錠                        | ●                |
| トレスーバ注 フレックスタッチ     | インスリン デグルデク（遺伝子組換え）キット                       | ○                |
| トルリシティ皮下注0.75mgアテオス | デュラグルチド（遺伝子組換え）キット                           | ×                |
| ゾルトファイ配合注フレックスタッチ   | インスリン デグルデク（遺伝子組換え）<br>・リラグルチド（遺伝子組換え）配合剤キット | ○                |

\*○：該当（インスリン製剤）、●：該当（SU剤）、×：非該当

薬効分類番号からはインスリン製剤又はSU剤であることが判別できない場合にも対応しています。

### 例

薬効分類番号（3969：その他の糖尿病薬）における例

| 薬効分類番号             | 商品名          | 一般名                 | 調剤後薬剤管理<br>指導加算* |
|--------------------|--------------|---------------------|------------------|
| 3969<br>（その他の糖尿病薬） | ジャヌビア錠50mg   | シタグリプチンリン酸塩水和物錠     | ×                |
| 3969<br>（その他の糖尿病薬） | ソニアス配合錠LD    | ピオグリタゾン塩酸塩          | ●                |
|                    |              | グリメピリド配合剤錠          |                  |
| 3969<br>（その他の糖尿病薬） | ソリクア配合注ソロスター | インスリン グラルギン（遺伝子組換え） | ○                |
|                    |              | リキシセナチド配合剤キット       |                  |

\*○：該当（インスリン製剤）、●：該当（SU剤）、×：非該当

## データベースの機能

### 診療報酬において算定対象となる薬品の判別

算定対象となる薬品を商品名毎に判別しているため、「調剤後薬剤管理指導加算」の対象薬品の確認にご利用いただくことが可能です。

また、該当の薬品においてインスリン製剤かSU剤かの判別も可能です。

#### <参考>

#### 10 調剤後薬剤管理指導加算（抜粋）

- (1) 調剤後薬剤管理指導加算は、低血糖の予防等の観点から、糖尿病患者に新たにインスリン製剤又はスルフォニル尿素系製剤（以下「インスリン製剤等」という。）が処方等された患者に対し、地域支援体制加算を届け出ている保険薬局の保険薬剤師が、調剤後に電話等により、その使用状況、副作用の有無等について患者に確認する等、必要な薬学的管理指導を行うとともに、その結果等を保険医療機関に文書により情報提供した場合に算定する。なお、インスリン製剤等の調剤と同日に電話等により使用状況の確認等を行った場合には算定できない。
- (2) (1)の「新たにインスリン製剤が処方等された患者」とは次のいずれかに該当する患者をいう。
  - ア 新たにインスリン製剤等が処方された患者
  - イ 既にインスリン製剤等を使用している患者であって、新たに他のインスリン製剤等が処方された患者
  - ウ インスリン製剤の注射単位の変更又はスルフォニル尿素系製剤の用法・用量の変更があった患者
- (3) 当該加算に係る電話又はビデオ通話によるインスリン製剤等の使用状況の確認等は、以下のア又はイの場合に患者の同意を得て行うものであること。
  - ア 保険医療機関からの求めがあった場合
  - イ 患者若しくはその家族等の求めがあった場合等、調剤後の薬剤管理指導の必要性が認められる場合であって、医師の了解を得たとき
- (4) 本加算の調剤後のインスリン製剤等の使用状況等の確認は、処方医等の求めに応じて実施するものであり、計画的な電話又はビデオ通話による確認を原則とすること。この場合において、あらかじめ患者に対し、電話等を用いて確認することについて了承を得ること。
- (5) 保険医療機関に対して情報提供した文書の写し又はその内容の要点等を薬剤服用歴の記録に添付又は記載する。
- (6) 電話等による患者のインスリン製剤等の使用状況等の確認を行った結果、速やかに保険医療機関に伝達すべき副作用等の情報を入手した場合（インスリン製剤等以外の薬剤による副作用が疑われる場合を含む。）は、遅滞なく当該情報を患者が受診中の保険医療機関に提供するとともに、必要に応じて保険医療機関への受診勧奨を行うこと。
- (7) 当該加算の算定時に行う保険医療機関への文書による情報提供については、服薬情報等提供料は算定できない。
- (8) 当該加算は、かかりつけ薬剤師指導料又はかかりつけ薬剤師包括管理料を算定している患者については算定できない。

(2021年12月現在)



## データベースの概要

診療報酬における「吸入薬指導加算」の算定対象となる候補薬剤のデータベースです。  
喘息又は慢性閉塞性肺疾患（COPD）の適応をもつ吸入薬を判別することが可能です。  
また、一部製剤については、患者さんへの説明に利用可能な指導用資材もあわせてご利用いただけます。  
※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

「吸入薬指導加算」の算定対象となる喘息又は慢性閉塞性肺疾患（COPD）の適応を持つ吸入薬を個別医薬品コードで管理しています。

### 例

吸入薬指導加算のデータ（概略）

| 商品名                      | 吸入薬指導加算* |
|--------------------------|----------|
| パルミコート100μgタービュヘイラー112吸入 | ○        |
| アノーロエリプタ7吸入用             | ○        |
| エクリラ400μg ジェヌエア30吸入用     | ○        |
| スピオルトレスピマット28吸入          | ○        |
| ビソルボン吸入液0.2%             | ×        |

\*○：該当、×：非該当

## データベースの機能

### 診療報酬において算定対象となる薬品の判別

算定対象となる薬品を商品名毎に判別しているため、「吸入薬指導加算」の対象薬品の確認にご利用いただくことが可能です。

### 「指導用資材」の表示

一部の吸入薬は製剤と指導用資材を関連付けているため、患者さんへの指導の際の参考情報としてご利用いただけます。

## &lt;参考&gt;

## 9 吸入薬指導加算（抜粋）

- (1) 吸入薬指導加算は、喘息又は慢性閉塞性肺疾患の患者が吸入薬を適切に使用し、治療効果の向上や副作用の回避に繋がるよう、以下のア及びイを行った場合に3月に1回に限り算定する。  
ただし、当該患者に対し他の吸入薬が処方された場合であって、必要な吸入指導等を別に行ったときには、前回の吸入薬指導加算の算定から3月以内であっても算定できる。  
ア 文書及び練習用吸入器等を用いて、吸入手技の指導を行い、患者が正しい手順で吸入薬が使用されているか否かなどの確認等を行うこと。  
イ 保険医療機関に対し、文書による吸入指導の結果等に関する情報提供を行うこと。
- (2) 当該加算に係る指導は以下のア又はイの場合に、患者の同意を得て行うものであること。  
ア 保険医療機関からの求めがあった場合  
イ 患者若しくはその家族等の求めがあった場合等、吸入指導の必要性が認められる場合であって、医師の了解を得たとき
- (3) 当該加算に係る吸入指導を行うにあたっては、日本アレルギー学会が作成する「アレルギー総合ガイドライン2019」等を参照して行うこと。
- (4) (1)の「文書による吸入指導の結果等に関する情報提供」とは、吸入指導の内容や患者の吸入手技の理解度等について、保険医療機関に情報提供することであり、文書の他、手帳により情報提供することでも差し支えない。ただし、患者への吸入指導等を行った結果、患者の当該吸入薬の使用について疑義等がある場合には、処方医に対して必要な照会を行うこと。なお、保険医療機関に情報提供した文書等の写し又はその内容の要点等を薬剤服用歴の記録に添付又は記載すること。
- (5) 当該加算は、かかりつけ薬剤師指導料又はかかりつけ薬剤師包括管理料を算定している患者については算定できない。また、当該加算の算定に関する保険医療機関への情報提供については、服薬情報等提供料は算定できない。

(2021年12月現在)

## データベースの概要

診療報酬における「在宅医療薬剤料」、「在宅自己注射指導管理料」の算定対象となる候補薬剤のデータベースです。

対象となる薬品を商品名毎に判別することが可能です。

※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

「在宅医療薬剤料」、「在宅自己注射指導管理料」の算定対象となる「厚生労働大臣の定める注射薬」に該当する薬品を個別医薬品コードで管理しています。

### 例

在宅自己注射のデータ（概略）

| 商品名              | 在宅医療薬剤料* | 在宅自己注射指導管理料* |
|------------------|----------|--------------|
| ランタスXR注ソロスター     | ○        | ○            |
| フォルテオ皮下注キット600μg | ○        | ○            |
| ラジカット注30mg       | ○        | ×            |
| テリボン皮下注用56.5μg   | ×        | ×            |

\*○：該当、×：非該当

## データベースの機能

### 診療報酬において算定対象となる薬品の判別

算定対象となる薬品を商品名毎に判別しているため、「在宅医療薬剤料」、「在宅自己注射指導管理料」の対象薬品の確認にご利用いただくことが可能です。

## &lt;参考&gt;

## 「厚生労働大臣が定める注射薬」 (抜粋)

インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、遺伝子組換え活性化型血液凝固第Ⅶ因子製剤、乾燥濃縮人血液凝固第Ⅹ因子加活性化第Ⅶ因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅷ因子製剤、乾燥人血液凝固第Ⅷ因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅸ因子製剤、乾燥人血液凝固第Ⅸ因子製剤、活性化プロトロンビン複合体、乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体、性腺刺激ホルモン放出ホルモン剤、性腺刺激ホルモン製剤、ゴナドトロピン放出ホルモン誘導體、ソマトスタチンアナログ、顆粒球コロニー形成刺激因子製剤、自己連続携行式腹膜灌流用灌流液、在宅中心静脈栄養法用輸液、インターフェロンアルファ製剤、インターフェロンベータ製剤、ブプレノルフィン製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト、ヒトソマトメジンC製剤、人工腎臓用透析液、血液凝固阻止剤、生理食塩液、プロスタグランジンI2製剤、エタネルセプト製剤、注射用水、ペグビソマント製剤、スマトリプタン製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシコドン製剤、オキシコドン塩酸塩製剤、ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム製剤、プロトンポンプ阻害剤、H2遮断剤、カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム製剤、トラネキサム酸製剤、フルルビプロフェンアキセチル製剤、メトクロプラミド製剤、プロクロルペラジン製剤、ブチルスコポラミン臭化物製剤、グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・L-システイン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、エリスロポエチン、ダルベポエチン、テリパラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリンカルシウム製剤、アボモルヒネ塩酸塩製剤、セルトリズマブベゴル製剤、トシリズマブ製剤、メトレレプチン製剤、アバタセプト製剤、pH4処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)製剤、電解質製剤、注射用抗菌薬、エダラボン製剤、アスホターゼアルファ製剤、グラチラマー酢酸塩製剤、脂肪乳剤、セクキヌマブ製剤、エボロクマブ製剤、プロダルマブ製剤、アリロクマブ製剤、ベリムマブ製剤、イクセキズマブ製剤、ゴリムマブ製剤、エミシズマブ製剤、イカチバント製剤、サリルマブ製剤、デュビルマブ製剤、ヒドロモルフォン塩酸塩製剤、インスリン・グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト配合剤、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム製剤、遺伝子組換えヒトvonWillebrand因子製剤、プロスマブ製剤、アガルシダーゼアルファ製剤、アガルシダーゼベータ製剤、アルグルコシダーゼアルファ製剤、イデュルスルファーゼ製剤、イミグルセラールゼ製剤、エロスルファーゼアルファ製剤、ガルスルファーゼ製剤、セベリパーゼアルファ製剤、ベラグルセラールゼアルファ製剤、ラロニダーゼ製剤、メポリズマブ製剤、オマリズマブ製剤、テデュグルチド製剤、サトラリズマブ製剤、ビルトラルセン製剤及びレムデシビル製剤

(2022年4月現在)



## データベースの概要

診療報酬における「向精神薬多剤投与」「向精神薬長期処方」による処方料などの減額や、「非定型抗精神病薬加算」の算定などの対象となる候補薬剤のデータベースです。

対象となる薬品を商品名毎に判別することが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収載の全ての薬品を網羅しています。

※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

### 「向精神薬多剤投与該当成分」「非定型抗精神病薬」「持続性抗精神病注射剤」を分類

「向精神薬多剤投与」、「非定型抗精神病薬加算」、「持続性抗精神病注射剤治療指導管理料」などの算定対象となる候補薬剤を分類し、個別医薬品コードで管理しています。

#### 例

向精神薬候補薬剤のデータ（概略）

| 向精神薬分類名称        | 向精神薬成分名称                | 個別医薬品コード     | 商品名                | 区分フラグ      |
|-----------------|-------------------------|--------------|--------------------|------------|
| 抗不安薬            | オキサゾラム                  | 1124013F1033 | セレナール錠5            |            |
| 抗不安薬            | クロキサゾラム酸塩               | 1124014F2034 | セバゾン錠2             |            |
| 抗不安薬            | エチゾラム                   | 1179025C1054 | デバス細粒1%            |            |
| 睡眠薬             | スボレキサント                 | 1190023F1024 | ベルソムラ錠15mg         |            |
| 抗うつ薬            | ベンラファキシン塩酸塩             | 1179055N2028 | イフェクサーSRカプセル75mg   |            |
| 抗精神病薬<br><定型薬>  | クロルプロマジン塩酸塩             | 1171001F2177 | コントミン糖衣錠25mg       |            |
| 抗精神病薬<br><定型薬>  | クロルプロマジン<br>フェノールフタリン酸塩 | 1171005C1024 | ウインタミン細粒(10%)      |            |
| 抗精神病薬<br><非定型薬> | リスベリドン                  | 1179038C1027 | リスパダール細粒1%         |            |
| 抗精神病薬<br><非定型薬> | リスベリドン                  | 1179407G1026 | リスパダール コンスタ筋注用25mg | 持続性抗精神病注射剤 |

#### <参考>

診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項における「別紙36」（抜粋）

|             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 抗不安薬        | 抗精神病薬(○印は非定型抗精神病薬、△は持続性抗精神病注射剤) |
| オキサゾラム      | <定型薬>                           |
| クロキサゾラム     | クロルプロマジン塩酸塩                     |
| クロラゼパ酸二カリウム | クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩             |
| ジアゼパム       | ペルフェナジンフェンジゾ酸塩                  |
| フルジアゼパム     | ペルフェナジン                         |
| プロマゼパム      | ペルフェナジンマレイン酸塩                   |
| メダゼパム       | プロベリシアジン                        |
| ロラゼパム       | フルフェナジンマレイン酸塩                   |

## 「ベンゾジアゼピン受容体作動薬」を分類

「向精神薬長期処方」に該当する可能性のあるベンゾジアゼピン受容体作動薬を個別医薬品コードで管理し、適応症に不安若しくは不眠があるか否かの判別情報を保持しています。

### 例

ベンゾジアゼピン受容体作動薬のデータ（概略）

| 成分名称        | 適正使用<br>掲載フラグ* | 個別医薬品コード     | 商品名          | 不安若しくは不眠<br>の適応症 |
|-------------|----------------|--------------|--------------|------------------|
| アルプラゾラム     | 掲載             | 1124023F1029 | コンスタン0.4mg錠  | 有                |
| エスゾピクロン     | 掲載             | 1129010F2024 | ルネスタ錠2mg     | 有                |
| エチゾラム       | 掲載             | 1179025C1054 | デバス細粒1%      | 有                |
| オキサゾラム      | 掲載             | 1124013F2064 | セレナール錠10     | 有                |
| クロナゼパム      | 掲載             | 1139003F1059 | ランドセン錠0.5mg  | 有                |
| ミダゾラム       | 掲載             | 1139401A1020 | ミダフレッサ静注0.1% | なし               |
| レミマゾラムベシル酸塩 | 非掲載            | 1119403F1024 | アネレム静注用50mg  | なし               |

\* 「医薬品適正使用のお願い（医薬品医療機器総合機構PMDA）」に掲載されているか否かの判別情報

### <参考>

「医薬品適正使用のお願い（医薬品医療機器総合機構PMDA）」抜粋

**ベンゾジアゼピン受容体作動薬を  
催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合は、以下の点にご注意ください**

**◎漫然とした継続投与による長期使用を避けて  
ください**

・承認用量の範囲内でも長期間服用するうちに依存が形成し、投与を継続する場合には、治療上の必要性を検討してください

**本邦で承認されているベンゾジアゼピン受容体作動薬**

| 一般名     |                | 販売名       |                |
|---------|----------------|-----------|----------------|
| アルプラゾラム | コンスタン、ソラナックス 他 | フルジアゼパム   | エリスパン          |
| エスゾピクロン | ルネスタ           | フルタゾラム    | コレミナール         |
| エスタゾラム  | ユーロジン 他        | フルトラゼパム   | レスタス           |
| エチゾラム   | デバス 他          | フルニトラゼパム  | サイレース、ロヒプノール 他 |
| オキサゾラム  | セレナール 他        | フルラゼパム塩酸塩 | ダルメート          |
| クアゼパム   | ドラール 他         | プロチゾラム    | レンドルミン 他       |

## データベースの機能

### 診療報酬において算定対象となる向精神薬の判別

次の算定対象となる薬品を商品名毎に判別しているため、対象薬品の確認、および患者管理の際の参考情報としてご利用いただくことが可能です。

### <参考>

向精神薬に関する各種算定項目

- ・処方料、処方せん料及び薬剤料の向精神薬多剤投与、向精神薬長期処方による減額
- ・向精神薬調整連携加算
- ・薬剤総合評価調整加算
- ・非定型抗精神病薬加算（地域移行機能強化病棟入院料の加算）
- ・認知症地域包括診療加算
- ・精神科継続外来支援・指導料
- ・通院・在宅精神療法
- ・持続性抗精神病薬注射薬剤治療指導管理料

## データベースの概要

診療報酬における「薬剤総合評価調整加算」のクロルプロマジン換算に関するデータベースです。

抗精神病薬のクロルプロマジン換算量を算出することが可能です。

本データベースは、医療用医薬品のうち内服薬を対象としています。

※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

診療報酬において発表されている「クロルプロマジン換算係数」を個別医薬品コードで管理しています。

抗精神病薬一般名とクロルプロマジン100mg相当量

| 抗精神病薬一般名       | クロルプロマジン100mg相当量 |
|----------------|------------------|
| クロルプロマジン塩酸塩    | 100mg            |
| ペルフェナジンフェンジソ酸塩 | 10mg             |
| スルピリド          | 200mg            |
| ハロペリドール        | 2mg              |
| リスペリドン         | 1mg              |
| オランザピン         | 2.5mg            |

(抜粋 2022年1月現在)

### 例

クロルプロマジン換算値のデータ（概略）

| 抗精神病薬一般名       | クロルプロマジン100mg相当量 | 個別医薬品コード     | 商品名                      | 1規格当りの成分量    |
|----------------|------------------|--------------|--------------------------|--------------|
| クロルプロマジン塩酸塩    | 100mg            | 1171001F4072 | コントミン糖衣錠 100mg           | 100mg/1錠     |
| ペルフェナジンフェンジソ酸塩 | 10mg             | 1172004B1030 | ピーゼットシー散 1%              | 10mg/1g      |
| スルピリド          | 200mg            | 1179016F1124 | ドグマチール錠 100mg            | 100mg/1錠     |
| ハロペリドール        | 2mg              | 1179020C1191 | セレネース細粒 1%               | 10mg/1g      |
| リスペリドン         | 1mg              | 1179038C1027 | リスパダール細粒 1%              | 10mg/1g      |
| リスペリドン         | 1mg              | 1179038S4055 | リスペリドン内用液分包 2mg<br>「日医工」 | 2mg/2mL (1包) |
| オランザピン         | 2.5mg            | 1179044F2025 | ジブレキサ錠 5mg               | 5mg/1錠       |

## データベースの機能

### クロルプロマジン換算量の算出

「薬剤総合評価調整加算」の算定に用いるクロルプロマジン換算量を算出することが可能です。

#### 例

『セレネース内服液 0.2%』3mLを処方した場合のクロルプロマジン換算量を算出することが可能です。

『セレネース内服液 0.2%』のデータ（概略）

| 抗精神病薬一般名 | クロルプロマジン<br>100mg相当量 | 個別医薬品コード     | 商品名           | 1規格当りの成分量 |
|----------|----------------------|--------------|---------------|-----------|
| ハロペリドール  | 2mg                  | 1179020S1030 | セレネース内服液 0.2% | 2mg/1mL   |

$$\text{クロルプロマジン換算量} = (2\text{mg} / 2\text{mg}) \times 100 \times 3\text{mL} = 300\text{mg}$$

### 抗精神病薬の切り替え時の薬品比較

抗精神病薬の切り替えの際、薬品間の投与量の比較にご利用いただくことが可能です。

#### 例

『リスペリドン内用液分包 2mg 「日医工」』2包を『ピーゼットシー散 1%』に切り替える際、投与量の目安を算出することが可能です。

『リスペリドン内用液分包 2mg 「日医工」』のデータ（概略）

| 抗精神病薬一般名 | クロルプロマジン<br>100mg相当量 | 個別医薬品コード     | 商品名                      | 1規格当りの成分量    |
|----------|----------------------|--------------|--------------------------|--------------|
| リスペリドン   | 1mg                  | 1179038S4055 | リスペリドン内用液分包 2mg<br>「日医工」 | 2mg/2mL (1包) |

$$\text{クロルプロマジン換算量} = (2\text{mg} / 1\text{mg}) \times 100 \times 2\text{包} = 400\text{mg}$$

『ピーゼットシー散 1%』のデータ（概略）

| 抗精神病薬一般名           | クロルプロマジン<br>100mg相当量 | 個別医薬品コード     | 商品名         | 1規格当りの成分量 |
|--------------------|----------------------|--------------|-------------|-----------|
| ペルフェナジン<br>フェンジソ酸塩 | 10mg                 | 1172004B1030 | ピーゼットシー散 1% | 10mg/1g   |

$$\text{クロルプロマジン換算量} 400\text{mg} \text{に相当するピーゼットシー散 1\%の製剤量} \\ = 400\text{mg} \times (10\text{mg} / 10\text{mg}) \times (1\text{g} / 100) = 4\text{g}$$

## 例

抗精神病薬2種（『コントミン糖衣錠100mg』3錠と『ジブレキサ錠5mg』1錠）を1種（『リスパダール細粒1%』）に減薬する際に投与量の目安を算出することが可能です。

『コントミン糖衣錠100mg』のデータ（概略）

| 抗精神病薬一般名    | クロルプロマジン<br>100mg相当量 | 個別医薬品コード     | 商品名           | 1規格当りの成分量 |
|-------------|----------------------|--------------|---------------|-----------|
| クロルプロマジン塩酸塩 | 100mg                | 1171001F4072 | コントミン糖衣錠100mg | 100mg/1錠  |

『ジブレキサ錠5mg』のデータ（概略）

| 抗精神病薬一般名 | クロルプロマジン<br>100mg相当量 | 個別医薬品コード     | 商品名       | 1規格当りの成分量 |
|----------|----------------------|--------------|-----------|-----------|
| オランザピン   | 2.5mg                | 1179044F2025 | ジブレキサ錠5mg | 5mg/1錠    |

$$\text{クロルプロマジン換算量} = (300\text{mg} / 100\text{mg}) \times 100 + (5\text{mg} / 2.5\text{mg}) \times 100 = 500\text{mg}$$

『リスパダール細粒1%』のデータ（概略）

| 抗精神病薬一般名 | クロルプロマジン<br>100mg相当量 | 個別医薬品コード     | 商品名        | 1規格当りの成分量 |
|----------|----------------------|--------------|------------|-----------|
| リスパダール   | 1mg                  | 1179038C1027 | リスパダール細粒1% | 10mg/1g   |

$$\text{クロルプロマジン換算量}500\text{mgに相当するリスパダール細粒1\%の製剤量} \\ = 500\text{mg} \times (1\text{mg} / 10\text{mg}) \times (1\text{g} / 100) = 0.5\text{g}$$

## &lt;参考&gt;

## A250 薬剤総合評価調整加算（抜粋）

注1 入院中の患者について、次のいずれかに該当する場合に、退院時1回に限り所定点数に加算する。

- イ 入院前に6種類以上の内服薬（特に規定するものを除く。）が処方されていた患者について、当該処方の内容を総合的に評価した上で、当該処方の内容を変更し、かつ、療養上必要な指導を行った場合
- ロ 精神科棟に入院中の患者であって、入院直前又は退院1年前のいずれか遅い時点で抗精神病薬を4種類以上内服していたものについて、当該抗精神病薬の処方の内容を総合的に評価した上で、当該処方の内容を変更し、かつ、療養上必要な指導を行った場合

2 次のいずれかに該当する場合に、薬剤調整加算として150点を更に所定点数に加算する。

- イ 注1のイに該当する場合であって、当該患者の退院時に処方する内服薬が2種類以上減少した場合
- ロ 注1のロに該当する場合であって、退院日までの間に抗精神病薬の種類数が2種類以上減少した場合その他これに準ずる場合

- (10) 「注2」に規定する薬剤調整加算は、「注1」に規定する薬剤総合評価調整加算に係る算定要件を満たした上で、退院時に処方される内服薬が2種類以上減少し、その状態が4週間以上継続すると見込まれる場合又は退院までの間に、抗精神病薬の種類数が2種類以上減少した場合に算定する。なお、保険医療機関がクロルプロマジン換算を用いた評価を行う場合には、別紙36の2に示す係数を用い、クロルプロマジン換算で2,000mg以上内服していたものについて、クロルプロマジン換算で1,000mg以上減少した場合を含めることができる。

(2022年1月現在)



## データベースの概要

官報告示における「投薬期間に上限が設けられている医薬品」のデータベースです。

1回の処方における投与日数をチェックすることが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収録の全ての薬品を網羅しています。

また、官報告示にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能です。

## データベースの特徴

「投薬期間に上限が設けられている医薬品」に基づき、対象となる薬品の投与日数制限情報（14日、30日、90日など）を個別医薬品コードで管理しています。また、新医薬品については告示日を取得できるため、投与日数制限を解除することが可能です。

## データベースの機能

### 投与日数をチェック

投与日数に制限のある薬品について、処方日数の可否をチェックすることが可能です。

#### 例

投与日数の上限が30日の『ハルシオン0.125mg錠』を30日を超えて処方した場合に、チェックを行うことが可能です。

『ハルシオン0.125mg錠』のデータ（概略）

| 商品名           | 制限日数 | 告示日 |
|---------------|------|-----|
| ハルシオン0.125mg錠 | 30日  | —   |

#### 処方例

ハルシオン0.125mg錠 28日分

エラー表示なし

#### 処方例

ハルシオン0.125mg錠 56日分

エラー表示あり

新医薬品については、告示日情報を用いることで投与日数制限を解除することが可能です。

#### 例

『レットヴィモカプセル40mg』は2021年11月24日告示の新薬のため、投与日数制限は2022年12月1日に解除されます。

『レットヴィモカプセル40mg』のデータ（概略）

| 商品名            | 制限日数 | 告示日        |
|----------------|------|------------|
| レットヴィモカプセル40mg | 14日  | 2021/11/24 |

#### 処方例

2021年12月15日処方  
レットヴィモカプセル40mg 28日分

エラー表示あり

#### 処方例

2022年12月15日処方  
レットヴィモカプセル40mg 28日分

エラー表示なし

**I 発表にあわせた提供（リアルタイムに対応）**

薬品の官報告示にあわせた“リアルタイム”でのご提供が可能なため、最新の情報をご利用いただけます。

<参考>

「投薬期間に上限が設けられている医薬品」（抜粋）

- (一) 療担規則第二十条第二号へ及びト並びに第二十一条第二号へ並びに療担基準第二十条第三号へ及びト並びに第二十一条第三号への厚生労働大臣が定める投薬量又は投与量が十四日分を限度とされる内服薬及び外用薬並びに注射薬
- イ 麻薬及び向精神薬取締法(昭和二十八年法律第十四号)第二条第一号に規定する麻薬((二)に掲げるものを除く。)
  - ロ 麻薬及び向精神薬取締法第二条第六号に規定する向精神薬((二)及び(三)に掲げるものを除く。)
- ハ 新医薬品(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和三十五年法律第百四十五号)第十四条の四第一項第一号に規定する新医薬品をいう。)であって、使用薬剤の薬価(薬価基準)への収載の日の属する月の翌月の初日から起算して一年(厚生労働大臣が指定するものにあつては、厚生労働大臣が指定する期間)を経過していないもの(次に掲げるものを除く。)
- ビクトルビ配合錠、ロスーゼット配合錠HD、ロスーゼット配合錠LD、テリルジー〇〇エリプター四吸入用、テリルジー〇〇エリプタ三〇吸入用、シムツァ配合錠、アイベータ配合点眼液、ドウベイト配合錠、ピフェルトロ錠一〇〇mg、キャプピリン配合錠、ソリクア配合注ソロスター、アイラミド配合懸濁性点眼液及びエプリスデイドライシロップ六〇mg
- (二) 療担規則第二十条第二号へ及びト並びに第二十一条第二号へ並びに療担基準第二十条第三号へ及びト並びに第二十一条第三号への厚生労働大臣が定める投薬量又は投与量が三十日分を限度とされる内服薬及び外用薬並びに注射薬
- イ 内服薬  
アルプラゾラム、エスタゾラム、エチゾラム、オキシコドン塩酸塩、オキシコドン塩酸塩水和物、オキサゾラム、クアゼパム、クロキサゾラム、クロチアゼパム、クロルジアゼポキシド、コデインリン酸塩、ジヒドロコデインリン酸塩、ソピクロン、ソルピデム酒石酸塩、タペンタドール、トリアゾラム、ニメタゼパム、ハロキサゾラム、ヒドロモルフォン、プラゼパム、フルジアゼパム、フルニトラゼパム、フルラゼパム塩酸塩、プロチゾラム、プロマゼパム、ペモリン、メダゼパム、メチルフェニデート塩酸塩、モダフィニル、モルヒネ塩酸塩、モルヒネ硫酸塩、リスデキサンフェタミンメシル酸塩、ロフラゼブ酸エチル、ロラゼパム又はロルメタゼパムを含有する内服薬並びにメベンゾラート臭化物・フェノバルビタール配合剤及びプロキシフィリン・エフェドリン配合剤
  - ロ 外用薬  
フェンタニル、フェンタニルクエン酸塩又はモルヒネ塩酸塩を含有する外用薬
- ハ 注射薬  
フェンタニルクエン酸塩、ブプレノルフィン塩酸塩又はモルヒネ塩酸塩を含有する注射薬
- (三) 療担規則第二十条第二号へ及びト並びに第二十一条第二号へ並びに療担基準第二十条第三号へ及びト並びに第二十一条第三号への厚生労働大臣が定める投薬量が九十日分を限度とされる内服薬
- ジアゼパム、ニトラゼパム、フェノバルビタール、クロナゼパム又はクロバザムを含有する内服薬及びフェントイン・フェノバルビタール配合剤

(2021年12月現在)



## データベースの概要

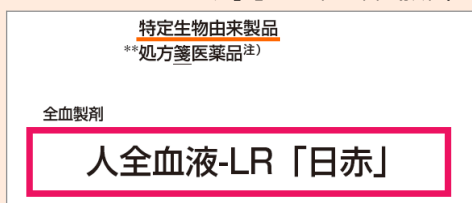
「生物由来製品」、「特定生物由来製品」および「指定再生医療等製品」のデータベースです。  
患者使用記録の保存が必要な薬品などを商品名毎に判別することが可能です。

## データベースの特徴

添付文書の記載をもとに、官報告示における「厚生労働大臣が指定する生物由来製品及び特定生物由来製品」、「厚生労働大臣の指定する指定再生医療等製品」に該当する薬品を個別医薬品コードで管理しています。

### 例

『人全血液-LR「日赤」』の添付文書（抜粋）



『人全血液-LR「日赤」』のデータ（概略）

| 商品名         | 区分     |
|-------------|--------|
| 人全血液-LR「日赤」 | 特定生物由来 |

### 例

『経口用トロンビン細粒5千単位』の添付文書（抜粋）

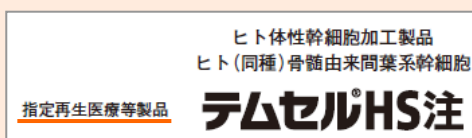


『経口用トロンビン細粒5千単位』のデータ（概略）

| 商品名            | 区分   |
|----------------|------|
| 経口用トロンビン細粒5千単位 | 生物由来 |

### 例

『テムセルHS注』の添付文書（抜粋）



『テムセルHS注』のデータ（概略）

| 商品名     | 区分      |
|---------|---------|
| テムセルHS注 | 指定再生医療等 |

## データベースの機能

### 生物由来製品、特定生物由来製品および指定再生医療等製品の判別

「生物由来製品」、「特定生物由来製品」および「指定再生医療等製品」を商品名毎に判別することが可能です。  
安全性を確保するための対策として、患者さんへの適切な説明、使用記録の作成・保管や感染症などの報告が義務付けられている薬品の確認にご利用いただけます。



## データベースの概要

医師の処方せんを必要とする「処方せん医薬品」のデータベースです。

対象となる薬品を商品名毎に判別することが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収録の全ての薬品を網羅しています。

## データベースの特徴

官報告示における「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第49条第1項の規定に基づき厚生労働大臣の指定する医薬品」に基づく「処方せん医薬品」に該当する薬品を個別医薬品コードで管理しています。

### 例

#### 官報告示（抜粋）

八 次に掲げるもの、その誘導体、それらの水和物及びそれらの塩類を有効成分として含有する製剤(前各号に掲げるもの及び殺そ剤を除く。)。ただし、二以上の有効成分を含有する製剤にあっては、次に掲げるものに限る。

(14) アシクロビル。ただし、外用剤を除く。

#### 処方せん医薬品のデータ（概略）

| 商品名                   | 処方せんフラグ* |
|-----------------------|----------|
| ゾビラックス眼軟膏3%           | ×        |
| アシクロビル眼軟膏3%「ニットー」     | ×        |
| ゾビラックス顆粒40%           | ○        |
| アシクロビル顆粒40%「サワイ」      | ○        |
| ゾビラックス錠200            | ○        |
| ゾビラックス錠400            | ○        |
| アシクロビル内服ゼリー200mg「日医工」 | ○        |
| アシクロビルシロップ8%「MEEK」    | ○        |

\*○：処方せん医薬品、×：処方せん医薬品以外

## データベースの機能

### 処方せん医薬品の判別

「処方せん医薬品」を商品名毎に判別することが可能なため、医師の処方せんを必要とする薬品の確認にご利用いただけます。

## ＜参考＞

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第四十九条第一項の規定に基づき  
厚生労働大臣の指定する医薬品（厚生労働省告示第24号）」（抜粋）

次に掲げる医薬品(専ら疾病の診断に使用されることが目的とされている医薬品であって、人の身体に直接使用されることのないものを除く。)

- 一 放射性医薬品(放射性医薬品の製造及び取扱規則(昭和三十六年厚生省令第四号)第一条第一号に規定する放射性医薬品をいう。)
- 二 麻薬(麻薬及び向精神薬取締法(昭和二十八年法律第十四号)第二条第一号に規定する麻薬をいう。)
- 三 向精神薬(麻薬及び向精神薬取締法第二条第六号に規定する向精神薬をいう。)
- 四 覚醒剤(覚醒剤取締法(昭和二十六年法律第二百五十二号)第二条第一項に規定する覚醒剤をいう。)
- 五 覚醒剤原料(覚醒剤取締法第二条第五項に規定する覚醒剤原料をいう。)
- 六 特定生物由来製品(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和三十五年法律第四百四十五号)第二条第十一項に規定する特定生物由来製品をいう。)
- 七 注射剤(前各号に掲げるものを除く。)
- 八 次に掲げるもの、その誘導体、それらの水和物及びそれらの塩類を有効成分として含有する製剤(前各号に掲げるもの及び殺そ剤を除く。)。ただし、二以上の有効成分を含有する製剤にあつては、次に掲げるものに限る。
  - (1) アカラプルチニブ
  - (2) アカルボース
  - (3) アカンプロサート
  - (4) アキシチニブ
  - (5) アクタリット
  - (6) アクチノマイシンC
  - (7) アクリジニウム臭化物
  - (8) アコチアミド
  - (9) ハーアザグアニン
  - (10) アザセトロン
  - (11) アザチオプリン
  - (12) 亜酸化窒素
  - (13) 亜酸化窒素・酸素
  - (14) アシクロビル。ただし、外用剤を除く。
  - (15) アジスロマイシン
  - (16) アジマリン
  - (17) アシミニブ
  - (18) 亜硝酸アミル
  - (19) アジルサルタン
  - (20) アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩
  - (21) アステミゾール

等

- 九 次に掲げるもの及びその製剤であつて、動物に使用することを目的とするもの
  - (1) オキシトシン
  - (2) 血清性性腺刺激ホルモン
  - (3) 胎盤性性腺刺激ホルモン

(2022年4月現在)

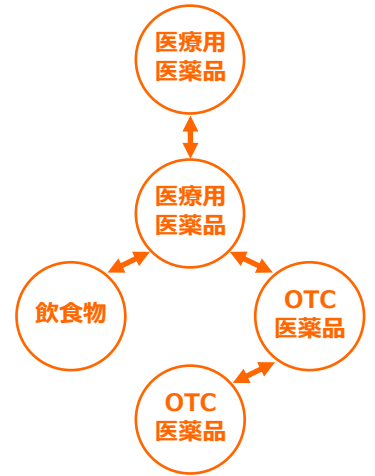
## データベースの概要

医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての相互作用の情報に関するデータベースです。

相互作用チェックの結果として、添付文書の該当箇所の「併用薬剤名」や「併用飲食物」、「発現事象」、「理由」などを表示することが可能です。

また、内服薬、外用薬、注射薬を問わず、右図の組み合わせにおける相互作用のチェックを行うことが可能です。

OTC医薬品同士の組み合わせについても、相互作用のチェックを行うことが可能です。



## データベースの特徴

### 6段階のレベル分け

添付文書の相互作用の情報を以下の6段階のレベルに区分しているため、選択したレベルの範囲でチェックを行うことが可能です。

| 高 | レベル  | 添付文書の記載表現                      |
|---|------|--------------------------------|
|   | 禁止   | 禁忌、禁止、併用しない、併用（投与）を避ける など      |
|   | 原則禁止 | 原則禁忌、原則として禁止、原則として併用（投与）しない など |
|   | 相対禁止 | 有益性が危険性を上回る場合にのみ併用（投与）など       |
|   | 希望禁止 | 併用（投与）しないことが望ましい など            |
|   | 慎重投与 | 慎重投与、慎重に併用する など                |
| 低 | 注意   | 併用注意、注意、留意 など                  |

※添付文書の同一項目内に複数の異なるレベルの記載があった場合には、高いレベルを採用しています。

### 例

【併用注意】の項目（「注意」レベルに該当）に「相対禁止」レベルの記載がある場合は、「相対禁止」のレベルを適用しています。

『サーティカン錠0.25mg』の添付文書（抜粋）

#### 10. 相互作用

##### 10.2 併用注意（併用に注意すること）

| 薬剤名等    | 臨床症状・措置方法                                               | 機序・危険因子                                       |
|---------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| リファンピシン | 本剤の血中濃度が低下することがあるので、併用する場合には治療上の有益性が危険性を上回る場合にのみ使用すること。 | これらの薬剤の代謝酵素（CYP3A4等）誘導作用により本剤の代謝が促進されると考えられる。 |

相対禁止

## 相互作用項目以外の記載に対応

添付文書の【相互作用】以外の項目に相互作用に関する記載がある場合についても、漏れなくチェックを行うことが可能です。

なお、添付文書の記載項目の選択に応じたチェックを行うことや、相互作用以外の項目に記載されている情報について、チェックを除外することも可能です。

### 例

『レミケード点滴静注用100』の添付文書に【相互作用】の項目はありませんが、【重要な基本的注意】の項目に「本剤治療中は、生ワクチン接種を行わないこと」の記載があるため、両薬品の併用は「禁止」となります。

『レミケード点滴静注用100』の添付文書（抜粋）

#### 8. 重要な基本的注意

8.5 本剤治療中は、生ワクチン接種を行わないこと。また、本剤の投与と生ワクチン接種との間隔は十分にあげることが望ましい。やむを得ず生ワクチン接種から本剤の投与まで十分な間隔をあげることができない場合には、リスク・ベネフィットを慎重に判断した上で使用すること。生ワクチンによる感染症発現の可能性が否定できない。

【相互作用】の項目はないものの、【重要な基本的注意】の項目の記載により『レミケード点滴静注用100』と「生ワクチン」の併用は**禁止**

## 相手薬の副作用に関する記載に対応

相手薬が「QT延長を起こすことが知られている薬剤」のような副作用に関する記載の場合でも、該当薬との併用について漏れなくチェックを行うことが可能です。

### 例

『シクレスト舌下錠10mg』の添付文書には【併用注意】の項目に「QT延長を起こすことが知られている薬剤」の記載があります。また『レクサブロ錠10mg』の【重大な副作用】の項には「QT延長」の記載があり、両薬品の併用は「注意」となります。

『シクレスト舌下錠10mg』の添付文書（抜粋）

#### 10. 相互作用

##### 10.2 併用注意(併用に注意すること)

| 薬剤名等                                    | 臨床症状・措置方法         | 機序・危険因子                     |
|-----------------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| <u>QT延長を起こすことが知られている薬剤</u><br>[9.1.3参照] | QT延長があらわれるおそれがある。 | 併用によりQT延長作用が相加的に増加するおそれがある。 |

『レクサブロ錠10mg』の添付文書（抜粋）

#### 11. 副作用

##### 11.1 重大な副作用

11.1.4 QT延長（頻度不明）、心室頻拍（torsades de pointesを含む）（頻度不明）  
[2.3、2.4、7.2、8.7、9.1.1、10.1、10.2 参照]

### 相互作用のチェック結果例

『シクレスト舌下錠10mg』

【項目】相互作用（併用注意）の項

【併用薬剤】QT延長を起こすことが知られている薬剤『レクサブロ錠10mg』

【発現事象】QT延長

【指示】**注意**

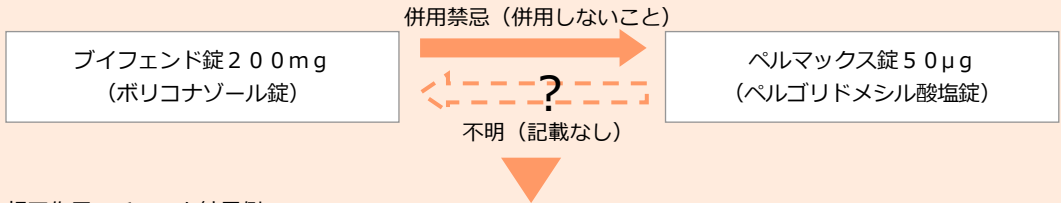
【理由】QT延長作用が相加的に増加

## 一方通行の記載に対応

自薬か相手薬のどちらか一方の添付文書にのみ相互作用の記載がある場合でも、記載をもとにしたチェックを行うことが可能です。

### 例

『ブイフェンド錠200mg』の添付文書の【相互作用】の項目には、「麦角アルカロイド」の記載があります。一方、成分が麦角アルカロイド誘導体である『ペルマックス錠50μg』の添付文書には、『ブイフェンド錠200mg』との併用に関する記載はありませんが、両薬品の併用は「禁止」となります。



### 相互作用のチェック結果例

『ブイフェンド錠200mg』  
 【項目】相互作用（併用禁忌）の項  
 【併用薬剤】麦角アルカロイド『ペルマックス錠50μg』  
 【発現事象】血中濃度が増加し麦角中毒  
 【指示】**禁止**  
 【理由】本剤はこれら薬剤の代謝酵素（CYP3A4）を阻害

## 相手薬の薬効群記載に対応

相手薬が薬効群で記載されている場合や、具体的成分名が“等”で包括された記載となっている場合でも、対象薬品全てと漏れなくチェックを行うことが可能です。

### 例

『レザルトス配合錠HD』の添付文書に『デパス錠1mg』の記載はありませんが、『デパス錠1mg』はベンゾジアゼピン系薬剤の一種であるため、両薬品の併用は「注意」となります。

『レザルトス配合錠HD』の添付文書（抜粋）

| 薬剤名等                               | 臨床症状・措置方法                                                                            | 機序・危険因子                                                   |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| ベンゾジアゼピン系薬剤<br>ジアゼパム、ミダゾラム、トリアゾラム等 | アゼルニジピン又はこれらの薬剤の作用が増強されるおそれがある。必要があれば本剤の成分であるアゼルニジピンを減量した処方に切り替えること、又はこれらの薬剤を減量すること。 | アゼルニジピンとこれらの薬剤がCYP3A4を競合的に阻害することにより、相互のクリアランスが低下すると考えられる。 |

### 相互作用のチェック結果例

『レザルトス配合錠HD』  
 【項目】相互作用（併用注意）の項  
 【併用薬剤】ベンゾジアゼピン系薬剤『デパス錠1mg』  
 【発現事象】アゼルニジピン又はこれらの薬剤の作用が増強  
 【指示】**注意**  
 【理由】アゼルニジピンとこれらの薬剤がCYP3A4を競合的に阻害することにより、相互のクリアランスが低下

※外用薬の相互作用に関しては、その全身作用について臨床現場の使用法や先生方の考えが様々であることから、相互作用のチェック対象としています。但し、外用薬の判別情報を保持しているため、除外することが可能です。

※相手薬が薬効群での記載の場合、当該薬効作用を主とする薬品に加え、当該薬効作用を多少なりとも有する薬品についても、安全性を重視し、相互作用のチェック対象としています。

## 医療用医薬品と飲食物などとの相互作用に対応

代表的な飲食物（日用品を含む）と医療用医薬品との組み合わせで相互作用のチェックを行うことが可能です。

### 例

『ジェイゾロフトOD錠100mg』の添付文書（抜粋）

| 10. 相互作用<br>10.2 併用注意（併用に注意すること） |                       |                                          |
|----------------------------------|-----------------------|------------------------------------------|
| 薬剤名等                             | 臨床症状・措置方法             | 機序・危険因子                                  |
| アルコール<br>(飲酒)                    | 本剤投与中は、飲酒を避けることが望ましい。 | 本剤との相互作用は認められていないが、他の抗うつ剤で作用の増強が報告されている。 |

患者の嗜好品にアルコールを登録

- アルコール
- 乳製品
- コーヒー
- ジュース
- お茶
- 納豆
- その他

相互作用のチェック結果例

|                       |
|-----------------------|
| 『ジェイゾロフトOD錠100mg』     |
| 【項目】 相互作用（併用注意）の項     |
| 【飲食物】 <b>アルコール、飲酒</b> |
| 【指示】 希望禁止             |
| 【理由】 他の抗うつ剤で作用の増強     |

## 医療用医薬品とOTC医薬品の相互作用に対応

医療用医薬品とOTC医薬品の組み合わせで相互作用のチェックを行うことが可能です。

なお、配合剤の場合でも個々の成分を対象にチェックを行います。

### 例

『エックスフォージ配合OD錠』の添付文書（抜粋）

| 10. 相互作用<br>10.2 併用注意（併用に注意すること）             |                        |                                                   |
|----------------------------------------------|------------------------|---------------------------------------------------|
| 薬剤名等                                         | 臨床症状・措置方法              | 機序・危険因子                                           |
| 非ステロイド性消炎鎮痛剤 (NSAIDs)<br>インドメタサン<br><b>等</b> | バルサルタンの降圧作用が減弱することがある。 | NSAIDsの腎プロスタグランジン合成阻害作用により、バルサルタンの降圧作用が減弱することがある。 |

OTC医薬品：『イブA錠』の有効成分

- 2錠中
- イブプロフェン** 150mg
- アリルイソプロピルアセチル尿素 60mg
- 無水カフェイン 80mg

相互作用のチェック結果例

|                                                  |
|--------------------------------------------------|
| 『エックスフォージ配合OD錠』                                  |
| 【項目】 相互作用（併用注意）の項                                |
| 【併用薬剤】 <b>非ステロイド性消炎鎮痛剤 &lt;NSAIDs&gt;</b> 『イブA錠』 |
| 【発現事象】 バルサルタンの降圧作用が減弱                            |
| 【指示】 注意                                          |
| 【理由】 NSAIDsの腎プロスタグランジン合成阻害作用                     |



OTC医薬品同士の相互作用に対応

OTC医薬品は、添付文書に記載されている相互作用の情報が不明瞭な場合が多いため、医療用医薬品の添付文書に記載されている相互作用情報をOTC医薬品に適用し、データを作成しています。

これにより、医療用医薬品と同じ有効成分を含有する要指導・第1類のOTC医薬品について、全てのOTC医薬品を対象とした組み合わせで相互作用のチェックを行うことが可能です。

例

OTC医薬品の『アネトンせき止め顆粒』と医療用医薬品の『テオドール顆粒20%』は、有効成分としていずれもテオフィリンを含有する製剤です。

『テオドール顆粒20%』の相互作用情報を『アネトンせき止め顆粒』に適用することで、『アネトンせき止め顆粒』とOTC医薬品の『ノーシンホワイト錠』の組み合わせにおいて、次のようなチェック結果を取得することが可能です。

OTC医薬品：『アネトンせき止め顆粒』の有効成分

成人1日量（4包）中<1包1.5g>  
 コデインリン酸塩水和物60mg  
 dl-メチルエフェドリン塩酸塩40mg  
**テオフィリン**160mg  
 グアヤコールスルホン酸カリウム270mg  
 クロルフェニラミンマレイン酸塩8mg

いずれもテオフィリンを含有

医療用医薬品：『テオドール顆粒20%』の有効成分

1g中  
**テオフィリン**200mg

医療用医薬品：『テオドール顆粒20%』の添付文書（抜粋）

| 3. 相互作用<br>併用注意(併用に注意すること)                                                                                |                                                                                                                     |                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 薬剤名等                                                                                                      | 臨床症状・措置方法                                                                                                           | 機序・危険因子                      |
| 他のキサンチン系薬剤<br>(アミノフィリン、<br>コリンテオフィリン、<br>ジプロフィリン、 <b>カ<br/>フェイン</b> 等)<br>中枢神経興奮薬<br>(エフェドリン塩酸<br>塩、マオウ等) | 過度の中中枢神経刺激<br>作用があらわれること<br>がある。(「過量投<br>与」の項参照)<br>副作用の発現に注意<br>し、異常が認められた<br>場合には減量又は投<br>与を中止するなど適<br>切な処置を行うこと。 | 併用により中枢神経<br>刺激作用が増強され<br>る。 |

OTC医薬品：  
『ノーシンホワイト錠』の有効成分

2錠中  
 アセトアミノフェン300mg  
 エテンザミド380mg  
**カフェイン水和物**60mg

相互作用のチェック結果例

『アネトンせき止め顆粒』  
 【項目】相互作用（併用注意）の項  
 【併用薬剤】**カフェイン**『ノーシンホワイト錠（**カフェイン水和物**）』  
 【発現事象】過度の中中枢神経刺激作用  
 【指示】注意  
 【理由】中枢神経刺激作用が増強

## データベースの機能

### 相互作用をチェック

医療用医薬品同士、医療用医薬品と飲食物、医療用医薬品とOTC医薬品、OTC医薬品同士のいずれの組み合わせでも、相互作用のチェックを行うことが可能です。

相互作用のチェックを行うことにより、処方内容の監査や患者さんへの服薬指導、又はセルフメディケーションのサポートにご利用いただけます。

### チェック結果の表示

「併用薬剤名」や「併用飲食物」、「発現事象」、「投与条件」、「理由」、「指示」などの添付文書の該当箇所を詳しく表示することが可能です。

### 相互作用の相手薬の検索

任意の薬品に対して、相互作用が発現する可能性のある薬品の有無や、商品名を検索することが可能です。

#### 例

『オノンカプセル112.5mg』の添付文書（抜粋）

| 2. 相互作用<br>併用注意（併用に注意すること）                     |                                     |                                                                                                |
|------------------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 薬剤名等                                           | 臨床症状・措置方法                           | 機序・危険因子                                                                                        |
| 主に CYP3A4<br>によって代謝さ<br>れる薬剤                   | 本剤及びこれらの薬<br>剤の血中濃度が上昇<br>する可能性がある。 | 本剤は <i>in vitro</i> 試<br>験で CYP3A4 によ<br>り代謝され、これら<br>の薬剤の代謝を競合<br>的に阻害するとの報<br>告がある。          |
| CYP3A4 を阻<br>害する薬剤<br>(イトラコナゾール、<br>エリスロマイシン等) | 本剤の血中濃度が上<br>昇する可能性がある。             | <i>in vitro</i> 、 <i>in vivo</i><br>試験でこれらの薬剤<br>により本剤の代謝が<br>阻害されるとの報告<br>がある。〔薬物動態〕<br>の項参照) |

#### CYP3A4によって代謝される薬剤

ルネスタ錠1mg  
ザイザル錠5mg  
ミカトリオ配合錠

など

#### CYP3A4を阻害する薬剤

エクリラ400μg ジェヌエア60吸入用  
デプロメル錠25  
タケキャブ錠10mg

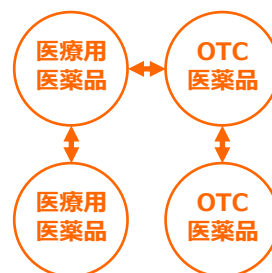
など

## データベースの概要

添付文書に記載された有効成分に関するデータベースです。

右図の組み合わせにおける成分の重複チェックなどが可能です。

本データベースは、医療用医薬品およびOTC医薬品の添付文書に記載されている全ての有効成分の情報を網羅しています。



## データベースの特徴

### 添付文書の表記が異なる同一成分の重複に対応

表記が異なる同一成分のチェックを行うことが可能です。

#### 例

有効成分の表記は異なりますが、成分の重複チェックがかかります。

医療用医薬品『チョコラA滴0.1万単位/滴』  
有効成分 **レチノールパルミチン酸エステル**

医療用医薬品『チガソンカプセル10』  
有効成分 **エトレチナート**

#### 成分の重複チェック結果例

—— 重複成分 ——

『チョコラA滴0.1万単位/滴』  
レチノールパルミチン酸エステル  
『チガソンカプセル10』  
エトレチナート

### 配合剤に対応

複数の成分を持つ配合剤の各成分についても、チェックを行うことが可能です。

#### 例

配合剤の各成分で、成分の重複チェックがかかります。

医療用医薬品『P L配合顆粒』  
有効成分 サリチルアミド  
**アセトアミノフェン**  
**無水カフェイン**  
プロメタジンメチレンジサリチル酸塩

医療用医薬品『S G配合顆粒』  
有効成分 イソプロピルアンチピリン  
**アセトアミノフェン**  
アリルイソプロピルアセチル尿素  
**無水カフェイン**

#### 成分の重複チェック結果例

—— 重複成分 ——

『P L配合顆粒』  
アセトアミノフェン  
無水カフェイン  
『S G配合顆粒』  
アセトアミノフェン  
無水カフェイン

## 体内で同一となる成分の重複に対応

効果増強や副作用軽減のために開発されたプロドラッグやラセミ体などと成分の重複チェックを行うことが可能です。

### 例

ラセミ体であるオメプラゾールとS体のみのエソメプラゾールで成分の重複チェックがかかります。

医療用医薬品『オメプラール錠20』

有効成分 **オメプラゾール**

医療用医薬品『ネキシウムカプセル10mg』

有効成分 **エソメプラゾールマグネシウム水和物**

成分の重複チェック結果例

—— 重複成分 ——

『オメプラール錠20』

オメプラゾール

『ネキシウムカプセル10mg』

エソメプラゾールマグネシウム水和物

## OTC医薬品に対応

医療用医薬品とOTC医薬品、OTC医薬品同士のいずれの組み合わせでも成分の重複チェックを行うことが可能です。

### 例

医療用医薬品とOTC医薬品で成分の重複チェックがかかります。

医療用医薬品『ロキソニン錠60mg』

有効成分 **ロキソプロフェンナトリウム水和物**

OTC医薬品『バファリンEX』

有効成分 **ロキソプロフェンナトリウム水和物**

乾燥水酸化アルミニウムゲル

成分の重複チェック結果例

—— 重複成分 ——

『ロキソニン錠60mg』

ロキソプロフェンナトリウム水和物

『バファリンEX』

ロキソプロフェンナトリウム水和物

OTC医薬品とOTC医薬品で成分の重複チェックがかかります。

OTC医薬品『レスタミンコーワ糖衣錠』

有効成分 **ジフェンヒドラミン塩酸塩**

OTC医薬品『ドリエル』

有効成分 **ジフェンヒドラミン塩酸塩**

成分の重複チェック結果例

—— 重複成分 ——

『レスタミンコーワ糖衣錠』

ジフェンヒドラミン塩酸塩

『ドリエル』

ジフェンヒドラミン塩酸塩

## データベースの機能

### 成分の重複をチェック

成分の重複チェックを行うことにより、処方内容の監査などにご利用いただくことが可能です。

### 成分名による薬品検索

任意の有効成分を含有する薬品の検索、および有効成分名を表示することが可能です。

#### 例

有効成分として「テルミサルタン」を含有する薬品を検索します。

「テルミサルタン」を含有する薬品の検索結果例

##### 医療用医薬品

『ミカルディス錠 20mg』有効成分：**テルミサルタン**

『ミカムロ配合錠 AP』有効成分：**テルミサルタン** / アムロジピンベシル酸塩

『ミカトリオ配合錠』有効成分：**テルミサルタン** / アムロジピンベシル酸塩 / ヒドロクロロチアジド

など

有効成分として「アセトアミノフェン」を含有する薬品を検索します。

「アセトアミノフェン」を含有する薬品の検索結果例

##### 医療用医薬品

『カロナール錠 500』有効成分：**アセトアミノフェン**

『トラムセット配合錠』有効成分：**アセトアミノフェン** / ترامドール塩酸塩

など

##### OTC医薬品

『新セデス錠』有効成分：**アセトアミノフェン** / エテンザミド / アリルイソプロピル尿素 / 無水カフェイン

『ノーシン錠』有効成分：**アセトアミノフェン** / カフェイン水和物 / エテンザミド

など



## データベースの概要

医療用医薬品の有効成分とその成分量に関するデータベースです。

配合剤であっても個々の有効成分の成分量を保持しており、薬品毎に告示単位当りの成分量を取得することが可能です。

## データベースの特徴

### 配合剤に対応

一般名から成分量を取得できない配合剤においても、各成分の告示単位当りの成分量を取得することが可能です。

#### 例

『エカード配合錠LD』の添付文書（抜粋）

##### 【組成・性状】

1錠中  
カンデサルタン シレキセチル 4mg  
ヒドロクロロチアジド 6.25mg

『エカード配合錠LD』のデータ（概略）

| 成分名            | 成分量    | 告示単位 |
|----------------|--------|------|
| カンデサルタン シレキセチル | 4mg    | 1錠   |
| ヒドロクロロチアジド     | 6.25mg | 1錠   |

### %の規格に対応

規格が「%」の場合は、mg、gなどに換算し、成分量を保持しています。

#### 例

| 商品名            | 一般名            | 規格    |
|----------------|----------------|-------|
| アレジオンドライシロップ1% | エピナスチン塩酸塩シロップ用 | 1% 1g |

『アレジオンドライシロップ1%』のデータ（概略）

| 成分名       | 成分量  | 告示単位 |
|-----------|------|------|
| エピナスチン塩酸塩 | 10mg | 1g   |

### 異なる一般名に対応

成分をグループ化しているため、一般名が異なる場合においても、成分量を合算することが可能です。

#### 例

| 商品名                | 一般名            | 規格       |
|--------------------|----------------|----------|
| バルトレックス錠500        | バラシクロビル塩酸塩錠    | 500mg 1錠 |
| バラシクロビル錠500mg「トーワ」 | バラシクロビル塩酸塩水和物錠 | 500mg 1錠 |

『バラシクロビル』製剤のデータ（概略）

| 商品名                | グループコード | 成分名           | 成分量   | 告示単位 |
|--------------------|---------|---------------|-------|------|
| バルトレックス錠500        | A01044  | バラシクロビル塩酸塩    | 500mg | 1錠   |
| バラシクロビル錠500mg「トーワ」 | A01044  | バラシクロビル塩酸塩水和物 | 500mg | 1錠   |

## データベースの機能

### 投与量の合算

配合剤、単味剤によらず有効成分毎の成分量の合算が可能のため、投与量の確認などにご利用いただけます。

### 代替薬検索

有効成分とその成分量の情報を保持しているため、先発品・後発品間の検索だけではなく、単味剤から配合剤、配合剤から単味剤への代替薬の検索をすることも可能です。

#### 例

『レザルタス配合錠LD』の代替薬検索結果例

| 商品名        | 成分名            | 成分量  | 告示単位 |
|------------|----------------|------|------|
| レザルタス配合錠LD | アゼルニジピン        | 8mg  | 1錠   |
|            | オルメサルタン メドキシミル | 10mg | 1錠   |



『レザルタス配合錠LD』の後発品なし



『アゼルニジピン8mg』のデータ（概略）

| 商品名             | 成分名     | 成分量 | 告示単位 |
|-----------------|---------|-----|------|
| カルブロック錠8mg      | アゼルニジピン | 8mg | 1錠   |
| アゼルニジピン錠8mg「JG」 | アゼルニジピン | 8mg | 1錠   |

『オルメサルタン メドキシミル10mg』のデータ（概略）

| 商品名              | 成分名            | 成分量  | 告示単位 |
|------------------|----------------|------|------|
| オルメテックOD錠10mg    | オルメサルタン メドキシミル | 10mg | 1錠   |
| オルメサルタン錠10mg「JG」 | オルメサルタン メドキシミル | 10mg | 1錠   |

### 薬品の使用量の統計

薬品の使用状況などの学術的な統計や商業的な統計などにご利用いただくことが可能です。



## データベースの概要

添付文書に記載された効能・効果や薬効薬理に基づき、同種同効薬として医療用医薬品を分類したデータベースです。

同種同効薬の重複チェックや同効薬・代替薬の検索が可能です。

## データベースの特徴

### 異なる薬効分類番号（日本標準商品分類）に対応

薬効分類番号が異なる薬品でも、効能・効果や薬効薬理に基づき、同一薬効として分類しています。

#### 例

薬効分類番号が異なる『アテレック錠20』と『アムロジンOD錠10mg』は、ともに「ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬（Ca拮抗薬）」です。

これらを同じ薬効に分類しているため、同効薬のチェックがかかります。

『アテレック錠20』  
有効成分：シルニジピン  
薬効分類：214 血圧降下剤

「ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬（Ca拮抗薬）」として同じ薬効に分類

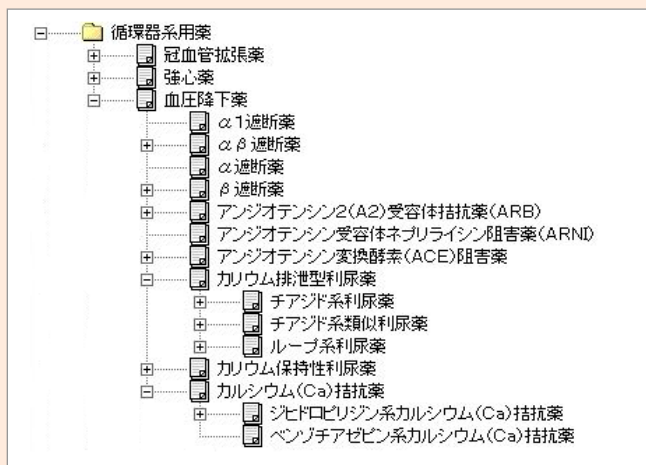
『アムロジンOD錠10mg』  
有効成分：アムロジピンベシル酸塩  
薬効分類：217 血管拡張剤

### 同効薬分類を階層構造で保持

同効薬分類を階層構造で保持しています。

#### 例

表示例



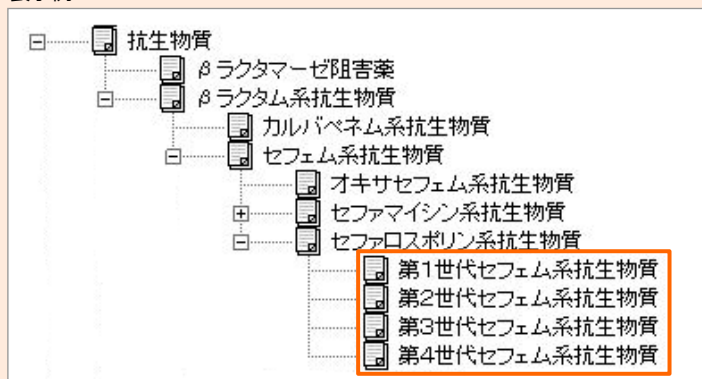
## データベースの機能

### 同効薬分類名からの同効薬検索

同効薬分類を階層構造で表示し、任意の分類名を選択することで、対象となる全ての薬品を検索することが可能です。

例

表示例



セフェム系抗生物質

- ケフレックスカプセル 250 mg
  - セファメジンα注射用 0.25 g
  - オラセフ錠 250 mg
  - パンスポリン静注用 1 g
  - バナン錠 100 mg
  - フロモックス錠 100 mg
  - ファーストシン静注用 0.5 g
  - 注射用マキシピーム 0.5 g
- など

第1世代セフェム系抗生物質

- ケフレックスカプセル 250 mg
  - セファメジンα注射用 0.25 g
- など

第2世代セフェム系抗生物質

- オラセフ錠 250 mg
  - パンスポリン静注用 1 g
- など

第3世代セフェム系抗生物質

- バナン錠 100 mg
  - フロモックス錠 100 mg
- など

第4世代セフェム系抗生物質

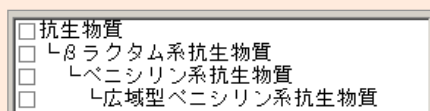
- ファーストシン静注用 0.5 g
  - 注射用マキシピーム 0.5 g
- など

### 薬品名からの同効薬検索

指定した薬品の同効薬分類を階層構造で表示し、任意の階層の分類名から代替薬を検索することが可能です。

例

『サワシリン錠 250』の表示例



「抗生物質」「βラクタム系抗生物質」「ペニシリン系抗生物質」「広域型ペニシリン系抗生物質」のうち、任意の階層の同効薬を取得することが可能です。

## 同効薬の重複チェック

同効薬分類が異なる場合でも、漏れなくチェックを行うことが可能です。

### 例

『プロテカジンOD錠5』のデータ（概略）

- 胃薬
- ↳ 攻撃因子抑制薬
- ↳ 胃酸分泌抑制薬
- ↳ H<sub>2</sub>受容体拮抗薬

『タケキャブ錠10mg』のデータ（概略）

- 胃薬
- ↳ 攻撃因子抑制薬
- ↳ 胃酸分泌抑制薬
- ↳ プロトンポンプ阻害薬（PPI）
- ↳ カリウムイオン競合型アシッドブロッカー

「H<sub>2</sub>受容体拮抗薬」と「プロトンポンプ阻害薬（PPI）」は同効薬です。

## 同効薬分類名の表示

体系立てて階層化された同効薬分類名から、任意の分類名を選択して表示することが可能です。

分類名の表示については、代表的な分類名のみを保持した標榜薬効データベースでも対応可能です。

※分類名は添付文書の記載と一致するとは限りません。

### 例

『オブジーボ点滴静注20mg』の添付文書（抜粋）

抗悪性腫瘍剤  
ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体

生物由来製品、薬業、処方医薬品<sup>1)</sup>

**オブジーボ** 点滴静注 20mg  
**オブジーボ** 点滴静注 100mg

〈OPDIVO®〉

ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤

『オブジーボ点滴静注20mg』のデータ（概略）

- 抗悪性腫瘍薬
- ↳ 分子標的治療薬
- ↳ ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体

『シングレア錠10mg』の添付文書（抜粋）

ロイコトリエン受容体拮抗薬

◎気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療薬◎

日本薬局方 モンテルカストナトリウム錠

**シングレア**® 錠 5mg  
**シングレア**® 錠 10mg

SINGLAIR® Tablets 5mg, 10mg

**シングレア**® OD 錠 10mg

SINGLAIR® OD Tablets 10mg  
モンテルカストナトリウム口腔内崩壊錠

『シングレア錠10mg』のデータ（概略）

- アレルギー用薬
- ↳ ロイコトリエン拮抗薬
- ↳ ロイコトリエン（D4/E4）拮抗薬
- ↳ 抗ヒスタミン作用（-）

『チエナム点滴静注用0.5g』の添付文書（抜粋）

カルバペネム系抗生物質製剤

日本薬局方 注射用イミペネム・シラスタチンナトリウム

**チエナム**® 点滴静注用0.25g  
**チエナム**® 点滴静注用0.5g  
**チエナム**® 点滴静注用キット0.5g

TIENAM® for Intravenous Drip Infusion 0.25g, 0.5g, Kit 0.5g

『チエナム点滴静注用0.5g』のデータ（概略）

- 抗生物質
- ↳ βラクタム系抗生物質
- ↳ カルバペネム系抗生物質



## データベースの概要

世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の「禁止表国際基準」に掲載されているドーピング禁止物質を含有する薬品に関するデータベースです。

ドーピング禁止物質を含有する薬品の判別にご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品およびOTC医薬品の添付文書に記載されている全ての有効成分を網羅しており、「禁止表国際基準」の年1回の更新にも対応しています。

## データベースの特徴

### 禁止表国際基準（Prohibited List International Standard）に対応

WADAの「禁止表国際基準」に掲載されている禁止物質に該当する薬品を医療用医薬品（個別医薬品コード）又はOTC医薬品（独自コード）で管理しています。

禁止表国際基準に掲載されているセクションや条件などの情報を取得することが可能です。

※データベースに登録されていない薬品は、禁止物質に該当するかどうか「不明」です。

使用の適否の判断は行っておりませんので、ご注意ください。

#### 例

##### ■ 医療用医薬品

WADAの禁止表国際基準（抜粋）

##### S6. STIMULANTS

All stimulants, including all optical isomers, e.g. d- and l- where relevant, are prohibited.

<中略>

##### B: SPECIFIED STIMULANTS

Including, but not limited to:

<中略>

- **Methylephedrine**\*\*\*

\*\*\* Ephedrine and methylephedrine: Prohibited when the concentration of either in urine is greater than 10 micrograms per millilitre.

『フスコデ配合シロップ（d l-メチルエフェドリン塩酸塩を含む）』のデータ（概略）

|         |                                                                                                                                                                                                    |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 該当する成分名 | d l-メチルエフェドリン塩酸塩                                                                                                                                                                                   |
| 競技会区分   | IN-COMPETITION（競技会において禁止）                                                                                                                                                                          |
| セクション   | S6. STIMULANTS（興奮剤）；B. SPECIFIED STIMULANTS（特定興奮剤）                                                                                                                                                 |
| 禁止物質名   | <b>Methylephedrine</b> （メチルエフェドリン）                                                                                                                                                                 |
| 条件      | Ephedrine and methylephedrine: Prohibited when the concentration of either in urine is greater than 10 micrograms per millilitre.（エフェドリン及びメチルエフェドリンは、それぞれの尿中の濃度が1ミリリットルにつき10マイクログラムを超える場合には、禁止する。） |

#### <参考>

##### 世界アンチ・ドーピング機構（World Anti-Doping Agency: WADA）

各スポーツ団体、各国政府、公的機関などと連携してドーピング防止活動を行う国際的機関。

##### 禁止表国際基準（Prohibited List International Standard）

WADAが策定する、ドーピングの禁止物質及び禁止方法を定めた一覧表。

毎年10月1日に翌年版の禁止表が公示され、翌年1月1日から12月31日まで適用される。

## 例

## ■ OTC医薬品

WADAの禁止表国際基準（抜粋）

**S6. STIMULANTS**

All stimulants, including all optical isomers, e.g. d- and l- where relevant, are prohibited.

&lt;中略&gt;

**B: SPECIFIED STIMULANTS**

Including, but not limited to:

&lt;中略&gt;

● **Methylephedrine\*\*\***

\*\*\* Ephedrine and methylephedrine: Prohibited when the concentration of either in urine is greater than 10 micrograms per millilitre.

『エスタックイブ（d l-メチルエフェドリン塩酸塩を含む）』のデータ（概略）

|         |                                                                                                                                                                                                    |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 該当する成分名 | d l-メチルエフェドリン塩酸塩                                                                                                                                                                                   |
| 競技会区分   | IN-COMPETITION（競技会において禁止）                                                                                                                                                                          |
| セクション   | S6. STIMULANTS（興奮剤）； B. SPECIFIED STIMULANTS（特定興奮剤）                                                                                                                                                |
| 禁止物質名   | <b>Methylephedrine</b> （メチルエフェドリン）                                                                                                                                                                 |
| 条件      | Ephedrine and methylephedrine: Prohibited when the concentration of either in urine is greater than 10 micrograms per millilitre.（エフェドリン及びメチルエフェドリンは、それぞれの尿中の濃度が1ミリリットルにつき10マイクログラムを超える場合には、禁止する。） |

## I 代表例のみの掲載に対応

代表例のみが掲載されている禁止物質については、掲載されている物質名に限らず、対象となる薬品を全て関連付けています。

## 例

## ■ 医療用医薬品

『イルトラ配合錠LD』の有効成分であるトリクロルメチアジドは、禁止表国際基準に物質名が掲載されていませんが、「チアジド類」に該当する薬品として関連付けています。

WADAの禁止表国際基準（抜粋）

**S5. DIURETICS AND MASKING AGENTS**

The following diuretics and masking agents are prohibited, as are other substances with a similar chemical structure or similar biological effect(s).

Including, but not limited to:

&lt;中略&gt;

• Acetazolamide; amiloride; bumetanide; canrenone; chlortalidone; etacrynic acid; furosemide; indapamide; metolazone; spironolactone; **thiazides**, e.g. bendroflumethiazide, chlorothiazide and hydrochlorothiazide; triamterene and vaptans, e.g. tolvaptan.

『イルトラ配合錠LD（一般名：イルベサルタン・トリクロルメチアジド配合剤錠）』のデータ（概略）

|         |                                                                 |
|---------|-----------------------------------------------------------------|
| 該当する成分名 | トリクロルメチアジド                                                      |
| 競技会区分   | AT ALL TIMES (IN- AND OUT-OF-COMPETITION)（常に禁止（競技会検査及び競技会外検査））  |
| セクション   | S5. DIURETICS AND MASKING AGENTS（利尿剤及び隠蔽剤）；<br>Thiazides（チアジド類） |
| 禁止物質名   | -                                                               |
| 条件      | -                                                               |

## 例

## ■ OTC医薬品

『アスクロン』の有効成分であるメトキシフェナミン塩酸塩は、禁止表国際基準に物質名が掲載されていませんが、「特定興奮剤」に該当する薬品として関連付けています。

WADAの禁止表国際基準（抜粋）

## S6. STIMULANTS

All stimulants, including all optical isomers, e.g. d- and l- where relevant, are prohibited.

<中略>

## B: SPECIFIED STIMULANTS

『アスクロン（メトキシフェナミン塩酸塩を含む）』のデータ（概略）

|         |                                                    |
|---------|----------------------------------------------------|
| 該当する成分名 | メトキシフェナミン塩酸塩                                       |
| 競技会区分   | IN-COMPETITION（競技会において禁止）                          |
| セクション   | S6. STIMULANTS（興奮剤）；B. SPECIFIED STIMULANTS（特定興奮剤） |
| 禁止物質名   | -                                                  |
| 条件      | -                                                  |

## データベースの機能

## | ドーピング禁止物質を含有する薬品のチェックおよび検索

ドーピング禁止物質を含有する薬品について、チェックや検索にご利用いただくことが可能です。

## 例

## ■ 医療用医薬品

商品名『ホクナリンテープ 2mg』がドーピング禁止物質を含む薬品に該当するかのチェック  
チェック結果例

—— 禁止物質あり ——

競技会区分：常に禁止（競技会検査及び競技会外検査）  
セクション：S3. ベータ-2作用剤  
条 件：-

## 例

## ■ OTC医薬品

商品名『ソルマックEX2』がドーピング禁止物質を含む薬品に該当するかのチェック  
チェック結果例

—— 禁止物質あり ——

競技会区分：常に禁止（競技会検査及び競技会外検査）  
セクション：S3. ベータ-2作用剤  
条 件：-





## データベースの概要

医療用医薬品に対して世界保健機関（WHO）の解剖治療化学分類（ATC）を割り当てたデータベースです。各種統計などにおける国際分類としてご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収録の全ての薬品を網羅しており、ATC分類の年1回の改定にも対応しています。

## データベースの特徴

### WHOのATC分類データを保持

医療用医薬品に対し、薬効、作用部位、成分が一致するATC分類を関連付けています。

一致するATC分類が存在しない場合は、薬効、作用部位などと国内における用い方（適応症など）の一致を優先させてデータを作成しています。

<参考>

#### 世界保健機関（World Health Organization: WHO）

人間の健康達成を目的として設立された国際連合機関。

#### 解剖治療化学分類（Anatomical Therapeutic Chemical Classification: ATC）

WHOが統括管理する国際的な統計を取るために考案された薬品の分類。

薬効、作用部位・化学的な特徴によって5段階までのレベルで分類される。

### 例

『ムコスタ錠100mg』のデータ（概略）

| 個別医薬品コード     | 商品名        | 一般名    | ATC     | ATC分類名     |
|--------------|------------|--------|---------|------------|
| 2329021F1102 | ムコスタ錠100mg | レバミピド錠 | A02BX14 | Rebamipide |

薬効、作用部位、成分が一致するATC分類が存在するため、レベル5の「A02BX14（Rebamipide）」に分類しています。

（上記各レベルの分類名）

| レベル | ATC     | ATC分類名                                                                    | ATC分類名（日本語）                |
|-----|---------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 1   | A       | ALIMENTARY TRACT AND METABOLISM                                           | 消化管および代謝用薬                 |
| 2   | A02     | DRUGS FOR ACID RELATED DISORDERS                                          | 胃酸関連障害用薬                   |
| 3   | A02B    | DRUGS FOR PEPTIC ULCER AND GASTRO-OESOPHAGEAL REFLUX DISEASE (GORD)       | 消化性潰瘍および胃食道逆流性疾患（GORD）用薬   |
| 4   | A02BX   | Other drugs for peptic ulcer and gastro-oesophageal reflux disease (GORD) | 他の消化性潰瘍および胃食道逆流性疾患（GORD）用薬 |
| 5   | A02BX14 | Rebamipide                                                                | レバミピド                      |

『ガスロンN錠2mg』のデータ（概略）

| 個別医薬品コード     | 商品名       | 一般名                | ATC   | ATC分類名                                                                    |
|--------------|-----------|--------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------|
| 2329020F1027 | ガスロンN錠2mg | イルソグラジン<br>マレイン酸塩錠 | A02BX | Other drugs for peptic ulcer and gastro-oesophageal reflux disease (GORD) |

薬効、作用部位、成分が一致するATC分類が存在しないため、薬効、作用部位などが一致するレベル4の「A02BX（Other drugs for peptic ulcer and gastro-oesophageal reflux disease (GORD))」に分類しています。

（上記各レベルの分類名）

| レベル | ATC   | ATC分類名                                                                    | ATC分類名（日本語）                |
|-----|-------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 1   | A     | ALIMENTARY TRACT AND METABOLISM                                           | 消化管および代謝用薬                 |
| 2   | A02   | DRUGS FOR ACID RELATED DISORDERS                                          | 胃酸関連障害用薬                   |
| 3   | A02B  | DRUGS FOR PEPTIC ULCER AND GASTRO-OESOPHAGEAL REFLUX DISEASE (GORD)       | 消化性潰瘍および胃食道逆流性疾患（GORD）用薬   |
| 4   | A02BX | Other drugs for peptic ulcer and gastro-oesophageal reflux disease (GORD) | 他の消化性潰瘍および胃食道逆流性疾患（GORD）用薬 |

## 『ムコスタ点眼液UD2%』のデータ（概略）

| 個別医薬品コード     | 商品名         | 一般名    | ATC   | ATC分類名                  |
|--------------|-------------|--------|-------|-------------------------|
| 1319760Q1029 | ムコスタ点眼液UD2% | レバミピド液 | S01XA | Other ophthalmologicals |

薬効、作用部位、成分が一致するATC分類が存在しないため、薬効、作用部位などが一致するレベル4の「S01XA (Other ophthalmologicals)」に分類しています。消化器に用いる薬品ではないため、成分が一致する「A02BX14 (Rebamipide)」には分類しません。

(上記各レベルの分類名)

| レベル | ATC   | ATC分類名                  | ATC分類名 (日本語) |
|-----|-------|-------------------------|--------------|
| 1   | S     | SENSORY ORGANS          | 感覚器官用薬       |
| 2   | S01   | OPHTHALMOLOGICALS       | 眼科用薬         |
| 3   | S01X  | OTHER OPHTHALMOLOGICALS | 他の眼科用薬       |
| 4   | S01XA | Other ophthalmologicals | 他の眼科用薬       |

### 日本語訳の付与

全てのATC分類名に日本語訳を付与しています。

## データベースの機能

### 各種統計などにおける薬品分類データとしての利用

薬品の使用状況や副作用などの学術的な統計や商業的な統計などにおいて、国際分類としてご利用いただくことが可能です。



## データベースの概要

医療用医薬品の商品名および一般名の英名データベースです。

英名による薬品検索や表示にご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収録の全ての薬品を網羅しています。

## データベースの特徴

商品名および一般名の英名を取得することが可能です。

### 例

『ガスマチン錠5mg』

|                    |
|--------------------|
| 商品名：ガスマチン錠5mg      |
| 一般名：モサプリドクエン酸塩水和物錠 |



『ガスマチン錠5mg』のデータ（概略）

|     |                           |
|-----|---------------------------|
| 商品名 | Gasmotin                  |
| 一般名 | Mosapride citrate hydrate |

## データベースの機能

### 英名による検索

商品名や一般名の英名による薬品検索が可能です。

### 英名の表示

薬剤情報提供書などによる患者さんへの情報提供や、医療機関での医薬品集作成などにご利用いただくことが可能です。



## データベースの概要

医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての配合変化の情報に関するデータベースです。

配合変化のチェック結果として、添付文書の該当箇所の「配合薬剤名」、「発現事象（配合変化）」、「理由」などを表示することが可能です。

内服薬、外用薬、注射薬を問いません。

## データベースの特徴

### 6段階のレベル分け

添付文書の配合変化の情報を以下の6段階のレベルに区分しているため、選択したレベルの範囲でチェックを行うことが可能です。

| レベル  | 添付文書の記載表現                  |
|------|----------------------------|
| 禁止   | 禁忌、禁止、配合しない、配合を避ける など      |
| 原則禁止 | 原則禁忌、原則として禁止、原則として配合しない など |
| 相対禁止 | 有益性が危険性を上回る場合にのみ配合 など      |
| 希望禁止 | 配合しないことが望ましい など            |
| 慎重投与 | 慎重投与、慎重に配合する など            |
| 注意   | 配合注意、注意、留意 など              |

高  
低

### 内服薬、外用薬、注射薬に対応

内服薬、外用薬、注射薬など全ての剤形について、配合変化のチェックを行う事が可能です。

#### 例

『イニシク配合錠』の添付文書の【適用上の注意】の項目に一包化を避ける薬品として「オルメサルタンメドキシミル製剤」の記載があるため、両薬品の配合は「禁止」となります。

『イニシク配合錠』の添付文書（抜粋）

#### 14. 適用上の注意

##### 14.1 薬剤調製時の注意

本剤と オルメサルタンメドキシミル製剤 等との 一包化は避ける こと。一包化して高温高湿度条件下にて保存した場合、本剤が変色することがある。

#### 配合変化のチェック結果例

『イニシク配合錠』

【併用薬剤】オルメサルタンメドキシミル製剤『オルメテックOD錠5mg』

【発現事象】本剤が変色

【指 示】**禁止**

## 例

『オゼックス点眼液 0.3%』の添付文書の【適用上の注意】の項目に配合変化を起こす薬品として「キサラタン点眼液 0.005%」の記載があるため、両薬品の配合は「原則禁止」となります。

『オゼックス点眼液 0.3%』の添付文書（抜粋）

## 14. 適用上の注意

## 14.1 薬剤投与時の注意

原則として配合変化が認められる点眼液との併用は避けること。

主な点眼液との配合変化(本剤1mLと配合薬剤1mLをガラス管に入れ、ミキサーで10秒間混合し、外観変化を観察)は下表のとおりであった<sup>1-3)</sup>。

|          |                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 配合変化あり*1 | リンデロン点眼・点耳・点鼻液0.1%、ニフラン点眼液0.1%、ジクロード点眼液0.1%、プロナック点眼液0.1%、点眼・点鼻用リンデロンA液、リザベン点眼液0.5%、インタール点眼液2%、タチオン点眼液2%、ミドリンM点眼液0.4%、キサラタン点眼液0.005%、チモプトール点眼液0.25%、チモプトールXE点眼液0.5%、トルソプト点眼液1%、ミケラン点眼液2%、リスモンTG点眼液0.5%、フラビタン点眼液0.05%、レスキュラ点眼液0.12%*2 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 配合変化のチェック結果例

『オゼックス点眼液 0.3%』

【併用薬剤】キサラタン点眼液 0.005% 『キサラタン点眼液 0.005%』

【発現事象】混合直後または室温で1時間放置後に外観変化<白濁>

【指 示】**原則禁止**

【理 由】白濁は、本剤の溶解機構であるトスフロキサシンとアルミニウムイオンのキレート平衡が、他の点眼液中のエデト酸、クエン酸、リン酸などにより影響を受け、有効成分が析出

## 例

『ゾシン配合点滴静注用バッグ 4.5』の添付文書に「ジェムザール注射用 1g と配合しない」旨の記載があるため、『ジェムザール注射用 1g』との配合は「禁止」となります。

『ゾシン配合点滴静注用バッグ 4.5』の添付文書（抜粋）

## 10. 適用上の注意

## (2) 調製時：

1) 配合変化<sup>10)</sup>

① 下記薬剤と配合すると、不溶物が析出することがあるので、配合しないこと。

ジェムザール注射用1g、サンラビン点滴静注用250mg、フェジン静注40mg

## 配合変化のチェック結果例

『ゾシン配合点滴静注用バッグ 4.5』

【併用薬剤】ジェムザール注射用 1g 『ジェムザール注射用 1g』

【発現事象】不溶物が析出

【指 示】**禁止**

## 添付文書の矛盾した記載に対応

生理食塩液や注射用水などに溶解して用いる薬品において、添付文書の配合変化の相手薬が「他剤」と記載されている場合でも、指定の溶解液はチェックの対象外としています。

### 例

『ヨンデリス点滴静注用1mg』の添付文書の【適用上の注意】の項目には「他の薬剤との配合は避ける」旨の記載がある一方、「調製にあたっては生理食塩液を使用する」旨の記載があります。このような場合「生理食塩液を除く他剤」がチェックの対象となり、生理食塩液である『生理食塩液「フソー」』はチェックの対象外となります。

『ヨンデリス点滴静注用1mg』の添付文書（抜粋）

14. 適用上の注意  
 14.1 薬剤調製時の注意  
 14.1.1 本剤の調製にあたっては、溶解時及び希釈時は生理食塩液を使用すること。また、本剤は他の薬剤とは混注しないこと。  
 14.3 薬剤投与時の注意  
 14.3.3 他の薬剤等との配合又は同じ静注ラインでの同時注入は避けること。

『生理食塩液「フソー」』の組成

生理食塩液「フソー」は  
 1アンプル（管）中  
 塩化ナトリウム0.9w/v%を含む無色  
 澄明の水性注射液である。

配合変化のチェック結果例

エラー表示なし

## データベースの機能

### 配合変化をチェック

医療用医薬品同士について、添付文書の情報を根拠とした配合変化のチェックを行うことが可能なため、調剤および調製の際の参考情報としてご利用いただけます。

チェック結果として、「配合薬剤名」、「発現事象（配合変化）」、「理由」、「指示」などの添付文書の該当箇所を表示することが可能です。







## データベースの概要

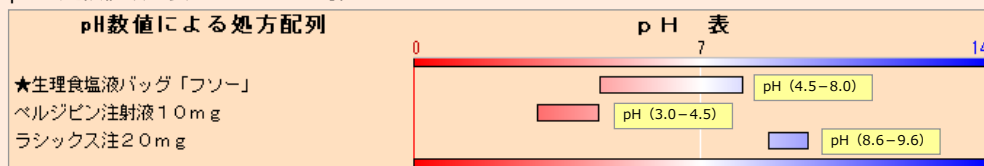
pHデータベースは、注射薬の添付文書に記載されているpHの情報に関するデータベースです。  
溶解液データベースは、主に溶解液として使用される薬品のデータベースです。  
注射薬を調製（混合・溶解・希釈）する際の参考情報としてご利用いただくことが可能です。

## データベースの特徴

pHデータベースは、pH下限・上限の数値を保持しています。  
溶解液データベースは、規格が20mLを超える注射薬についてフラグで判別することが可能です。

### 例

pHの近似値順に表示することが可能です。



★：溶解液フラグ

## データベースの機能

### 注射薬の調製業務を支援

注射薬を調製（混合・溶解・希釈）する際に、配合変化を防止するための参考情報、また、溶解・希釈液の判別情報としてご利用いただくことが可能です。



## データベースの概要

医療用医薬品の添付文書に記載されている用法・用量に関するデータベースです。

処方薬の適正な投与量（上限・下限）や投与日数（上限・下限）などのチェック、および患者さんへの服薬指導にご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている用法・用量の情報を網羅しています。

## データベースの特徴

年齢や体重、体表面積、適応病名、投与経路、療法毎にデータを作成しているため、条件に応じた適正なチェックを行うことが可能です。また、腎機能低下時の注意データベースとあわせてご利用いただくことで、腎機能の低下状態に応じた投与量のチェックを行うことも可能です。

### 小児や高齢者の用量に対応

添付文書に記載されている小児や高齢者などの年齢別の用量について、それぞれデータを作成しているため、年齢に応じた適正なチェックを行うことが可能です。

#### 例

年齢の登録に基づき、該当の年齢に応じた「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『ザイザルシロップ0.05%』の添付文書（抜粋）

〔小児〕

通常、**6か月以上1歳未満**の小児には**1回2.5mL（レボセチリジン塩酸塩として1.25mg）**を**1日1回**経口投与する。

通常、**1歳以上7歳未満**の小児には**1回2.5mL（レボセチリジン塩酸塩として1.25mg）**を**1日2回**、朝食後及び就寝前に経口投与する。

通常、**7歳以上15歳未満**の小児には**1回5mL（レボセチリジン塩酸塩として2.5mg）**を**1日2回**、朝食後及び就寝前に経口投与する。

『ザイザルシロップ0.05%』のデータ（概略）

| 年齢区分     | 投与量区分 | 用量（成分量） | 用量（製剤量） | 1日の投与回数 |
|----------|-------|---------|---------|---------|
| 6か月～1歳未満 | 1回当り  | 1.25mg  | 2.5mL   | 1回      |
|          | 1日当り  | 1.25mg  | 2.5mL   | 1回      |
| 1歳～7歳未満  | 1回当り  | 1.25mg  | 2.5mL   | 2回      |
|          | 1日当り  | 2.5mg   | 5mL     | 2回      |
| 7歳～15歳未満 | 1回当り  | 2.5mg   | 5mL     | 2回      |
|          | 1日当り  | 5mg     | 10mL    | 2回      |

## I 体重当りや体重別の用量に対応

「体重当りの用量」や「体重別に異なる用量」についてもデータを作成しているため、体重に応じた適正なチェックを行うことが可能です。

### 例

体重の登録に基づく適正な用量の算出により、「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『フロモックス小児用細粒 100mg』の添付文書（抜粋）

通常、**小児**にはセフカペン ピボキシル塩酸塩水和物として**1回3mg（力価）/kg**を**1日3回**食後経口投与する。

なお、年齢、体重及び症状に応じて適宜増減する。

『フロモックス小児用細粒 100mg』のデータ（概略）

| 年齢区分             | 投与量区分 | 用量（成分量） | 用量（製剤量）  | 1日の投与回数 |
|------------------|-------|---------|----------|---------|
| 小児<br>(7歳～15歳未満) | 1回当り  | 3mg/kg  | 0.03g/kg | 3回      |
|                  | 1日当り  | 9mg/kg  | 0.09g/kg | 3回      |

### 例

体重の登録に基づき、該当する体重別の用量における「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『ディオバン錠 40mg』の添付文書（抜粋）

通常、6歳以上の**小児**には、バルサルタンとして、**体重35kg未満**の場合、**20mg**を、**体重35kg以上**の場合、**40mg**を**1日1回**経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

ただし、1日最高用量は、体重35kg未満の場合、40mgとする。

『ディオバン錠 40mg』のデータ（概略）

| 年齢区分                  | 体重     | 投与量区分 | 用量（成分量） | 用量（製剤量） | 1日の投与回数 |
|-----------------------|--------|-------|---------|---------|---------|
| 6歳以上の小児<br>(6歳～15歳未満) | 35kg未満 | 1回当り  | 20mg    | 0.5錠    | 1回      |
|                       |        | 1日当り  | 20mg    | 0.5錠    | 1回      |
|                       | 35kg以上 | 1回当り  | 40mg    | 1錠      | 1回      |
|                       |        | 1日当り  | 40mg    | 1錠      | 1回      |

## ■ 体表面積当りや体表面積別の用量に対応

「体表面積当りの用量」や「体表面積別に異なる用量」についてもデータを作成しているため、体表面積に応じた適正なチェックを行うことが可能です。

### 例

体表面積の登録に基づく適正な用量の算出により、「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『カルセド注射用20mg（20mg 1瓶）』の添付文書（抜粋）

通常、**成人**にはアムルピシン塩酸塩として**45mg（力価）/m<sup>2</sup>（体表面積）**を約20mLの日局生理食塩液あるいは5%ブドウ糖注射液に溶解し、**1日1回**3日間連日静脈内に投与し、**3～4週間休薬**する。これを1クールとし、投与を繰り返す。

『カルセド注射用20mg（20mg 1瓶）』のデータ（概略）

| 年齢区分              | 投与量区分 | 用量（成分量）             | 用量（製剤量）              | 1日の投与回数 |
|-------------------|-------|---------------------|----------------------|---------|
| 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 45mg/m <sup>2</sup> | 2.25瓶/m <sup>2</sup> | 1回      |
|                   | 1日当り  | 45mg/m <sup>2</sup> | 2.25瓶/m <sup>2</sup> | 1回      |

### 例

体表面積の登録に基づき、該当する体表面積別の用量における「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『ティーエスワン配合OD錠T20』の添付文書（抜粋）

通常、**成人**には初回投与量（1回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の**1日2回**、28日間連日経口投与し、その後14日間休薬する。これを1クールとして投与を繰り返す。

| 体表面積                                          | 初回基準量（テガフル相当量） |
|-----------------------------------------------|----------------|
| <b>1.25m<sup>2</sup>未満</b>                    | <b>40mg/回</b>  |
| <b>1.25m<sup>2</sup>以上～1.5m<sup>2</sup>未満</b> | <b>50mg/回</b>  |
| <b>1.5m<sup>2</sup>以上</b>                     | <b>60mg/回</b>  |

『ティーエスワン配合OD錠T20』のデータ（概略）

| 年齢区分              | 体表面積                   | 投与量区分 | 用量（成分量） | 用量（製剤量） | 1日の投与回数 |
|-------------------|------------------------|-------|---------|---------|---------|
| 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1.25m <sup>2</sup> 未満  | 1回当り  | 40mg    | 2錠      | 2回      |
|                   |                        | 1日当り  | 80mg    | 4錠      | 2回      |
|                   | 1.25～1.5m <sup>2</sup> | 1回当り  | 50mg    | 2.5錠    | 2回      |
|                   |                        | 1日当り  | 100mg   | 5錠      | 2回      |
|                   | 1.5m <sup>2</sup> 以上   | 1回当り  | 60mg    | 3錠      | 2回      |
|                   |                        | 1日当り  | 120mg   | 6錠      | 2回      |

## I 適応病名毎の用法・用量に対応

疾患毎にデータを作成しているため、疾患に応じた適正なチェックを行うことが可能です。

なお、疾患などの投与条件を考慮しない用法・用量データも別途保持しています。

### 例

該当の適応病名を選択することで、「疾患別」の「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『ネキシウムカプセル10mg』の添付文書（抜粋）

#### ○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群

通常、**成人**にはエソメプラゾールとして**1回20mg**を**1日1回**経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では**8週間まで**、十二指腸潰瘍では**6週間まで**の投与とする。

#### ○逆流性食道炎

通常、**成人**にはエソメプラゾールとして**1回20mg**を**1日1回**経口投与する。なお、通常、**8週間まで**の投与とする。

さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、**1回10～20mg**を**1日1回**経口投与する。

#### ○非びらん性胃食道逆流症

通常、**成人**にはエソメプラゾールとして**1回10mg**を**1日1回**経口投与する。なお、通常、**4週間まで**の投与とする。

『ネキシウムカプセル10mg』のデータ（概略）

| 疾患                   | 年齢区分              | 投与量区分 | 用量(成分量) | 用量(製剤量) | 1日の投与回数 | 投与日数(上限) |
|----------------------|-------------------|-------|---------|---------|---------|----------|
| 胃潰瘍、吻合部潰瘍            | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 20mg    | 2カプセル   | 1回      | 56日      |
|                      |                   | 1日当り  | 20mg    | 2カプセル   | 1回      | 56日      |
| 十二指腸潰瘍               | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 20mg    | 2カプセル   | 1回      | 42日      |
|                      |                   | 1日当り  | 20mg    | 2カプセル   | 1回      | 42日      |
| Zollinger-Ellison症候群 | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 20mg    | 2カプセル   | 1回      |          |
|                      |                   | 1日当り  | 20mg    | 2カプセル   | 1回      |          |
| 逆流性食道炎               | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 10～20mg | 1～2カプセル | 1回      | 56日      |
|                      |                   | 1日当り  | 10～20mg | 1～2カプセル | 1回      | 56日      |
| 非糜爛性胃食道逆流症           | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 10mg    | 1カプセル   | 1回      | 28日      |
|                      |                   | 1日当り  | 10mg    | 1カプセル   | 1回      | 28日      |

## 投与経路毎の用法・用量に対応

投与経路毎にデータを作成しているため、投与経路によって用法・用量が異なる場合も適正なチェックを行うことが可能です。

### 例

該当の投与経路を選択することで、「投与経路別」の「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『リンコシン注射液 300mg (300mg 1mL 1瓶)』の添付文書 (抜粋)

#### 【静脈内注射】

リンコマイシン塩酸塩水和物として、通常成人は、**1回600mg (力価)**を**1日2～3回点滴静注**する。

#### 【筋肉内注射】

リンコマイシン塩酸塩水和物として、通常成人は、**1回300mg (力価)**を**1日2～3回**、又は**1回600mg (力価)**を**1日2回筋肉内注射**する。

『リンコシン注射液 300mg (300mg 1mL 1瓶)』のデータ (概略)

| 投与経路 | 年齢区分              | 投与量区分 | 用量 (成分量)    | 用量 (製剤量) | 1日の投与回数 |
|------|-------------------|-------|-------------|----------|---------|
| 点滴静注 | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 600mg       | 2瓶       | 2～3回    |
|      |                   | 1日当り  | 1200～1800mg | 4～6瓶     | 2～3回    |
| 筋注   | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 300mg       | 1瓶       | 2～3回    |
|      |                   | 1日当り  | 600～900mg   | 2～3瓶     | 2～3回    |
| 筋注   | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 600mg       | 2瓶       | 2回      |
|      |                   | 1日当り  | 1200mg      | 4瓶       | 2回      |

## 療法毎の用法・用量に対応

療法毎にデータを作成しているため、療法によって用法・用量が異なる場合も適正なチェックを行うことが可能です。

### 例

該当の療法名を選択することで、「療法別」の「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『シンビット静注用 50mg (50mg 1瓶)』の添付文書 (抜粋)

#### 単回静注法

通常、成人にはニフェカラント塩酸塩として**1回0.3mg/kg**を5分間かけて心電図の連続監視下に静脈内に投与する。

#### 維持静注法

単回静注が有効で効果の維持を期待する場合には、通常、成人にはニフェカラント塩酸塩として**1時間あたり0.4mg/kg**を等速度で心電図の連続監視下に静脈内に投与する。

『シンビット静注用 50mg (50mg 1瓶)』のデータ (概略)

| 療法名  | 年齢区分              | 投与量区分 | 用量 (成分量) | 用量 (製剤量)  | 1日の投与回数 |
|------|-------------------|-------|----------|-----------|---------|
| 単回療法 | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1回当り  | 0.3mg/kg | 0.006瓶/kg | —       |
| 維持療法 | 成人<br>(15歳～65歳未満) | 1日当り  | 9.6mg/kg | 0.192瓶/kg | 1回      |

維持療法における連続投与については、「1時間当り0.4mg/kg」を24時間当りに換算したデータを作成しています。

## I 複数の投与量の記載に対応

用量が「体重当り」「年齢別」など複数のパターンがある薬品の場合、それぞれデータを作成しているため、処方に応じた適正なチェックを行うことが可能です。

### 例

『ホクナリンドライシロップ0.1%小児用』の添付文書には、「体重当り」と「年齢別」の記載があります。このような場合、「体重当り」と「年齢別」の双方について、「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『ホクナリンドライシロップ0.1%小児用』の添付文書（抜粋）

通常、**小児**に対し、ドライシロップとして、**1日40mg/kg（ツロブテロール塩酸塩として0.04mg/kg）**を**2回**に分け、用時溶解して経口投与する。

標準投与量は、通常、下記の用量を**1日2回**に分け、用時溶解して経口投与する。

| 年齢              | ドライシロップとして1日量<br>(ツロブテロール塩酸塩として1日量) |
|-----------------|-------------------------------------|
| <b>0.5～3歳未満</b> | <b>0.25～0.5g (0.25～0.5mg)</b>       |
| <b>3～9歳未満</b>   | <b>0.5～1g (0.5～1mg)</b>             |
| <b>9～15歳</b>    | <b>1～2g (1～2mg)</b>                 |

#### ①「体重当り」のデータ（概略）

| 年齢区分             | 投与量区分 | 用量（成分量）   | 用量（製剤量）  | 1日の投与回数 |
|------------------|-------|-----------|----------|---------|
| 小児<br>(7歳～15歳未満) | 1回当り  | 0.02mg/kg | 0.02g/kg | 2回      |
|                  | 1日当り  | 0.04mg/kg | 0.04g/kg | 2回      |

#### ②「年齢別」のデータ（概略）

| 年齢区分     | 投与量区分 | 用量（成分量）      | 用量（製剤量）     | 1日の投与回数 |
|----------|-------|--------------|-------------|---------|
| 6カ月～3歳未満 | 1回当り  | 0.125～0.25mg | 0.125～0.25g | 2回      |
|          | 1日当り  | 0.25～0.5mg   | 0.25～0.5g   | 2回      |
| 3歳～9歳未満  | 1回当り  | 0.25～0.5mg   | 0.25～0.5g   | 2回      |
|          | 1日当り  | 0.5～1mg      | 0.5～1g      | 2回      |
| 9歳～15歳以下 | 1回当り  | 0.5～1mg      | 0.5～1g      | 2回      |
|          | 1日当り  | 1～2mg        | 1～2g        | 2回      |



## 腎機能低下時の投与量の記載に対応

腎機能低下時の注意データベースとあわせてご利用いただくことで、腎機能低下時に投与量の調節が必要な内服薬、注射薬について適正な投与量のチェックを行うことが可能です。

### 例

腎機能検査値の登録に基づき、検査値に応じた「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『ベタニス錠 2.5 mg』の添付文書（抜粋）

通常、**成人**にはミラベグロンとして**50mg**を**1日1回**食後に経口投与する。

【用法及び用量に関連する注意】

重度の腎機能障害患者（**eGFR15~29mL/min/1.73m<sup>2</sup>**）への投与は**1日1回25mg**から開始する。

『ベタニス錠 2.5 mg』のデータ（概略）

| 年齢区分              | 腎機能検査値*                                   | 投与量区分 | 用量<br>(成分量) | 用量<br>(製剤量) | 1日の<br>投与回数 |
|-------------------|-------------------------------------------|-------|-------------|-------------|-------------|
| 成人<br>(15歳~65歳未満) | -                                         | 1回当り  | 50mg        | 2錠          | 1回          |
|                   |                                           | 1日当り  | 50mg        | 2錠          | 1回          |
|                   | eGFR : 15~29<br>mL/min/1.73m <sup>2</sup> | 1回当り  | 25~50mg     | 1~2錠        | 1回          |
|                   |                                           | 1日当り  | 25~50mg     | 1~2錠        | 1回          |

\* 腎機能低下時の注意データベースから取得

検査値が記載されていない場合にも対応しています。

### 例

腎機能の低下状態の登録に基づき、腎機能障害の程度に応じた「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

『ザルティア錠 2.5 mg』の添付文書（抜粋）

通常、**成人**には**1日1回**タダラフィルとして**5mg**を経口投与する。

【用法及び用量に関連する注意】

**中等度の腎障害**のある患者では、本剤の血漿中濃度が上昇するおそれがあること及び投与経験が限られていることから、患者の状態を観察しながら**1日1回2.5mg**から投与を開始するなど考慮すること。

『ザルティア錠 2.5 mg』のデータ（概略）

| 年齢区分              | 腎障害区分*   | 投与量区分 | 用量<br>(成分量) | 用量<br>(製剤量) | 1日の<br>投与回数 |
|-------------------|----------|-------|-------------|-------------|-------------|
| 成人<br>(15歳~65歳未満) | -        | 1回当り  | 5mg         | 2錠          | 1回          |
|                   |          | 1日当り  | 5mg         | 2錠          | 1回          |
|                   | 中等度腎機能障害 | 1回当り  | 2.5~5mg     | 1~2錠        | 1回          |
|                   |          | 1日当り  | 2.5~5mg     | 1~2錠        | 1回          |

\* 腎機能低下時の注意データベースから取得

## 投与日数制限や休薬日数の記載に対応

投与期間や休薬期間が定められている薬品の投与日数（上限・下限）、休薬日数（下限）情報を保持しており、投与日数や休薬日数のチェックを行うことが可能です。

### 例

『ティーエスワン配合カプセルT20』の添付文書には、「28日間連日経口投与し、その後14日間休薬する。」の記載があります。このような場合、「投与日数」と「休薬日数」のチェックを行うことが可能です。

『ティーエスワン配合カプセルT20』の添付文書（抜粋）

通常、成人には初回投与量（1回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の1日2回、**28日間連日経口投与**し、その後**14日間休薬**する。これを1クールとして投与を繰り返す。

『ティーエスワン配合カプセルT20』のデータ（概略）

| 投与日数（下限） | 投与日数（上限） | 休薬日数（下限） |
|----------|----------|----------|
| 28       | 28       | 14       |

## 成人量からの記載から小児などの投与量に対応

添付文書の記載が成人量の場合、成人量を参照した小児用量算出用データを作成しています。これをもとに、von Harnackの表やAugsberger式などを用いて算出した小児用量で、チェックを行うことが可能です。

### 例

『フロセミド細粒4%「EMEC」』の添付文書には成人量の記載しかありませんが、小児用量算出用データを用いて、von Harnackの表から小児用量の算出を行い、処方量のチェックをします。

『フロセミド細粒4%「EMEC」』の添付文書（抜粋）

通常、成人にはフロセミドとして**1日1回40～80mg（本剤1～2g）**を連日又は隔日経口投与する。

『フロセミド細粒4%「EMEC」』の小児用量算出用データ（概略）

| 投与量区分 | 年齢区分 | 用量（製剤量） | 1日の投与回数 |
|-------|------|---------|---------|
| 1回当たり | —    | 1～2g    | 1回      |
| 1日当たり | —    | 1～2g    | 1回      |

von Harnackの表

| 年・月齢    | 3カ月 | 6カ月 | 1歳  | 3歳  | 7.5歳 | 12歳 | 成人 |
|---------|-----|-----|-----|-----|------|-----|----|
| 小児の薬用量比 | 1/6 | 1/5 | 1/4 | 1/3 | 1/2  | 2/3 | 1  |

1歳の患者さんの『フロセミド細粒4%「EMEC」』の1日の用量（製剤量）算出例

$$0.25\text{g} = 1\text{g} \times (1/4)$$

$$0.5\text{g} = 2\text{g} \times (1/4)$$

## データベースの機能

### 投与量や投与回数、投与日数、休薬日数などをチェック

年齢や体重、体表面積、適応病名、投与経路、療法毎にデータを作成しており、各種条件に応じた投与量や投与回数、投与日数、休薬日数などのチェックを行うことができるため、処方入力や処方内容の監査時のチェック、患者さんへの服薬指導にご利用いただけます。

また、腎機能低下時の注意データベースやタイミングデータベースとあわせたチェックも可能です。

## データベースの概要

医療用医薬品の添付文書に記載されている使用回数やタイミングに関するデータベースです。使用タイミングの指示に関するチェックや表示情報としてご利用いただくことが可能です。本データベースは、全ての医療用医薬品を網羅しています。

## データベースの特徴

### 食事などに関するタイミングに対応

起床時、朝・昼・夕食前（後）、朝・昼・夕食直前（直後）、就寝前（直前）などの情報を保持しているため、薬品毎に適正な使用タイミングのチェックや表示を行うことが可能です。

#### 例

『バイス錠0.3』の添付文書（抜粋）

○糖尿病の食後過血糖の改善の場合

通常、成人にはボグリボースとして1回0.2mgを**1日3回毎食直前**に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら1回量を0.3mgまで増量することができる。

『バイス錠0.3』のデータ（概略）

| 使用回数 | イベント |    |    | タイミング |    |    | 表示情報 |
|------|------|----|----|-------|----|----|------|
|      | 朝食   | 昼食 | 夕食 | 直前    | 直前 | 直前 |      |
| 3    |      |    |    |       |    |    | 毎食直前 |

### 時間に関するタイミングに対応

6時間間隔、30分間隔、検査15分前などの時間に関する情報を保持しているため、薬品を使用する間隔や時間に関するタイミングのチェックや表示を行うことが可能です。

#### 例

『リウマトレックスカプセル2mg』の添付文書（抜粋）

関節リウマチ

通常、1週間単位の投与量をメトトレキサートとして6mgとし、1週間単位の投与量を**1回又は2~3回**に分割して経口投与する。分割して投与する場合、初日から2日目にかけて**12時間間隔**で投与する。1回又は2回分割投与の場合は残りの6日間、3回分割投与の場合は残りの5日間は休薬する。これを1週間ごとに繰り返す。なお、患者の年齢、症状、忍容性及び本剤に対する反応等に応じて適宜増減するが、1週間単位の投与量として16mgを超えないようにする。

『リウマトレックスカプセル2mg』のデータ（概略）

| 使用回数 | 時間最小 |    | 時間最大 | 時間単位 | タイミング | 表示情報   |
|------|------|----|------|------|-------|--------|
|      | 1    | 2  | 3    |      |       |        |
|      | 12   | 12 |      | 時間   | 間隔    | 12時間間隔 |

## 疾患や療法毎のタイミングに対応

疾患や療法毎に使用するタイミングの情報を保持しているため、より詳細なタイミングのチェックや表示を行うことが可能です。

### 例

『プロテカジン錠10』の添付文書（抜粋）

#### ○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎

通常、成人にはラフチジンとして1回10mgを**1日2回（朝食後、夕食後または就寝前）**経口投与する。

#### ○下記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期

通常、成人にはラフチジンとして1回10mgを**1日1回（夕食後または就寝前）**経口投与する。

#### ○麻酔前投薬

通常、成人にはラフチジンとして1回10mgを**手術前日就寝前及び手術当日麻酔導入2時間前の2回**経口投与する。

『プロテカジン錠10』のデータ（概略）

| 疾患名                                         | 使用回数 | イベント |    | 時間<br>最小 | 時間<br>最大 | 時間<br>単位 | タイミング |   | 表示情報    |
|---------------------------------------------|------|------|----|----------|----------|----------|-------|---|---------|
|                                             |      | 朝食   | 夕食 |          |          |          | 後     | 前 |         |
| 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、<br>吻合部潰瘍、逆流性食道炎                 | 2    | 朝食   | 夕食 |          |          |          | 後     | 後 | 朝夕食後    |
|                                             | 2    | 朝食   | 就寝 |          |          |          | 後     | 前 | 朝食後・就寝前 |
| 急性胃炎、慢性胃炎の急性<br>増悪期の胃粘膜病変（びら<br>ん、出血、発赤、浮腫） | 1    | 夕食   |    |          |          |          | 後     |   | 夕食後     |
|                                             | 1    | 就寝   |    |          |          |          | 前     |   | 就寝前     |
| 麻酔前投薬                                       | 1    | 就寝   |    |          |          |          | 前     |   | 就寝前     |
|                                             | 1    |      | 麻酔 | 2        | 2        | 時間       | 前     |   | 麻酔前2時間  |

### 例

『ロイコボリン錠5mg』の添付文書（抜粋）

#### ◇メトトレキサート通常療法、CMF療法、メトトレキサート関節リウマチ療法又はM-VAC療法：

メトトレキサート通常療法、CMF療法、メトトレキサート関節リウマチ療法又はM-VAC療法でメトトレキサートによると思われる副作用が発現した場合には、通常、ホリナートとして成人1回10mgを**6時間間隔で4回**経口投与する。なお、メトトレキサートを過剰投与した場合には、投与したメトトレキサートと同量を投与する。

#### ◇メトトレキサート・フルオロウラシル交代療法：

通常、メトトレキサート投与後24時間目よりホリナートとして1回15mgを**6時間間隔で2～6回**（メトトレキサート投与後24、30、36、42、48、54時間目）経口投与する。

メトトレキサートによると思われる重篤な副作用があらわれた場合には、用量を増加し、投与期間を延長する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

『ロイコボリン錠5mg』のデータ（概略）

| 疾患名                                                 | 使用回数 | イベント | 時間<br>最小 | 時間<br>最大 | 時間<br>単位 | タイミング | 表示情報 |      |       |    |       |
|-----------------------------------------------------|------|------|----------|----------|----------|-------|------|------|-------|----|-------|
|                                                     |      |      |          |          |          |       | 間隔   | 表示情報 |       |    |       |
| メトトレキサート通常療法、CMF療法、<br>メトトレキサート関節リウマチ療法、<br>M-VAC療法 | 4    |      |          |          | 6        | 6     | 時間   | 間隔   | 6時間間隔 |    |       |
| メトトレキサート・フルオロウラシル<br>交代療法                           | 2    | 3    | 4        | 5        | 6        |       | 6    | 6    | 時間    | 間隔 | 6時間間隔 |

※疾患や療法毎のタイミングを取得する場合は、用法・用量データベースとあわせてご利用ください。

## 統一した表示用文言

添付文書に記載された使用タイミングについて、表示用に統一した文言を保持しています。

| 添付文書の記載例   | 使用タイミングの表示用文言 |
|------------|---------------|
| 食前に1日3回    | 毎食前           |
| 朝夕それぞれ食前   | 朝夕食前          |
| 1日4回食後と就寝前 | 毎食後・就寝前       |
| 食餌と共に      | 食事と共に         |

## データベースの機能

### 使用回数やタイミングをチェック

添付文書に記載されている「1日2回朝食後と就寝前」や「1日4回6時間毎」などの情報を保持しており、処方における使用回数やタイミングの適正性のチェックを行うことが可能です。

### 薬剤情報提供書などへの利用

使用回数毎にまとめた表示用文言や使用1回毎の表示用文言を保持しており、薬剤情報提供書などへの表示情報としてご利用いただくことが可能です。

#### 例

『グルベス配合錠』の添付文書（抜粋）

通常、成人には1回1錠（ミチグリニドカルシウム水和物/ボグリボースとして10mg/0.2mg）を**1日3回 毎食直前**に経口投与する。

『グルベス配合錠』のデータ（概略）

| 使用回数 | イベント |    |    | タイミング |    |    | 表示情報 |
|------|------|----|----|-------|----|----|------|
|      | 朝食   | 昼食 | 夕食 | 直前    | 直前 | 直前 |      |
| 3    | 朝食   | 昼食 | 夕食 | 直前    | 直前 | 直前 | 毎食直前 |

【薬剤情報提供書などへの表示例】

**1日3回 毎食直前**

| 朝食 | 昼食 | 夕食 | 就寝 | その他 |
|----|----|----|----|-----|
| 直前 | 直前 | 直前 | -  | -   |



## データベースの概要

医療用医薬品の添付文書に記載されている腎機能低下時の注意情報に関するデータベースです。

腎機能の低下状態や検査値に応じた適正なチェックを行うことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品のうち内服薬（漢方・生薬製剤を除く）および注射薬を対象としています。

## データベースの特徴

### 投与量に関するチェックに対応

腎機能低下時に投与量の調節が必要な薬品について、注意喚起を行うことが可能です。

また、用法・用量データベースとあわせてご利用いただくことで、用法・用量のチェックも可能です。

#### 例

『ベタニス錠 2.5mg』の添付文書（抜粋）

【用法及び用量に関連する注意】

重度の腎機能障害患者（**eGFR15~29mL/min/1.73m<sup>2</sup>**）への投与は**1日1回25mgから開始**する。

『ベタニス錠 2.5mg』のデータ（概略）

| 腎機能検査 | 検査値                            | 指示情報             | 用法用量*        |
|-------|--------------------------------|------------------|--------------|
| eGFR  | 15~29mL/min/1.73m <sup>2</sup> | 添付文書に投与量に関する記載あり | 開始量：1日1回25mg |

\*用法・用量データベースから投与量や投与回数などを取得

添付文書に検査値が記載されていない場合にも対応しています。

#### 例

『ザルティア錠 2.5mg』の添付文書（抜粋）

【用法及び用量に関連する注意】

**中等度の腎障害**のある患者では、本剤の血漿中濃度が上昇するおそれがあること及び投与経験が限られていることから、患者の状態を観察しながら**1日1回2.5mgから投与を開始**するなども考慮すること。

『ザルティア錠 2.5mg』のデータ（概略）

| 腎障害区分    | 指示情報             | 用法用量*         |
|----------|------------------|---------------|
| 中等度腎機能障害 | 添付文書に投与量に関する記載あり | 開始量：1日1回2.5mg |

\*用法・用量データベースから投与量や投与回数などを取得

透析時の投与に関する情報にも対応しています。

#### 例

『セフゾンカプセル100mg』の添付文書（抜粋）

【用法・用量に関連する使用上の注意】  
高度の腎障害のある患者では血中濃度が持続するので、腎障害の程度に応じて投与量を減量し、投与の間隔をあけて使用すること。**血液透析患者では1日100mg1回投与が望ましい。**

『セフゾンカプセル100mg』のデータ（概略）

| 透析区分 | 指示情報             | 用法用量*     |
|------|------------------|-----------|
| 血液透析 | 添付文書に投与量に関する記載あり | 1日1回100mg |

\*用法・用量データベースから投与量や投与回数などを取得

### 投与に関する注意情報の記載に対応

添付文書に用法・用量に関する具体的な記載がない薬品についても、チェックを行うことが可能です。

#### 例

『ミカトリオ配合錠』の添付文書（抜粋）

【特定の背景を有する患者に関する注意】  
**血清クレアチニン値が2.0mg/dLを超える腎機能障害患者  
治療上やむを得ないと判断される場合を除き、使用は避けること。**腎機能を悪化させるおそれがある。

『ミカトリオ配合錠』のデータ（概略）

| 腎機能検査         | 検査値       | 指示情報   |
|---------------|-----------|--------|
| 血清クレアチニン (Cr) | 2.0mg/dL超 | (原則禁止) |

禁止



## 外国人における投与量の参考値の記載に対応

外国人における投与量についても、データの作成対象としています。

### 例

『ゾピラックス錠200』の添付文書（抜粋）

#### 【用法及び用量に関連する注意】

腎障害を有する成人患者におけるクレアチンクリアランスに応じた本剤の投与間隔の目安は下表のとおりである（**外国人データ**）。

| クレアチンクリアランス<br>(mL/min/1.73m <sup>2</sup> ) | 単純疱疹の治療      | 帯状疱疹の治療      |
|---------------------------------------------|--------------|--------------|
| > 25                                        | 1回200mgを1日5回 | 1回800mgを1日5回 |
| 10～25                                       | 1回200mgを1日5回 | 1回800mgを1日3回 |
| < 10                                        | 1回200mgを1日2回 | 1回800mgを1日2回 |

『ゾピラックス錠200』のデータ（概略）

| 腎機能検査                    | 外国人<br>フラグ | 検査値                            | 疾患名  | 用法用量*          |
|--------------------------|------------|--------------------------------|------|----------------|
| クレアチン<br>クリアランス<br>(Ccr) | 外国人        | 25mL/min/1.73m <sup>2</sup> 超  | 単純疱疹 | 1日1000mgを5回に分割 |
|                          |            |                                | 帯状疱疹 | 1日4000mgを5回に分割 |
|                          | 外国人        | 10～25mL/min/1.73m <sup>2</sup> | 単純疱疹 | 1日1000mgを5回に分割 |
|                          |            |                                | 帯状疱疹 | 1日2400mgを3回に分割 |
|                          | 外国人        | 10mL/min/1.73m <sup>2</sup> 未満 | 単純疱疹 | 1日400mgを2回に分割  |
|                          |            |                                | 帯状疱疹 | 1日1600mgを2回に分割 |

\* 用法・用量データベースから投与量や投与回数などを取得

## データベースの機能

### 腎機能の低下状態や検査値に応じた投与チェック

腎機能低下時における投与量や投与禁止などの情報を取得できるため、処方設計や処方内容の監査時のチェックにご利用いただけます。

また、用法・用量データベースとあわせてご利用いただくことで、用法・用量のチェックも可能です。

#### 例

『オルミエント錠 2mg』が処方された場合に、患者さんのeGFR値に応じた注意喚起の情報を表示することが可能です。

『オルミエント錠 2mg』の添付文書（抜粋）

#### 【用法及び用量に関連する注意】

7.2 本剤4mg1日1回投与で治療効果が認められた際には、本剤2mg1日1回投与への減量を検討すること。

7.3 中等度の腎機能障害のある患者には、2mgを1日1回経口投与する。

| 腎障害の程度 | eGFR                  | 投与量        |
|--------|-----------------------|------------|
| 正常又は軽度 | eGFR $\geq$ 60        | 4mgを1日1回投与 |
| 中等度    | 30 $\leq$ eGFR $<$ 60 | 2mgを1日1回投与 |
| 重度     | eGFR $<$ 30           | 投与しない      |

『オルミエント錠 2mg』のデータ（概略）

| 腎機能検査 | 検査値                            | 指示情報             | 用法用量*      |
|-------|--------------------------------|------------------|------------|
| eGFR  | 60mL/min/1.73m <sup>2</sup> 以上 | 添付文書に投与量に関する記載あり | 2~4mgを1日1回 |
| eGFR  | 30~60mL/min/1.73m <sup>2</sup> | 添付文書に投与量に関する記載あり | 2mgを1日1回   |
| eGFR  | 30mL/min/1.73m <sup>2</sup> 未満 | (禁止)             | -          |

\*用法・用量データベースから投与量や投与回数などを取得

eGFRが「40mL/min/1.73m<sup>2</sup>」の場合

添付文書に投与量に関する記載あり  
(2mgを1日1回)

eGFRが「15mL/min/1.73m<sup>2</sup>」の場合

禁止

## データベースの概要

診療や健康診断などの際に実施する臨床検査や、薬品に特徴的な臨床検査の項目に対して、添付文書に記載されている禁忌病名と副作用を関連付けたデータベースです。

患者さんの臨床検査の値をもとに、処方薬の禁忌病名や副作用のチェックを行うことが可能です。

また、処方薬の禁忌病名や副作用において注意すべき臨床検査の確認にも、ご利用いただけます。

本データベースは、全ての医療用医薬品を網羅しています。

## データベースの特徴

### 禁忌病名に対応

添付文書の【警告】の項目に記載されている禁忌病名、および記載項目にかかわらず「禁止」や「原則禁止」の指示がある禁忌病名に対して、臨床検査項目を関連付けています。

また、臨床検査値が記載されている場合は、その値も保持しています。

#### 例

『ブラザキサカプセル7.5mg』の添付文書（抜粋）

##### 【禁忌】

透析患者を含む高度の腎障害（**クレアチニンクリアランス30mL/min未満**）のある患者

『ブラザキサカプセル7.5mg』のデータ（概略）

| 検査項目         | 検査値        |
|--------------|------------|
| クレアチニンクリアランス | 30mL/min未満 |

禁止

添付文書に臨床検査値が記載されていない場合にも対応しています。

#### 例

『セロクエル200mg錠』の添付文書（抜粋）

##### 【禁忌】

**糖尿病**の患者、**糖尿病**の既往歴のある患者

『セロクエル200mg錠』のデータ（概略）

| 検査項目         | 判定 |
|--------------|----|
| グルコース        | 高  |
| ヘモグロビンA1c など | 高  |

禁止

禁忌病名に対して、薬品に特徴的な臨床検査項目についても関連付けています。

#### 例

『ワーファリン錠0.5mg』の添付文書（抜粋）

##### 【禁忌】

出血している患者（血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の**血液凝固障害**、月経期間中、手術時、消化管潰瘍、尿路出血、喀血、流早産・分娩直後等性器出血を伴う妊産褥婦、頭蓋内出血の疑いのある患者等）

『ワーファリン錠0.5mg』のデータ（概略）

| 検査項目                | 判定 |
|---------------------|----|
| プロトロンビン時間-国際標準比     | 延長 |
| 活性化部分トロンボプラスチン時間 など | 延長 |

禁止

Child-Pugh分類のスコアにも対応しています。

### 例

『ベシケア錠 5 mg』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

重度の肝機能障害患者（**Child-Pugh分類C**）

※Child-Pugh class

（A：5～6点、B：7～9点、C：10～15点）

『ベシケア錠 5 mg』のデータ（概略）

| 検査項目       | スコア   |
|------------|-------|
| Child-Pugh | 10～15 |

禁止

## 副作用に対応

添付文書の【警告】と【重大な副作用】の項目に記載されている副作用に対して、臨床検査項目を関連付けています。また、臨床検査値が記載されている場合は、その値も保持しています。

### 例

『アムノレイク錠 2 mg』の添付文書（抜粋）

#### 【重大な副作用】

白血球増加症（頻度5%以上）：白血球増加症があらわれることがあるので観察を十分に行い、**末梢白血球数が30,000/mm<sup>3</sup>を超えた場合には、休薬等の適切な処置を行うこと。**

『アムノレイク錠 2 mg』のデータ（概略）

| 検査項目 | 検査値                     |
|------|-------------------------|
| 白血球数 | 30000/mm <sup>3</sup> 超 |

添付文書に臨床検査値が記載されていない場合にも対応しています。

### 例

『ブイフェンド錠 200 mg』の添付文書（抜粋）

#### 【警告】

**重篤な肝障害**があらわれることがあるので、投与にあたっては、観察を十分に行い、肝機能検査を定期的に行うこと。異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

『ブイフェンド錠 200 mg』のデータ（概略）

| 検査項目                | 判定 |
|---------------------|----|
| アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ | 高  |
| アラニンアミノトランスフェラーゼ など | 高  |

薬品に特徴的な副作用についても、臨床検査項目を関連付けています。

### 例

『ツムラ小柴胡湯エキス顆粒（医療用）』の添付文書（抜粋）

#### 【重大な副作用】

**偽アルドステロン症**（0.1%未満）：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

『ツムラ小柴胡湯エキス顆粒（医療用）』のデータ（概略）

| 検査項目    | 判定 |
|---------|----|
| カリウム など | 低  |

## 臨床検査項目の別称や略称にも対応

1つの臨床検査項目に対して、別称や略称も保持しているため、任意の臨床検査項目名を選択して表示することが可能です。

### 例

| 検査項目             | 別称・略称         |
|------------------|---------------|
| アラニンアミノトランスフェラーゼ | ALT、GPT       |
| 推算GFR値           | 推算糸球体濾過値、eGFR |
| ヘモグロビン           | 血色素量、Hb       |

## 重篤副作用疾患別対応マニュアルに対応

添付文書の【警告】と【重大な副作用】の項目に記載されている副作用の中から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）から発表された「重篤副作用疾患別対応マニュアル」に掲載されている副作用および同義的副作用に絞り込み、関連する臨床検査項目を取得することが可能です。

また、問診副作用データベースと組み合わせることで、副作用の初期症状も取得することが可能です。

### 例

『ロキソニン錠60mg』の添付文書（抜粋）

【重大な副作用】

うっ血性心不全（頻度不明）

重篤副作用疾患別対応マニュアル「うっ血性心不全」に掲載されている【早期発見に必要な検査項目】（抜粋）

- ・胸部X線写真、心電図、心エコー図検査
- ・バイオマーカー：NT-proBNP（N末端プロ脳性Na利尿ペプチド）、BNP（脳性Na利尿ペプチド）値、心筋トロポニンT値など

「うっ血性心不全」に対する臨床検査項目および初期症状のデータ（概略）

| 副作用     | 検査項目                                                                                      | 初期症状*                              |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| うっ血性心不全 | 「脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体<br>N端フラグメント<br>「脳性ナトリウム利尿ペプチド」<br>「心筋トロポニンT」<br>「胸部X線検査」<br>「心電図」<br>など | 「息苦しい」<br>「疲れやすい」<br>「顔や手足など体がむくむ」 |

\* 問診副作用データベースから初期症状を取得

## データベースの機能

### 臨床検査から処方薬の禁忌病名や副作用をチェック

臨床検査の項目や値から、処方薬の禁忌病名や副作用のチェックを行うことができるため、処方入力や処方内容の監査時のチェック、および患者さんへの服薬指導にご利用いただけます。

#### 例

『セララ錠100mg』が処方された場合に、患者さんのカリウム値に応じた注意喚起の情報を表示することが可能です。

『セララ錠100mg』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

高カリウム血症の患者もしくは本剤投与開始時に**血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えている**患者

『セララ錠100mg』のデータ（概略）

| 禁忌病名                   | 検査項目 | 検査値       | チェックレベル |
|------------------------|------|-----------|---------|
| 血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えている | カリウム | 5.0mEq/L超 | 禁止      |

血清カリウム値が「4.0mEq/L」の場合

注意なし

血清カリウム値が「6.0mEq/L」の場合

「血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えている」患者への禁止情報あり

添付文書に臨床検査値の記載がない場合でも、施設基準値などを設定していただくことで、患者さんの臨床検査の値に応じたチェックを行うことが可能です。

#### 例

『リピトール錠10mg』が処方された場合に、患者さんのグルコース（血糖）値に応じた注意喚起の情報を表示することが可能です。

『リピトール錠10mg』の添付文書（抜粋）

#### 【重大な副作用】

**高血糖、糖尿病**（いずれも頻度不明）

『リピトール錠10mg』のデータ（概略）

| 副作用 | 検査項目  | 判定 |
|-----|-------|----|
| 高血糖 | グルコース | 高  |
| 糖尿病 | グルコース | 高  |

血糖値が「90mg/dL」の場合

注意なし

血糖値が「180mg/dL」の場合

副作用に「高血糖」「糖尿病」あり

## 処方薬から注意すべき臨床検査を確認

処方薬の禁忌病名や副作用において注意すべき臨床検査の項目や値を確認することができるため、患者さんへの服薬指導にご利用いただけます。

### 例

『ジルテック錠10』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

**重度の腎機能障害（クレアチンクリアランス10mL/min未満）**のある患者

#### 【重大な副作用】

11.1.3 肝機能障害、黄疸（いずれも頻度不明）

**AST、ALT、γ-GTP、LDH、Al-Pの上昇**等の**肝機能障害**（初期症状：全身倦怠感、食欲不振、発熱、嘔気等）、**黄疸**があらわれることがある。

11.1.4 **血小板減少**（頻度不明）

『ジルテック錠10』のデータ（概略）

| 禁忌病名                  | 検査項目        |
|-----------------------|-------------|
| 重度の腎機能障害              | 血清クレアチニン など |
| クレアチンクリアランス10mL/min未満 | クレアチンクリアランス |

| 副作用     | 検査項目                |
|---------|---------------------|
| AST上昇   | アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ |
| ALT上昇   | アラニンアミノトランスフェラーゼ    |
| γ-GTP上昇 | γ-グルタミルトランスアミナーゼ    |
| LDH上昇   | 乳酸脱水素酵素             |
| Al-P上昇  | アルカリホスファターゼ         |
| 肝機能障害   | アラニンアミノトランスフェラーゼ など |
| 黄疸      | 総ビリルビン など           |
| 血小板減少   | 血小板数                |





## データベースの概要

薬品を使用した際に影響が出る可能性のある検査と、薬品の使用中に実施が必要な検査に関するデータベースです。

## データベースの特徴

### 薬品の使用により影響が出る検査

薬品を使用したことにより臨床検査値が変化する可能性のある検査の情報を保持しています。

#### 例

『ガストログラフィン経口・注腸用』の添付文書（抜粋）

#### 【臨床検査結果に及ぼす影響】

本剤投与により、**甲状腺機能検査等の放射性ヨードによる検査に影響**を及ぼすおそれがある。したがって、これらの検査は本剤の投与前に実施すること。

#### 表示例

甲状腺機能検査等の放射性ヨードによる検査に影響

### 薬品の使用時に必要な検査

薬品の使用前・中・後に実施が必要な検査の情報を保持しています。

#### 例

『パナルジン錠100mg』の添付文書（抜粋）

#### 【警告】

血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）、無顆粒球症、重篤な肝障害等の重大な副作用が主に投与開始後2ヵ月以内に発現し、死亡に至る例も報告されている。

**投与開始後2ヵ月間**は、特に上記副作用の初期症状の発現に十分留意し、原則として**2週に1回、血球算定（白血球分画を含む）、肝機能検査**を行い、上記副作用の発現が認められた場合には、ただちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。本剤投与中は、定期的に**血液検査**を行い、上記副作用の発現に注意すること。

#### 【重大な副作用】（頻度不明<sup>注</sup>）

血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）（主徴：血小板減少、破碎赤血球の出現を認める溶血性貧血、動揺する精神・神経症状、発熱、腎機能障害）…TTPがあらわれることがある（特に投与開始後2ヵ月以内）ので、観察を十分に行い、TTPの初期症状である倦怠感、食欲不振、紫斑等の出血症状、意識障害等の精神・神経症状等が出現した場合には、ただちに投与を中止し、**血液検査（網赤血球、破碎赤血球の同定を含む）**を実施し、必要に応じ血漿交換等の適切な処置を行うこと。

#### 表示例

投与開始後2ヵ月間は、2週に1回、血球算定（白血球分画を含む）、肝機能

血液

血液検査（網赤血球、破碎赤血球の同定を含む）

## データベースの機能

### 薬品と検査の確認

臨床検査値が変化する可能性のある薬品の情報を取得できるため、処方する際や検査を行う際の注意情報としてご利用いただくことが可能です。

また、薬品の使用時に必要な検査に関する情報を取得できるため、薬品の適正な使用のための参考情報としてご利用いただけます。



## データベースの概要

添付文書に記載されている適応病名に関するデータベースです。

薬品の適応病名の確認や、適応病名からの薬品検索にご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品およびOTC医薬品の添付文書の【効能・効果】の項目に記載されている全ての適応病名情報を網羅しています。

## データベースの特徴

### 表記が異なる同義語に対応

異なる表現の適応病名について同義語処理（シソーラス化）をしているため、漏れなく検索することが可能です。

#### 例

##### ■ 医療用医薬品

「ムコ多糖症Ⅱ型」「Hunter病」のどちらの病名からでも、『エラプレース点滴静注液6mg』と『注射用エンドキサン100mg』を検索することが可能です。

『エラプレース点滴静注液6mg』の添付文書（抜粋）

【効能又は効果】

**ムコ多糖症Ⅱ型**

適応病名

ムコ多糖症2型

同義語処理

『注射用エンドキサン100mg』の添付文書（抜粋）

【効能・効果】

下記疾患における造血幹細胞移植の前治療

急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、重症再生不良性貧血、悪性リンパ腫、遺伝性疾患（免疫不全、先天性代謝障害及び先天性血液疾患：Fanconi貧血、Wiskott-Aldrich症候群、**Hunter病**等）

適応病名

Hunter病

## 例

## ■OTC医薬品

「かぜ」「感冒」のどちらの病名からでも、『ストナアイビー』と『ルル内服液<麻黄湯>』を検索することが可能です。

『ストナアイビー』の添付文書（抜粋）

## 【効能】

かぜの諸症状（発熱、頭痛、のどの痛み、せき、たん、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、悪寒、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

## 適応病名

かぜ

同義語処理

『ルル内服液<麻黄湯>』の添付文書（抜粋）

## 【効能】

体力充実して、かぜのひきはじめて、さむけがして発熱、頭痛があり、せきが出て身体のふしぶしが痛く汗が出ていないものの次の諸症：**感冒**、鼻かぜ、気管支炎、鼻づまり

## 適応病名

感冒

## | 豊富な検索キー

多数の検索キーを作成しているため、同義語から適応病名を検索するなど、多様な入力に対応しています。

## 例

## ■医療用医薬品

「はしゆせ」「DIC」のどちらの検索キーからも、「播種性血管内凝固症候群」と「DIC」を検索することが可能です。

適応病名のデータ（概略）

| 適応病名        | 検索キー              |
|-------------|-------------------|
| 播種性血管内凝固症候群 | 「はしゆせ」「ぎようこ」「DIC」 |
| DIC         | 「DIC」「でいーあ」「はしゆせ」 |

## 例

## ■OTC医薬品

「むくみ」の検索キーから、「浮腫」と「むくみ」を検索することが可能です。

適応病名のデータ（概略）

| 適応病名 | 検索キー       |
|------|------------|
| 浮腫   | 「ふしゆ」「むくみ」 |
| むくみ  | 「むくみ」      |

## データベースの機能

### 適応病名からの薬品検索

任意の適応をもつ薬品を検索することが可能です。

#### 例

##### ■医療用医薬品

「インフルエンザ」の病名から、「インフルエンザ」の適応をもつ『イナビル吸入粉末剤20mg』などを検索することが可能です。

『イナビル吸入粉末剤20mg』の添付文書（抜粋）

##### 【効能又は効果】

A型又はB型**インフルエンザ**ウイルス感染症の  
治療及びその予防

薬品検索の結果例

シンメトレル細粒10%

タミフルカプセル75

リレンザ

ラピアクタ点滴静注液バイアル150mg

**イナビル吸入粉末剤20mg**

など

#### 例

##### ■OTC医薬品

「アレルギー性鼻炎」の病名から、「鼻のアレルギー症状」の適応をもつ『ザジテンAL鼻炎カプセル』などを検索することが可能です。

『ザジテンAL鼻炎カプセル』の添付文書（抜粋）

##### 【効能・効果】

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような**鼻のアレルギー症状**の緩和：くしゃみ、  
鼻みず（鼻汁過多）、鼻づまり

薬品検索の結果例

アレグラFX

アレジオン10

コンタック鼻炎Z

**ザジテンAL鼻炎カプセル**

パブロン鼻炎カプセルZ

など

## 適応病名の表示

文章で記載されている効能・効果の情報を個別の病名として保持しているため、個々に適応病名を表示してご利用いただくことが可能です。

### 例

#### ■医療用医薬品

『イナビル吸入粉末剤 20mg』の添付文書（抜粋）

【効能又は効果】

A型又はB型インフルエンザウイルス感染症の  
治療及びその予防

『イナビル吸入粉末剤 20mg』の表示例

**A型インフルエンザウイルス感染症の治療**

A型インフルエンザウイルス感染症の予防

B型インフルエンザウイルス感染症の治療

B型インフルエンザウイルス感染症の予防

### 例

#### ■OTC医薬品

『ザジテン A L 鼻炎カプセル』の添付文書（抜粋）

【効能・効果】

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次の  
ような鼻のアレルギー症状の緩和：くしゃみ、  
鼻みず（鼻汁過多）、鼻づまり

『ザジテン A L 鼻炎カプセル』の表示例

鼻のアレルギー症状のくしゃみの緩和

鼻のアレルギー症状の鼻みずの緩和

鼻のアレルギー症状の鼻汁過多の緩和

**鼻のアレルギー症状の鼻づまりの緩和**

## データベースの概要

添付文書に記載されている適応病名とそれに対応するレセプト病名を関連付けたデータベースです。

保険請求に関連したレセプト病名の検索や薬品との整合性チェックを行うことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての適応病名情報を網羅しており、下記参考情報のレセプト病名の改定（年2回）にも対応しています。

参考情報：傷病名マスター（診療報酬情報提供サービス）

ICD10対応標準病名マスター（一般財団法人 医療情報システム開発センター（MEDIS-DC））

※本データベースは参考情報であり、保険審査におけるレセプト病名の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

### 同義語に対応

レセプト病名に複数の同義語がある場合、それらの同義語全てと適応病名を関連付けているため、検索やチェックを漏れなく行うことが可能です。

#### 例

『ヘプロニカート錠100mg「CH」』の「バージャー病」に対するレセプト病名として、「バージャー病」と同義語の「閉塞性血栓血管炎」の病名も関連付けています。

『ヘプロニカート錠100mg「CH」』の添付文書（抜粋）

#### 【効能・効果】

- ・レイノー病・**バージャー病**・閉塞性動脈硬化症などの末梢循環障害
- ・凍瘡・凍傷

『ヘプロニカート錠100mg「CH」』のデータ（概略）

| 添付文書の適応病名 | レセプト病名             |
|-----------|--------------------|
| バージャー病    | <b>バージャー病</b>      |
|           | <b>閉塞性血栓血管炎</b> など |

## 添付文書の適応病名に応じたレセプト病名の関連付けに対応

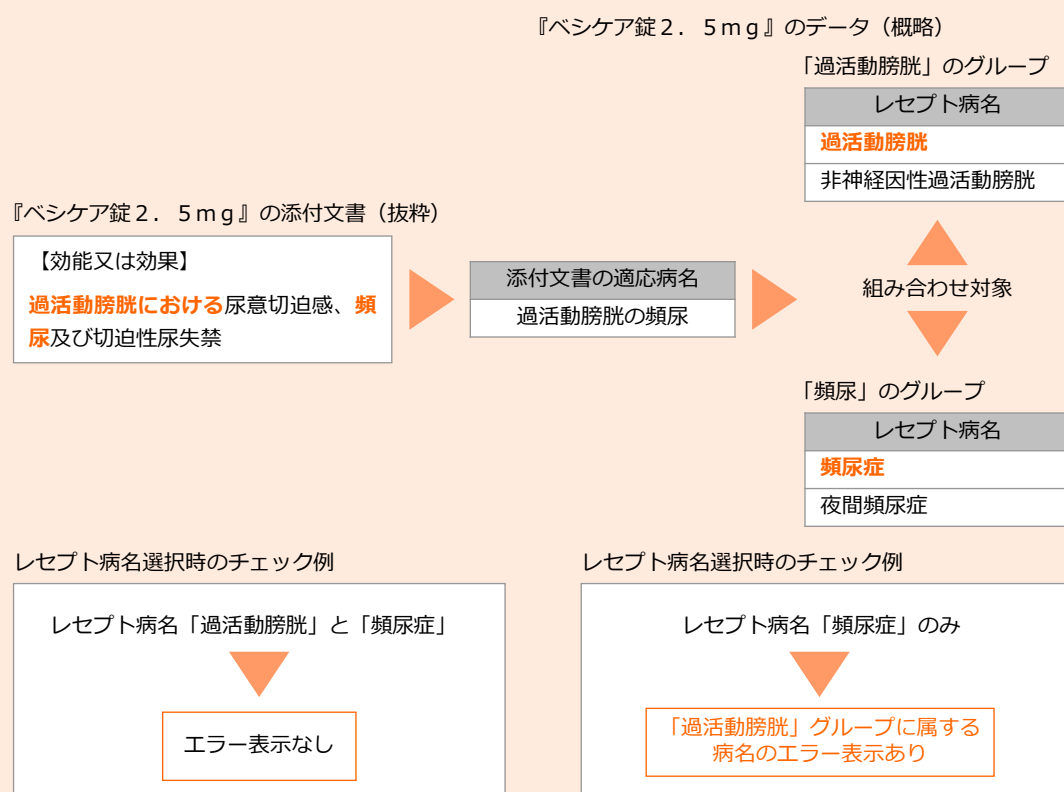
添付文書に記載されている適応病名に疾患や症状など複数の情報が含まれている場合、複数のレセプト病名の登録が必要になる場合があります。

適応病名とレセプト病名の組み合わせや関係性の情報（「レセプト病名を組み合わせる必要がある」など）を保持しており、より適切なレセプト病名を選択していただくことが可能です。

レセプト病名の登録漏れの注意喚起としてもご利用いただけます。

### 例

『ベシケア錠2.5mg』の「過活動膀胱における頻尿」について、レセプト病名として「過活動膀胱の頻尿」が存在しないため、疾患である「過活動膀胱」と症状の「頻尿」のグループに分け、それぞれにレセプト病名を関連付けています。





## 例

『ブイフェンド錠50mg』の「カンジダ腹膜炎」について、レセプト病名として「カンジダ腹膜炎」が存在しないため、「カンジダ症」と「腹膜炎」のグループに分け、それぞれにレセプト病名を関連付けています。

『ブイフェンド錠50mg』の添付文書（抜粋）

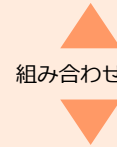
|                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【効能又は効果】</p> <p>下記の重症又は難治性真菌感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 侵襲性アスペルギルス症、肺アスペルギローマ、慢性壊死性肺アスペルギルス症</li> <li>・ カンジダ血症、食道カンジダ症、<b>カンジダ腹膜炎</b>、気管支・肺カンジダ症</li> </ul> <p>(以下、省略)</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

『ブイフェンド錠50mg』のデータ（概略）

「カンジダ症」のグループ

レセプト病名

**カンジダ症**



「腹膜炎」のグループ

レセプト病名

**腹膜炎**

添付文書の適応病名

カンジダ腹膜炎

組み合わせ対象

レセプト病名選択時のチェック例

レセプト病名「カンジダ症」と「腹膜炎」



エラー表示なし

レセプト病名選択時のチェック例

レセプト病名「腹膜炎」のみ



「カンジダ症」グループに属する病名のエラー表示あり

## データベースの機能

### 的確な候補病名の表示やチェック

処方薬に対して候補となるレセプト病名を表示し、レセプト病名を登録する際に参考情報としてご利用いただけます。添付文書の適応病名とレセプト病名との整合性のチェックや、レセプト病名の登録漏れの注意喚起を行うことが可能です。

なお、本データベースでは、添付文書の適応病名とレセプト病名の関係性の情報を保持しているため、候補病名の絞り込みや範囲拡大など、状況に応じて情報表示の範囲を変えてご利用いただくことが可能です。

#### 例

『フルイトラン錠2mg』の添付文書の適応病名と、そのレセプト病名を表示します。

添付文書の適応病名と一致するレセプト病名（オレンジ色）のみに絞り込んでいただくことが可能です。

『フルイトラン錠2mg』の添付文書（抜粋）

#### 【効能・効果】

高血圧症（本態性、腎性等）、悪性高血圧、心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症

『フルイトラン錠2mg』のデータ（概略）

| 添付文書の適応病名 | レセプト病名                 |
|-----------|------------------------|
| 高血圧症      | <b>高血圧症</b>            |
|           | 二次性高血圧症 など             |
| 本態性高血圧症   | <b>本態性高血圧症</b>         |
|           | 妊娠・分娩・産褥の既存の本態性高血圧症 など |
| 腎性高血圧症    | <b>腎性高血圧症</b>          |
|           | 腎実質性高血圧症 など            |
| 悪性高血圧     | <b>悪性高血圧症</b>          |
| 心性浮腫      | <b>心臓性浮腫</b>           |
| うっ血性心不全   | <b>うっ血性心不全</b>         |
|           | 慢性うっ血性心不全 など           |
| 腎性浮腫      | <b>腎性浮腫</b>            |
| 肝性浮腫      | <b>肝性浮腫</b>            |
| 月経前緊張症    | <b>月経前症候群</b>          |
|           | 月経前浮腫 など               |

### 保険請求対象外の適応病名の判別

薬価基準未収載品の適応病名に対するレセプト病名や、薬価基準収載品であっても保険請求対象外である適応病名がある場合、保険請求対象外の判別を行うことができるため、レセプト病名を登録する際の参考情報としてご利用いただくことが可能です。

#### 例

『プロペシア錠0.2mg』は薬価基準未収載品ですが、適応病名とレセプト病名を関連付けています。

『プロペシア錠0.2mg』の添付文書（抜粋）

#### 【効能・効果】

**男性における男性型脱毛症の進行遅延**

『プロペシア錠0.2mg』のデータ（概略）

| 添付文書の適応病名         | レセプト病名          | 保険* |
|-------------------|-----------------|-----|
| 男性における男性型脱毛症の進行遅延 | <b>男性型脱毛症</b>   | ×   |
|                   | 薬物誘発性男性ホルモン性脱毛症 | ×   |

\* ○：保険請求対象、×：保険請求対象外

例

『ヒアレインミニ点眼液0.1%』の「シェーグレン症候群の角結膜上皮障害」は保険請求可能な適応病名ですが、「眼球乾燥症候群の角結膜上皮障害」は保険請求対象外の適応病名です。

『ヒアレインミニ点眼液0.1%』の添付文書 (抜粋)

**【効能・効果】**  
 下記疾患に伴う角結膜上皮障害  
 ・ **シェーグレン症候群、スティーブンス・ジョンソン症候群、眼球乾燥症候群** (ドライアイ) 等の内因性疾患  
 ・ 術後、薬剤性、外傷、コンタクトレンズ着用等による外因性疾患  
**【保険給付上の注意】**  
 ヒアレインミニ点眼液0.1%、ヒアレインミニ点眼液0.3%は、シェーグレン症候群又はスティーブンス・ジョンソン症候群に伴う角結膜上皮障害の患者に使用した場合に限り算定するものであること。

『ヒアレインミニ点眼液0.1%』のデータ (概略)

| 添付文書の適応病名                | レセプト病名                  | 保険*1 |
|--------------------------|-------------------------|------|
| シェーグレン症候群の角結膜上皮障害        | <b>シェーグレン症候群</b>        | ○    |
|                          | 一次性シェーグレン症候群 など         | ○    |
|                          | 乾性角結膜炎*2                | ○    |
| スティーブンス・ジョンソン症候群の角結膜上皮障害 | <b>スティーブンス・ジョンソン症候群</b> | ○    |
|                          | 角結膜びらん など               | ○    |
| 眼球乾燥症候群の角結膜上皮障害          | <b>ドライアイ</b>            | ×    |
|                          | 涙液分泌不全                  | ×    |
|                          | 乾性角結膜炎*2                | ×    |

\*1 ○：保険請求対象、×：保険請求対象外  
 \*2 「乾性角結膜炎」は「ドライアイ」と組み合わせる場合は保険請求対象外

レセプト病名からの薬品検索

任意のレセプト病名をもつ薬品を検索することが可能です。

例

レセプト病名

本態性高血圧症

データ (概略)

| レセプト病名         | 添付文書の適応病名        |
|----------------|------------------|
| <b>本態性高血圧症</b> | <b>本態性高血圧症</b>   |
|                | 本態性高血圧症 <軽症~中等症> |
|                | 高血圧症             |

『アルダクトンA錠2.5mg』の添付文書 (抜粋)

**【効能・効果】**  
**高血圧症 (本態性、腎性等)**  
 心性浮腫 (うっ血性心不全)、腎性浮腫、肝性浮腫、特異性浮腫、悪性腫瘍に伴う浮腫及び腹水、栄養失調性浮腫  
 原発性アルドステロン症の診断及び症状の改善



## データベースの概要

添付文書に記載されている投与禁忌の患者状態や投与部位などの投与制限に関するデータベースです。

併用薬や年齢などの条件の情報も保持しているため、付帯条件を加味した投与制限チェックを行うことが可能です。また、禁忌病名からの薬品の検索にもご利用いただけます。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての投与制限に関する情報を網羅しています。

## データベースの特徴

### 6段階のレベル分け

添付文書の禁忌をはじめとする注意喚起の情報を以下の6段階のレベルに区分しているため、選択したレベルの範囲でチェックを行うことが可能です。

添付文書の項目毎に情報を絞り込むことも可能です。

| 高 | レベル  | 添付文書の記載表現                  |
|---|------|----------------------------|
|   | 禁止   | 禁忌、禁止、投与しない、投与を避ける など      |
|   | 原則禁止 | 原則禁忌、原則として禁止、原則として投与しない など |
|   | 相対禁止 | 有益性が危険性を上回る場合にのみ投与 など      |
|   | 希望禁止 | 投与しないことが望ましい など            |
|   | 慎重投与 | 慎重投与、慎重に投与する など            |
|   | 注意   | 注意、留意 など                   |
| 低 |      |                            |

### 例

患者情報として予め「消化性潰瘍」を登録しておく、「消化性潰瘍」に「禁忌」の『ロキソニン錠60mg』が処方された場合に、「禁止」のチェックがかかります。

『ロキソニン錠60mg』の添付文書（抜粋）

【禁忌】  
消化性潰瘍のある患者〔プロスタグランジン生合成抑制により、胃の血流量が減少し消化性潰瘍が悪化することがある。〕

『ロキソニン錠60mg』のデータ（概略）

| レベル | 患者属性  |
|-----|-------|
| 禁止  | 消化性潰瘍 |

禁止

## 表記が異なる同義語に対応

異なる表現の禁忌病名について同義語処理（シソーラス化）をしているため、検索やチェックを漏れなく行うことが可能です。

### 例

患者情報として予め「消化性潰瘍」を登録しておくと、「消化性潰瘍」の同義語である「狭窄性消化性潰瘍」に「禁忌」の『タベジール錠1mg』が処方された場合に、「禁止」のチェックがかります。

『タベジール錠1mg』の添付文書（抜粋）

|                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------|
| 【禁忌】<br><b>狭窄性消化性潰瘍</b> 又は幽門十二指腸閉塞のある患者〔抗コリン作用により消化管運動が抑制され、症状が悪化するおそれがある。〕 |
|-----------------------------------------------------------------------------|

『タベジール錠1mg』のデータ（概略）

| レベル | 患者属性     |
|-----|----------|
| 禁止  | 狭窄性消化性潰瘍 |

同義語処理

|                           |
|---------------------------|
| 消化性潰瘍                     |
| 活動性消化性潰瘍                  |
| 狭窄性消化性潰瘍                  |
| 重篤な消化性潰瘍                  |
| 消化性潰瘍<活動期>                |
| 非ステロイド性消炎鎮痛剤の長期投与による消化性潰瘍 |

同義語処理により  
表現が異なる禁忌  
病名もチェック

禁止

※胃潰瘍や十二指腸潰瘍などは消化性潰瘍と同義ではないため、同義語処理を行っていません。

## 豊富な検索キー

多数の検索キーを作成しているため、同義語から禁忌病名を検索するなど、多様な入力に対応しています。

### 例

「SLE」「えりてま」「ぜんしん」のどの検索キーからも、「全身性エリテマトーデス」と「SLE」を検索することが可能です。

禁忌病名のデータ（概略）

| 患者属性        | 検索キー                    |
|-------------|-------------------------|
| 全身性エリテマトーデス | 「ぜんしん」「えりてま」「SLE」       |
| SLE         | 「SLE」「えすえる」「ぜんしん」「えりてま」 |

## 禁忌項目以外の記載に対応

添付文書の【禁忌】以外の項目に患者状態や投与部位などの投与制限に関する記載がある場合についても、漏れなくチェックすることが可能です。

### 例

『ボスミン注 1 mg』の添付文書の【禁忌】の項目に「心原性ショック」の記載はありませんが、【効能又は効果に関連する注意】の項目に記載があるため、「心原性ショック」への使用は「禁止」となります。

『ボスミン注 1 mg』の添付文書（抜粋）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)<br/>(用法共通)</p> <p>2.1 プロピロフェノン系・フェノチアジン系等の抗精神病薬、<br/>α遮断薬を投与中の患者(ただし、アナフィラキシー<br/>ショックの救急治療時はこの限りでない。)[10.1 参照]</p> <p>2 「心原性ショック」の記載はありません<br/>患者(ただし、蘇生時の禁忌時はこの限りでない。)<br/>[10.1 参照]</p> <p>(点眼・結膜下注射(眼領域)使用時)</p> <p>2.3 狭隅角や前房が浅いなど眼圧上昇の素因のある患者<br/>[閉塞隅角緑内障患者の発作を誘発することがある。]<br/>[8.5 参照]</p> | <p>4. 効能又は効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下記疾患に基づく気管支痙攣の緩解<br/>気管支喘息、百日咳</li> <li>○ 各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧またはショック<br/>時の補助治療</li> <li>○ 局所麻酔薬の作用延長</li> <li>○ 手術時の局所出血の予防と治療</li> <li>○ 心停止の補助治療</li> <li>○ 虹彩毛様体炎時における虹彩癒着の防止</li> </ul> <p>5. 効能又は効果に関連する注意<br/>(各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧またはショック時<br/>の補助治療に対する使用時)</p> <p>本剤は心筋酸素需要を増加させるため、心原性ショックや出<br/>血性・外傷性ショック時の使用は避けること。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【禁忌】の項目には記載がないものの、【効能又は効果に関連する注意】の項目の記載により『ボスミン注 1 mg』の「心原性ショック」への投与は**禁止**

## 付帯条件のある禁忌病名に対応

禁忌病名のチェックにおいて、併用薬や年齢などの「付帯条件」についても同時にチェックすることで、患者状態にあわせた、よりの確なチェックを行うことが可能です。

【付帯条件がある場合の例】 **肝機能障害患者でコルヒチンを投与中の患者**

患者属性 「肝機能障害」 + 付帯条件 「コルヒチンを投与中」

### 例

患者情報として予め「肝機能障害」を登録しておくこと、『クラリス錠200』が処方された場合に、コルヒチンの投与の有無を区別したチェックが可能です。

『クラリス錠200』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

2.3 **肝臓**又は腎臓に**障害**のある患者で**コルヒチンを投与中**の患者

#### 【特定の背景を有する患者に関する注意】

9.3 **肝機能障害**患者

肝機能障害を悪化させることがある。

9.3.1 **肝機能障害**患者で**コルヒチンを投与中**の患者

投与しないこと。コルヒチンの血中濃度上昇に伴う中毒症状が報告されている。

『クラリス錠200』のデータ（概略）

| レベル | 患者属性  | 条件（併用薬剤）                       |
|-----|-------|--------------------------------|
| 禁止  | 肝機能障害 | コルヒチン錠0.5mg「タカタ」<br>（成分：コルヒチン） |
| 注意  | 肝機能障害 | -                              |

「肝機能障害」で『コルヒチン錠0.5mg「タカタ」』を併用

禁止

「肝機能障害」のみ

注意

### 例

患者情報として予め「腸アトニー」を登録しておくこと、『ポラキス錠2』が処方された場合に、高齢者のみ「禁止」のチェックがかかります。

『ポラキス錠2』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

衰弱患者又は**高齢者の腸アトニー**、重症筋無力症の患者【抗コリン作用により、症状を悪化させるおそれがある。】

『ポラキス錠2』のデータ（概略）

| レベル | 患者属性      | 条件（年齢） |
|-----|-----------|--------|
| 禁止  | 高齢者の腸アトニー | 65歳以上  |

「腸アトニー」で年齢が『65歳以上』

禁止



## データベースの機能

### 禁忌病名をチェック

患者情報として予め疾患を登録しておくことで、その疾患に禁忌の薬品が処方された際のチェックにご利用いただくことが可能です。

処方内容の監査や患者さんへの服薬指導にご利用いただけます。

### 投与制限情報の表示

文章で記載されている禁忌病名に関する情報を個別の病名として保持しているため、個々に禁忌病名を表示してご利用いただくことが可能です。また、投与部位などの投与制限情報についてもご確認いただくことが可能です。

#### 例

『ザファテック錠100mg』の添付文書（抜粋）

##### 【禁忌】

**重症ケトosis、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病**の患者〔輸液、インスリンによる速やかな高血糖の是正が必須となるので本剤の投与は適さない。〕

『ザファテック錠100mg』のデータ（概略）

##### 重症ケトosis

糖尿病性昏睡

糖尿病性前昏睡

1型糖尿病

など

### 禁忌病名からの薬品検索

任意の病名が禁忌病名として添付文書に記載されている薬品を検索することが可能です。

#### 例

「閉塞隅角緑内障」から、閉塞隅角緑内障に投与禁忌の『ウリトス錠0.1mg』などを検索することが可能です。

『ウリトス錠0.1mg』の添付文書（抜粋）

##### 【禁忌】

**閉塞隅角緑内障**の患者〔抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状が悪化するおそれがある。〕

薬品検索の結果例

デバス錠0.5mg

PL配合顆粒

**ウリトス錠0.1mg**

ディレグラ配合錠

など

※緑内障のうち、開放隅角緑内障や閉塞隅角緑内障などは緑内障と同義ではないため、同義語処理を行っていません。



## データベースの概要

添付文書に記載されている禁忌病名とそれに対応するレセプト病名を関連付けたデータベースです。

保険請求に関連したレセプト病名と薬品との整合性チェックを行うことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての投与制限に関する情報を網羅しており、下記参考情報のレセプト病名の改定（年2回）にも対応しています。

参考情報：傷病名マスター（診療報酬情報提供サービス）

ICD10対応標準病名マスター（一般財団法人 医療情報システム開発センター（MEDIS-DC））

※本データベースは参考情報であり、保険審査におけるレセプト病名の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

### 6段階のレベル分け

添付文書の禁忌をはじめとする病名に関する注意喚起の情報を以下の6段階のレベルに区分しているため、選択したレベルの範囲でチェックを行うことが可能です。

添付文書の項目毎に情報を絞り込むことも可能です。

| レベル  | 添付文書の記載表現                  |
|------|----------------------------|
| 禁止   | 禁忌、禁止、投与しない、投与を避ける など      |
| 原則禁止 | 原則禁忌、原則として禁止、原則として投与しない など |
| 相対禁止 | 有益性が危険性を上回る場合にのみ投与 など      |
| 希望禁止 | 投与しないことが望ましい など            |
| 慎重投与 | 慎重投与、慎重に投与する など            |
| 注意   | 注意、留意 など                   |

高  
  
低

## 安全性を重視した広範囲の病名に対応

処方薬の禁忌などの投与制限情報を、関連する広範囲のレセプト病名に関連付けているため、登録したレセプト病名との安全性を重視した整合性チェックを行うことが可能です。

### 例

下記レセプト病名のいずれかが登録されている患者さんに対して『ユーゼル錠25mg』が処方された場合に、「禁止」のチェックがかかります。

「水様便」のデータ（概略）

| レセプト病名     | 患者属性 |
|------------|------|
| 心因性下痢      | 水様便  |
| 消化不良性下痢    | 水様便  |
| アレルギー性下痢   | 水様便  |
| 習慣性下痢      | 水様便  |
| 食事性下痢      | 水様便  |
| 発酵性下痢      | 水様便  |
| 非感染性下痢     | 水様便  |
| 慢性下痢症      | 水様便  |
| 下痢型過敏性腸症候群 | 水様便  |
| 機能的な下痢 など  | 水様便  |

『ユーゼル錠25mg』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

下痢（**水様便**）のある患者〔下痢が増悪して脱水、電解質異常、循環不全を起こし、致命的となることがある。〕

禁止

## 異なる病態に対応

病態が異なる場合は、それらを区別してチェックを行うことが可能です。

### 例

下記「レセプト病名①（急性閉塞隅角緑内障など）」が登録されている患者さんに対して『ドラル錠15』が処方された場合に、「禁止」のチェックがかかります。

「急性閉塞隅角緑内障」のデータ（概略）

| レセプト病名①   | 患者属性      |
|-----------|-----------|
| 急性閉塞隅角緑内障 | 急性閉塞隅角緑内障 |
| 急性緑内障発作   | 急性閉塞隅角緑内障 |

『ドラル錠15』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

**急性閉塞隅角緑内障**のある患者〔眼圧を上昇させるおそれがある。〕

禁止

下記「レセプト病名②（慢性閉塞隅角緑内障など）」が登録されている患者さんに対して『ダイヤモンド錠250mg』が処方された場合に、「禁止」のチェックがかかります。

「慢性閉塞隅角緑内障」のデータ（概略）

| レセプト病名②   | 患者属性      |
|-----------|-----------|
| 慢性閉塞隅角緑内障 | 慢性閉塞隅角緑内障 |

『ダイヤモンド錠250mg』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

**慢性閉塞隅角緑内障**の患者には長期投与しないこと〔緑内障の悪化が顕性化されるおそれがある。〕

禁止

## データベースの機能

### レセプト病名を用いた禁忌病名チェック

患者情報として登録したレセプト病名と処方薬の禁忌などの投与制限情報の整合性を確認し、処方薬が投与制限の対象か否かチェックを行うことが可能です。

処方内容の監査や患者さんへの服薬指導にご利用いただけます。



## データベースの概要

添付文書に記載されている禁忌などの投与制限情報を代表的な24疾患に分類したデータベースです。患者さんから聞き取った疾患と処方薬との投与制限チェックを行うことが可能です。

## データベースの特徴

### 代表的な24疾患を対象とした分類

医療用医薬品の禁忌などの疾患に関する投与制限情報の中で、患者さん自身が確認できる代表的な24疾患を対象としています。

| 対象疾患        |                |
|-------------|----------------|
| 糖尿病（1型）     | 脳卒中（脳梗塞・脳出血など） |
| 糖尿病（2型）     | てんかん           |
| 高血圧         | パーキンソン病        |
| 気管支喘息       | 筋無力症           |
| 緑内障         | 甲状腺機能低下症       |
| 前立腺肥大       | 甲状腺機能亢進症       |
| 消化管潰瘍       | 痛風・高尿酸血症       |
| 脂質異常症（高脂血症） | 関節リウマチ         |
| 不整脈         | 骨粗しょう症         |
| 狭心症         | 貧血             |
| 心不全         | 肝疾患（肝障害・肝炎など）  |
| 心筋梗塞        | 腎疾患（腎障害・腎炎など）  |

### 6段階のレベル分け

添付文書に記載されている疾患に関する投与制限情報を以下の6段階のレベルに区分しているため、選択したレベルの範囲でチェックを行うことが可能です。

添付文書の項目毎に情報を絞り込むことも可能です。

| レベル  | 添付文書の記載表現                  |
|------|----------------------------|
| 禁止   | 禁忌、禁止、投与しない、投与を避ける など      |
| 原則禁止 | 原則禁忌、原則として禁止、原則として投与しない など |
| 相対禁止 | 有益性が危険性を上回る場合にのみ投与 など      |
| 希望禁止 | 投与しないことが望ましい など            |
| 慎重投与 | 慎重投与、慎重に投与する など            |
| 注意   | 注意、留意 など                   |

高
低

## データベースの機能

### 禁忌病名をチェック

患者さん自身が確認できる一般的な疾患に絞り込んでいるため、問診や患者アンケートなどによる聞き取りにおいて患者情報として得られた疾患と処方薬との投与制限チェックを行うことが可能です。

#### 例

患者情報として予め「消化管潰瘍」を登録しておくこと、『P L 配合顆粒』が処方された場合に「禁止」のチェックがかかります。

患者さんの疾患（歴）として  
「消化管潰瘍」を登録

『P L 配合顆粒』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

消化性潰瘍のある患者 [本剤中のサリチルアミドは消化性潰瘍を悪化させることがある。]

禁止



## データベースの概要

処方薬から推測される適応病名と、その適応病名が禁忌である薬品同士を関連付けたデータベースです。薬品同士の組み合わせの矛盾をチェックすることが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての適応病名と禁忌病名の組み合わせを網羅しています。

## データベースの特徴

### 薬品の組み合わせから処方の矛盾を推測

添付文書に記載されている適応病名と禁忌病名の情報をもとにデータを作成しています。

#### 例

『レキップ錠 1 mg』の添付文書（抜粋）

【効能又は効果】

**パーキンソン病**

『レキップ錠 1 mg』の適応病名「パーキンソン病」と  
『セレネース錠 1 mg』の禁忌病名「パーキンソン病」が矛盾

禁止

『セレネース錠 1 mg』の添付文書（抜粋）

【禁忌】

**パーキンソン病**又はレビー小体型認知症の患者〔錐体外路症状が悪化するおそれがある。〕

### 表現の異なる病名表記に対応

適応病名と禁忌病名の表現が異なる疾患の処方矛盾についても対応しているため、漏れなくチェックを行うことが可能です。

#### 例

『ガスターD錠 20 mg』の添付文書（抜粋）

【効能又は効果】

**胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群**

『ガスターD錠 20 mg』の適応病名  
「胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍」と  
『ロキソニン錠 60 mg』の禁忌病名「消化性潰瘍」が矛盾

禁止

『ロキソニン錠 60 mg』の添付文書（抜粋）

【禁忌】

**消化性潰瘍**のある患者〔プロスタグランジン生合成抑制により、胃の血流量が減少し消化性潰瘍が悪化することがある。〕

## 適応の対象とならない疾患の情報に対応

適応の対象にならないと記載されている疾患と、その疾患に適応がある薬品が処方された場合の処方矛盾についても対応しています。

### 例

『テグレトール錠100mg』の添付文書（抜粋）

#### 【効能又は効果】

躁病、**躁うつ病**の躁状態、**統合失調症**の興奮状態

『テグレトール錠100mg』の適応病名「躁うつ病、統合失調症」と  
『マイスリー錠10mg』に有効性がない  
「統合失調症・躁うつ病に伴う不眠症」が矛盾

有効性未確立

『マイスリー錠10mg』の添付文書（抜粋）

#### 〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

本剤の投与は、不眠症の原疾患を確定してから行うこと。なお、**統合失調症**あるいは**躁うつ病に伴う不眠症**には本剤の有効性は期待できない。

## 禁忌項目以外の記載に対応

添付文書の【禁忌】以外の項目に記載された情報についても、漏れなくチェックを行うことが可能です。

### 例

『イナビル吸入粉末剤20mg』の添付文書（抜粋）

#### 【効能又は効果】

**A型又はB型インフルエンザウイルス感染症**の治療及びその予防

『イナビル吸入粉末剤20mg』の適応病名  
「A型又はB型インフルエンザウイルス感染症」と  
『PL配合顆粒』の禁忌病名「15歳未満のインフルエンザ」が矛盾

原則禁止

『PL配合顆粒』の添付文書（抜粋）

#### 【重要な基本的注意】

サリチル酸系製剤の使用実態は我が国と異なるものの、米国においてサリチル酸系製剤とライ症候群との関連性を示す疫学調査報告があるので、本剤を**15歳未満の水痘、インフルエンザ**の患者に投与しないことを原則とするが、やむを得ず投与する場合には、慎重に投与し、投与後の患者の状態を十分に観察すること。

## 個別指導における指摘内容に対応

処方矛盾に該当する情報の中から、各厚生（支）局から発表された指摘内容に絞り込んでチェックを行うことが可能です。

### 例

令和2年度に実施した個別指導において保険薬局に改善を求めた主な指摘事項（東北厚生支局（抜粋））

#### I 調剤全般に関する事項

##### 3. 処方内容に関する薬学的確認

処方内容について確認を適切に行っていない（処方医への疑義照会を行っているものの、その内容等を処方箋又は調剤録に記載していないものを含む。）次の例が認められたので改めること。

- ① 薬剤の処方内容より禁忌投薬が疑われるもの
  - ア 重篤な心機能不全が疑われる患者に対するロコアテープ
  - イ 重篤な腎障害が疑われる患者に対するロキソプロフェン錠60mg
  - ウ 肝代謝能低下が疑われる患者に対するアトルバスタチン錠5mg
  - エ 高カリウム血症が疑われる患者に対するスピロノラクトン錠25mg
  - オ 喘息患者に処方されたアーチスト錠 1.25mg

喘息の治療薬「フルティフォーム50エアゾール56吸入用」に対する「アーチスト錠」の処方矛盾チェック  
『フルティフォーム50エアゾール56吸入用』の添付文書（抜粋）

【効能又は効果】

**気管支喘息**

（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2刺激剤の併用が必要な場合）

『フルティフォーム50エアゾール56吸入用』の適応病名「気管支喘息」と  
『アーチスト錠1.25mg』の禁忌病名「気管支喘息」が矛盾

禁止

『アーチスト錠1.25mg』の添付文書（抜粋）

【禁忌】

**気管支喘息**、気管支痙攣のおそれのある患者〔気管支筋を収縮させることがあるので喘息症状の誘発、悪化を起こすおそれがある。〕

## 4段階のレベル分け

処方矛盾の情報を以下の4段階のレベルに区分しているため、選択したレベルの範囲でチェックを行うことが可能です。

| 高 | レベル  | 添付文書の記載表現                  |
|---|------|----------------------------|
|   | 禁止   | 禁忌、禁止、投与しない、投与を避ける など      |
|   | 原則禁止 | 原則禁忌、原則として禁止、原則として投与しない など |
|   | 相対禁止 | 有益性が危険性を上回る場合にのみ投与 など      |
|   | 希望禁止 | 投与しないことが望ましい など            |
| 低 |      |                            |

### 例

『フルツロンカプセル200』の添付文書（抜粋）

【効能・効果】

胃癌、結腸・直腸癌、乳癌、子宮頸癌、**膀胱癌**

『フルツロンカプセル200』の適応病名「膀胱癌」と  
『アクトス錠15』の禁忌病名「膀胱癌」が矛盾

相対禁止

『アクトス錠15』の添付文書（抜粋）

【重要な基本的注意】

**膀胱癌**の既往を有する患者には本剤の有効性及び危険性を十分に勘案した上で、投与の可否を慎重に判断すること。

## データベースの機能

### 処方矛盾をチェック

投与する薬品の適応病名から患者さんの疾患（病名）を推測するため、患者さんの疾患（病名）が不明の場合でも投与制限に関するチェックを行うことが可能です。

処方内容の監査や患者さんへの服薬指導にご利用いただけます。

なお、複数の適応病名をもつ薬品では、患者さんの疾患が処方矛盾に該当しない適応病名の場合もあるため、患者さんの病名について確認する必要があります。

### 例

『エブランチルカプセル15mg』の添付文書（抜粋）

【効能・効果】

1. 本態性高血圧症、腎性高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症
2. **前立腺肥大症**に伴う排尿障害
3. 神経因性膀胱に伴う排尿困難

『エブランチルカプセル15mg』の適応病名「前立腺肥大症」と  
『PL配合顆粒』の禁忌病名「前立腺肥大」が矛盾

禁止

『PL配合顆粒』の添付文書（抜粋）

【禁忌】

**前立腺肥大**等下部尿路に閉塞性疾患のある患者 [本剤中のプロメタジンメチレンジサリチル酸塩は抗コリン作用を有し、排尿困難を悪化させるおそれがある。]

## データベースの概要

添付文書に記載されている副作用に関するデータベースです。

副作用の確認や患者さんへの情報提供などにご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての副作用情報を網羅しています。

## データベースの特徴

### 副作用項目以外の記載に対応

添付文書における【副作用】以外の項目に記載されている副作用についても網羅しています。

【重大な副作用】【その他の副作用】など、添付文書の記載項目名の情報も保持しています。

#### 例

『オクソラレン錠10mg』の添付文書において、【副作用】の項目に「皮膚癌」の記載はありませんが、【重要な基本的注意】の項目に記載があるため、副作用として「皮膚癌」を表示することが可能です。

『オクソラレン錠10mg』の添付文書（抜粋）

#### 【重要な基本的注意】

PUVA療法により**皮膚癌**が発生したとの報告があるので、治療前には患者によく説明し、PUVA療法施行後は患者の皮膚の状態に注意すること。

#### 【副作用】

総症例61例中8例（13.11%）13件（21.31%）の副作用が認められた。その主なものは潮紅3件、腹痛3件であった。〔再評価終了時〕

|       | 3～5%未満 | 3%未満      | 頻度不明                  |
|-------|--------|-----------|-----------------------|
| 消化器   | 腹痛、嘔気  |           | 食欲不振、胃部不快感            |
| 皮膚    | 潮紅     |           | 腫脹、水疱、そう痒、皮膚痛、色素沈着低下症 |
| 精神神経系 | めまい    | 不眠        | 抑うつ、頭痛                |
| その他   |        | 顔面浮腫、胸内苦悶 | 肝機能障害                 |

『オクソラレン錠10mg』のデータ（概略）

| 副作用        | 記載欄      |
|------------|----------|
| <b>皮膚癌</b> | 重要な基本的注意 |

## 発現頻度や指示に対応

副作用の発現頻度や、副作用が発現した場合の指示などを取得することが可能です。

発現頻度は以下の4段階に区分し、欄外の注釈に記載されている発現頻度や指示についても保持しています。

| 高 | 発現頻度区分 | 副作用発現頻度     |
|---|--------|-------------|
|   | A      | 頻度不明        |
|   | B      | 5%以上        |
|   | C      | 0.1%以上～5%未満 |
| 低 | D      | 0.1%未満      |

### 例

『ロキソニン錠60mg』の添付文書（抜粋）

| 【その他の副作用】                |          |        |        |
|--------------------------|----------|--------|--------|
|                          | 0.1～2%未満 | 0.1%未満 | 頻度不明   |
| <b>過敏症</b> <sup>注)</sup> | 発疹、そう痒感  |        | 発熱、蕁麻疹 |

注) 投与を中止すること。

『ロキソニン錠60mg』のデータ（概略）

| 発現頻度区分 | 副作用          | 指示 |
|--------|--------------|----|
| A      | <b>過敏症</b> * | 中止 |
|        | 発熱           | 中止 |
|        | 蕁麻疹          | 中止 |
| C      | 発疹           | 中止 |
|        | そう痒感         | 中止 |

「過敏症」も副作用として扱っています。

\*発現頻度の区分は、「過敏症」の欄に含まれる個々の副作用の区分に対し、A>B>C>Dの優先順位で採択しています。

## 表記が異なる同義語に対応

異なる表現の副作用について同義語処理（シソーラス化）をしているため、検索やチェックを漏れなく行うことが可能です。

### 例

「QT延長」と「QT間隔延長」を同義語としてグループ化しているため、どちらの副作用からでも『イフェクサーSRカプセル75mg』と『ゼルボラフ錠240mg』を検索することが可能です。

『イフェクサーSRカプセル75mg』の添付文書（抜粋）

| 【重大な副作用】                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------|
| <b>QT延長</b> （0.5%）、<br>心室頻拍（torsades de pointesを含む）（頻度不明）、<br>心室細動（頻度不明） |

| 副作用  |
|------|
| QT延長 |

同義語処理

『ゼルボラフ錠240mg』の添付文書（抜粋）

| 【重大な副作用】             |
|----------------------|
| <b>QT間隔延長</b> （2.0%） |

| 副作用    |
|--------|
| QT間隔延長 |

## 豊富な検索キー

多数の検索キーを作成しているため、同義語から副作用を検索するなど、多様な入力に対応しています。

### 例

「SJS」「すていー」のどちらの検索キーからも、「Stevens-Johnson症候群」と「皮膚粘膜眼症候群」の検索をすることが可能です。

副作用のデータ（概略）

| 副作用                | 検索キー                    |
|--------------------|-------------------------|
| Stevens-Johnson症候群 | 「STEV」「すていー」「SJS」「すちーぶ」 |
| 皮膚粘膜眼症候群           | 「ひふねん」「すていー」「SJS」「ねんまく」 |

## データベースの機能

### 副作用の表示

添付文書に記載されている全ての副作用を表示することが可能であり、【重大な副作用】【その他の副作用】などの添付文書の任意の記載項目の選択や、発現頻度の設定をすることにより、絞り込んだ表示を行うことが可能です。

### 例

『リポバス錠5』と『ガスター錠10mg』の副作用について、副作用毎に該当する薬品を表示します。

『リポバス錠5』の添付文書（抜粋）

| 【その他の副作用】 |      |                    |       |
|-----------|------|--------------------|-------|
|           | 1%以上 | 1%未満               | 頻度不明  |
| 消化器       |      | ～腹部膨満感、 <b>口内炎</b> | 肺炎～   |
| その他       |      | <b>倦怠感</b> 、BUN上昇～ | 心悸亢進～ |

『ガスター錠10mg』の添付文書（抜粋）

| 【その他の副作用】 |          |                   |                       |
|-----------|----------|-------------------|-----------------------|
|           | 0.1～5%未満 | 0.1%未満            | 頻度不明                  |
| 消化器       | 便秘       | ～食欲不振、 <b>口内炎</b> |                       |
| 循環器       |          | 血圧上昇、顔面潮紅、耳鳴      | 徐脈、 <b>頻脈</b> 、房室ブロック |

表示例

|                |                  |    |
|----------------|------------------|----|
| 【 <b>倦怠感</b> 】 | リポバス錠5           |    |
| 【 <b>口内炎</b> 】 | リポバス錠5、ガスター錠10mg |    |
| 【 <b>頻脈</b> 】  | ガスター錠10mg        | など |

## 副作用からの薬品検索

任意の副作用が添付文書に記載されている薬品を検索することが可能です。

### 例

添付文書に「横紋筋融解症」の副作用が記載されている『リポバス錠5』などを検索することが可能です。

『リポバス錠5』の添付文書（抜粋）

#### 【重大な副作用】

**横紋筋融解症**、ミオパチー（いずれも頻度不明）  
筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇を特徴とする横紋筋融解症があらわれ、これに伴って急性腎障害等の重篤な腎障害があらわれることがある。

薬品検索の結果例

ロナセン錠2mg  
クレストールOD錠2.5mg  
**リポバス錠5**  
ファムビル錠250mg など



## データベースの概要

添付文書に記載されている副作用の情報をカテゴリ別に分類したデータベースです。

副作用の確認や服薬指導の際の参考情報としてご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての副作用情報を網羅しています。

## データベースの特徴

### 副作用をカテゴリに分類

副作用を以下のカテゴリに分類しているため、状況に応じたカテゴリの選択により、該当する副作用のみを表示することが可能です。

| 分類名                                      |
|------------------------------------------|
| 患者だけがわかる副作用                              |
| 患者の家族（周囲の人）でなければわからない副作用                 |
| 敏感な患者又は患者の家族でなければわからない副作用                |
| 検査してみなければわからない副作用                        |
| 患者の愁訴と検査・診断で発現がわかる副作用                    |
| 投与時・処置時に発現する副作用                          |
| 患者からの愁訴がない場合が多いので、投与に際しては発現に注意する必要がある副作用 |
| 緊急事態に備えておく必要がある副作用                       |
| 死亡例（仔を含む）                                |
| その他で患者に告知しておく必要がある副作用                    |
| 男女共通の生殖障害                                |
| 女性の生殖障害                                  |
| 男性の生殖障害                                  |
| 前臨床試験（動物実験）、表示しない副作用                     |
| 胎児（仔）、新生児（仔）への副作用（催奇性を含む）                |
| 患者や家族に通常わからない副作用                         |

### 例

『ロキソニン錠60mg』の添付文書（抜粋）

#### 【重大な副作用】

劇症肝炎（頻度不明）、肝機能障害（頻度不明）、黄疸（頻度不明）：**肝機能障害（黄疸、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇等）、劇症肝炎**があらわれることがある。



『ロキソニン錠60mg』のデータ（概略）

| 分類名                       | 副作用                        |
|---------------------------|----------------------------|
| 敏感な患者又は患者の家族でなければわからない副作用 | <b>黄疸</b>                  |
| 検査してみなければわからない副作用         | <b>AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇</b> |
| 患者の愁訴と検査・診断で発現がわかる副作用     | <b>肝機能障害</b>               |
| 緊急事態に備えておく必要がある副作用        | <b>劇症肝炎</b>                |

## データベースの機能

### 副作用の絞り込みに対応

任意のカテゴリを指定して該当の副作用のみに絞り込むことが可能なため、服薬指導の際の参考情報などとしてご利用いただけます。

#### 例

『ロキソニン錠60mg』のデータ（概略）

| 分類名                       | 副作用                 |
|---------------------------|---------------------|
| 敏感な患者又は患者の家族でなければわからない副作用 | 黄疸                  |
| 検査してみなければわからない副作用         | AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇 |
| 患者の愁訴と検査・診断で発現がわかる副作用     | 肝機能障害               |
| 緊急事態に備えておく必要がある副作用        | 劇症肝炎                |



| 分類名                       | 副作用   |
|---------------------------|-------|
| 敏感な患者又は患者の家族でなければわからない副作用 | 黄疸    |
| 患者の愁訴と検査・診断で発現がわかる副作用     | 肝機能障害 |

## データベースの概要

添付文書に記載されている副作用の初期症状に関するデータベースです。

副作用の早期発見などのためにご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての副作用情報を網羅しています。

## データベースの特徴

### 副作用の初期症状を分類

副作用毎に初期症状を登録し、その初期症状を「自覚症状」、「他覚症状」、「他覚症状」に分類しています。

【重大な副作用】【その他の副作用】など、添付文書の記載項目名の情報も保持しています。

#### 例

『イノベロン錠200mg』の添付文書（抜粋）

##### 【重大な副作用】

皮膚粘膜眼症候群（**Stevens-Johnson症候群**）（頻度不明）発熱、眼充血、紅斑、水疱・びらん、咽頭痛等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

「Stevens-Johnson症候群」のデータ（概略）

|                          |
|--------------------------|
| Stevens-Johnson症候群       |
| ステイブンス・ジョンソン症候群          |
| 皮膚粘膜眼症候群                 |
| Stevens-Johnson Syndrome |
| 自 関節の痛み                  |
| 自 頭痛                     |
| 自 食欲がない                  |
| 自 だるい                    |
| 自 のどの痛み                  |
| 自 尿をする時の痛み               |
| 自 口の中や結膜などの粘膜の痛み         |
| 自 便をする時の痛み               |
| 他 全身の皮膚が赤く腫れて湿疹ができる      |
| 他 水ぶくれができる               |
| 他 口の中や結膜などの粘膜のただれ        |
| 他 眼の充血                   |
| 他 眼やにが出る                 |
| 他 まぶたの腫れ                 |
| 他 唇のただれ                  |
| 他 皮膚がはがれる                |
| 他 眼が開けづらい                |
| 他 38℃以上の熱がでる             |
| 他 陰部のただれ                 |

自覚症状

他覚症状

『ザラス配合錠LD』の添付文書（抜粋）

##### 【重大な副作用】

**横紋筋融解症**（頻度不明）筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇等があらわれた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。横紋筋融解症による急性腎障害の発症に注意すること。

「横紋筋融解症」のデータ（概略）

|             |
|-------------|
| 横紋筋融解症      |
| 横紋筋融解       |
| 自 だるい       |
| 自 手足のしびれ    |
| 自 筋肉痛       |
| 自 手足の痛み     |
| 自 腰痛        |
| 自 肩の痛み      |
| 他 赤褐色の尿が出る  |
| 他 手足に力が入らない |
| 他 筋肉がこわばる   |
| 他 手足の腫れ     |

自覚症状

他覚症状

『トリーメク配合錠』の添付文書（抜粋）

##### 【重大な副作用】

ニューロパチー（頻度不明）、**錯乱状態**（1%未満）、痙攣（頻度不明）

「錯乱状態」のデータ（概略）

|                   |
|-------------------|
| 錯乱                |
| 錯乱状態              |
| 錯乱様               |
| 精神錯乱              |
| 錯乱増強              |
| 可逆性の錯乱状態          |
| 可逆性錯乱状態           |
| 重度錯乱              |
| 他 意識が乱れ正常な思考ができない |

他覚症状

## データベースの機能

### 初期症状から副作用を推測

副作用の初期症状を「自覚症状」、「自他覚症状」、「他覚症状」に分類しているため、服薬指導を行う相手に応じた確認を行うことが可能です。

また、初期症状から副作用の早期発見や原因となる薬品を特定することが可能です。

#### 例

『リスパダールOD錠1mg』の添付文書（抜粋）

##### 【重大な副作用】

**低血糖**（頻度不明）：脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等の低血糖症状が認められた場合には、投与を中止し適切な処置を行うこと。

『低血糖』のデータ（概略）

| 低血糖 |                |
|-----|----------------|
| 自   | 頭痛             |
| 自   | だるい            |
| 自   | 動悸がする          |
| 自   | 寒気がする          |
| 自   | 冷や汗が出る         |
| 自   | 気分が悪くなる        |
| 自   | 立ちくらみがする       |
| 自   | 全身の力が抜ける感じがする  |
| 自   | 強い空腹感がある       |
| 自   | 眼がちらつく         |
| 自他  | ふらつく           |
| 自他  | 気が遠くなる         |
| 自他  | 手の震え           |
| 自他  | 汗の量が増える        |
| 自他  | 体の震え           |
| 自他  | ふらつきが回らない      |
| 自他  | うとうとする         |
| 自他  | 脈が速くなる         |
| 自他  | 痙攣する           |
| 自他  | 吐き気・嘔吐         |
| 他   | 意識を失う          |
| 他   | 何を言っているのかわからない |

患者さん本人に確認する症状

患者さん本人・患者さんの家族に確認する症状

患者さんの家族に確認する症状

## データベースの概要

添付文書に記載されている全ての副作用のうち、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）から発表された「重篤副作用疾患別対応マニュアル」に記載されている副作用および同義的副作用の初期症状に関するデータベースです。

重篤な副作用の早期発見や、重篤副作用疾患別対応マニュアルのPDFを表示して詳しい対応方法や症例などを確認することも可能です。

また、「初期症状」と「分類」については、英語にも対応しています。

## データベースの特徴

### 副作用情報の絞り込みに対応

添付文書に多くの副作用が記載された薬品の場合でも、本データベースでは「重篤副作用疾患別対応マニュアル」に記載された重篤な副作用のみを対象としています。

更に、1つの副作用に対して最大で5つの初期症状に絞り込むことで適切な情報量を表示することが可能です。

#### 例

『ラパリムス錠1mg』の添付文書（抜粋）

【重大な副作用】

**アナフィラキシー**（頻度不明）：アナフィラキシー、血管浮腫、過敏性血管炎等の過敏症反応があらわれることがある。

重篤副作用疾患別対応マニュアルに記載された初期症状（抜粋）

**アナフィラキシー**：「皮ふの赤み」「じんま疹」「のどのかゆみ」「吐き気」「くしゃみ」「せき」「ぜーぜー」「声のかすれ」「息苦しさ」「どうき」「ふらつき」など

副作用に対する初期症状のデータ（概略）

| 副作用             | 初期症状                                      |
|-----------------|-------------------------------------------|
| <b>アナフィラキシー</b> | 息苦しい、湿疹や蕁麻疹（じんましん）ができる、吐き気や嘔吐（おうと）がある、かゆみ |

## 英語に対応

「初期症状」および「分類」については英語にも対応しており、英語版の内容と日本語版の内容が1：1となっているため、患者さんへの情報を確認した上でご利用いただけます。

## 初期症状のグループ化に対応

初期症状を、「全身」「皮膚・粘膜」「痛み」「心臓・呼吸」「消化・排泄」「意識・感覚」「運動・行動」に分類しているため、類似の初期症状毎にまとめた表示が可能です。

### 例

初期症状の分類のデータ（概略）

日本語版表示例

| 分類    | 副作用初期症状                     |
|-------|-----------------------------|
| 全身    | 熱がでる                        |
|       | だるい                         |
| 皮膚・粘膜 | かゆみ                         |
|       | 湿疹や蕁麻疹（じんましん）ができる           |
| 痛み    | 頭痛                          |
|       | 腹痛                          |
| 心臓・呼吸 | 息苦しい                        |
|       | 動悸や息切れがする                   |
| 消化・排泄 | 吐き気や嘔吐（おうと）がある              |
|       | 激しい下痢をしたり、下痢が続いたりする         |
| 意識・感覚 | 耳鳴りがする                      |
|       | 手足のしびれ                      |
| 運動・行動 | ろれつが回らない                    |
|       | 口をモグモグ動かしたり、唇や舌などが勝手に動いてしまう |



英語版表示例

| Category                   | Adverse reactions initial symptom                   |
|----------------------------|-----------------------------------------------------|
| General                    | to develop fever                                    |
|                            | to feel heavy                                       |
| Cutaneous/mucosal          | itching                                             |
|                            | to have eczema or hives                             |
| Pain                       | headache                                            |
|                            | stomachache                                         |
| Cardiac/respiratory        | stifle                                              |
|                            | to have a palpitation or to be out of breath        |
| Gastrointestinal/excretion | to have nausea or vomiting                          |
|                            | to have severe or persistent diarrhea               |
| Consciousness/sensory      | to have tinnitus                                    |
|                            | numbness in a limb                                  |
| Motor/behavioral           | slur words                                          |
|                            | to mumble, or to move lips and tongue spontaneously |

## データベースの機能

### 初期症状から副作用の被疑薬を推測

患者さんから聞き取った初期症状から副作用検索を行い、更にその副作用から原因の薬品を検索することが可能です。

#### 例

問診副作用のデータ（概略）

初期症状

|                   |
|-------------------|
| 熱がでる              |
| 全身の皮膚が赤く腫れて湿疹ができる |
| 唇や口の中がただれる        |
| 眼の充血              |

副作用

|                    |
|--------------------|
| Stevens-Johnson症候群 |
|--------------------|

薬品

|              |
|--------------|
| イーケブラ錠500mg  |
| シングレアOD錠10mg |

筋肉痛

|          |
|----------|
| だるい      |
| 力が入らない   |
| 赤褐色の尿がでる |

横紋筋融解症

|            |
|------------|
| イルトラ配合錠LD  |
| エクメット配合錠LD |

### 副作用初期症状の表示

1つの副作用に対して最大で5つの初期症状に絞り込んでいるので、処方薬において複数の副作用がある場合でも、該当する初期症状を適切な情報量で表示することが可能です。また、薬剤情報提供書などにご利用いただくことも可能です。

#### 例

各副作用に対する初期症状のデータ（概略）

日本語版表示例

| 副作用        | 初期症状                              |
|------------|-----------------------------------|
| ギラン・バレー症候群 | 手足のしびれ、力が入らない、物を飲み込みづらい           |
| ネフローゼ症候群   | 顔や手足など体がむくむ、食欲がない、だるい、尿が泡立つ       |
| 急性呼吸窮迫症候群  | 息苦しい、呼吸がはよくなる、動悸や息切れがする、咳がでる、痰がでる |

英語版表示例

| Adverse reactions initial symptom                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| numbness in a limb/not to have physical strength/hard to swallow foods                                |
| face, hands and feet are swollen/to have no appetite/to feel heavy/urine foams                        |
| stifle/to breath faster/to have a palpitation or to be out of breath/having a cough/to produce sputum |

## 「重篤副作用疾患別対応マニュアル」の表示

添付文書に記載の重大な副作用に対して「重篤副作用疾患別対応マニュアル」の副作用疾患名を関連付けており、該当する医療関係者向けマニュアル、患者・一般の方向けのマニュアルを参照することが可能です。

### 例

問診副作用のデータ（概略）

初期症状

|                   |
|-------------------|
| 熱がでる              |
| 全身の皮膚が赤く腫れて湿疹ができる |
| 唇や口の中がただれる        |
| 眼の充血              |

副作用

Stevens-Johnson  
症候群

薬品

ザルティア錠 5mg  
イナビル吸入粉末剤 20mg

重篤副作用疾患別対応マニュアル（医療関係者向け）

## 重篤副作用疾患別対応マニュアル

スティーヴンス・ジョンソン  
（皮膚粘膜眼症候群）

### B. 医療関係者の皆様へ

#### 1. 早期発見と早期対応のポイント

(1) 早期に認められる症状  
医薬品服用後の発熱（38℃以上）、眼の充血、眼脂（眼分泌物）、まぶたの腫れ、目が開けづらい、口唇や陰部のびらん、咽頭痛、紅斑

医療関係者は、上記症状のいずれかが認められ、その症状の持続や急激な悪化を認めた場合には早急に入院設備のある皮膚科の専門機関に紹介する。

重篤副作用疾患別対応マニュアル（患者・一般の方向け）

## スティーヴンス・ジョンソン症候群

英語名：Stevens-Johnson syndrome (SJS)  
同義語：皮膚粘膜眼症候群

### A. 患者の皆様へ



ここでご紹介している副作用は、まれなもので、必ず起

#### 1. スティーヴンス・ジョンソン症候群とは？

スティーヴンス・ジョンソン症候群とは、高熱（38℃以上）を伴って、発疹・発赤、やけどのような水ぶくれなどの激しい症状が、比較的短期間に全身の皮ふ、口、目の粘膜にあらわれる病態です。その多くは医薬品が原因と考えられていますが、マイコプラズマや一部のウイルスの感染にともない発症することも知られています。



## データベースの概要

医療用医薬品に対してアレルギーのある患者さんへの投与制限に関するデータベースです。  
 処方薬とのアレルギーチェックを行うことが可能です。

## データベースの特徴

アレルギーを起こす代表的な成分の系統を対象とし、該当する薬品を分類しています。

| アレルギーの原因となる成分分類      |                        |
|----------------------|------------------------|
| ヨウ素系                 | マクロライド系                |
| 非ステロイド系抗炎症薬 (NSAIDs) | リンコマイシン系               |
| ピリン (ピラゾロン) 系        | テトラサイクリン系              |
| 局所麻酔薬                | グリコペプチド系               |
| ペニシリン系               | キノロン系                  |
| セフェム系                | サルファ剤                  |
| カルバペネム系              | ワクチン・トキソイド             |
| ペネム系                 | ガドリニウム (Gd) 系造影剤       |
| モノバクタム系              | アンジオテンシン変換酵素 (ACE) 阻害薬 |
| アミノグリコシド系            |                        |

## データベースの機能

### 医薬品アレルギーと処方薬のチェック

#### 成分分類からのアレルギーチェック

問診などにより得られた医薬品アレルギー情報について、「アレルギーの原因となる成分分類」を予め登録しておくことで、処方薬のアレルギーチェックを行うことが可能です。

#### 例

患者情報として予め「ピリン (ピラゾロン) 系」のアレルギー歴を登録しておく、ピリン (ピラゾロン) 系の成分である「イソプロピルアンチピリン」を含有する薬品『S G 配合顆粒』が処方された場合に、チェックがかかります。

患者さんのアレルギー歴として  
「ピリン (ピラゾロン) 系」を登録



『S G 配合顆粒』の有効成分

**イソプロピルアンチピリン**  
 アセトアミノフェン  
 アリルイソプロピルアセチル尿素  
 無水カフェイン



アレルギー歴がある旨のチェックが可能です。

## ■ 薬品名からのアレルギーチェック

問診などにより得られた医薬品アレルギー情報について、原因となった薬品名を登録しておくことで、「アレルギーの原因となる成分分類」が同じ薬品が処方された場合に、アレルギーチェックを行うことが可能です。

### 例

患者情報として予め『ユナシン錠375mg』のアレルギー歴を登録しておくこと、同じペニシリン系の成分である「アモキシシリン水和物」を含有する薬品『ボノピオンパック』が処方された場合に、チェックがかかります。

患者さんのアレルギー歴として  
『ユナシン錠375mg』を登録  
(ペニシリン系の薬品)

『ボノピオンパック』の有効成分

ボノプラザンフマル酸塩  
**アモキシシリン水和物**  
メトロニダゾール

アレルギー歴がある旨のチェックが可能です。

## ■ 同じ「アレルギーの原因となる成分分類」に属する薬品の検索

アレルギーを起こした薬品名から、同じ「アレルギーの原因となる成分分類」に分類される薬品を検索することが可能です。

### 例

『ペングッド錠250mg』と同じ「ペニシリン系」に分類される薬品を検索します。

アレルギーを起こした薬品として  
『ペングッド錠250mg』を登録

「ペニシリン系」のデータ (概略)

| 成分分類   | 商品名             |
|--------|-----------------|
| ペニシリン系 | ユナシン錠375mg      |
|        | サワシリンカプセル250    |
|        | ビクシリンドライシロップ10% |
|        | ボノサップパック400 など  |

## データベースの概要

飲食物に対してアレルギーのある患者さんへの投与制限に関するデータベースです。

処方薬とのアレルギーチェックを行うことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている飲食物に関する全てのアレルギー情報を網羅しています。

## データベースの特徴

### 6段階のレベル分け

添付文書の飲食物アレルギーの情報を以下の6段階のレベルに区分しているため、選択したレベルの範囲でチェックを行うことが可能です。

| レベル  | 添付文書の記載表現                  |
|------|----------------------------|
| 高    |                            |
| 禁止   | 禁忌、禁止、投与しない、投与を避ける など      |
| 原則禁止 | 原則禁忌、原則として禁止、原則として投与しない など |
| 相対禁止 | 有益性が危険性を上回る場合にのみ投与 など      |
| 希望禁止 | 投与しないことが望ましい など            |
| 慎重投与 | 慎重に投与する など                 |
| 注意   | 注意、留意 など                   |
| 低    |                            |

## データベースの機能

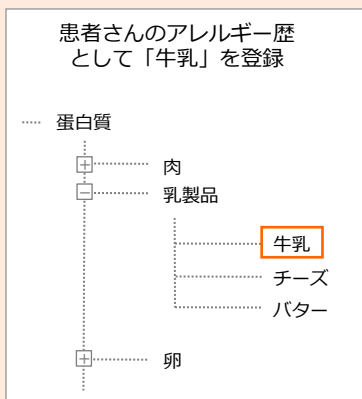
### 飲食物アレルギーと処方薬のチェック

問診などにより得られた飲食物アレルギー情報を予め登録しておくことで、該当するアレルギーをもつ飲食物原料から製造されている薬品が処方された場合に、アレルギーチェックを行うことが可能です。

#### 例

患者情報として予め「牛乳」のアレルギー歴を登録しておく、

『エネーボ配合経腸用液』が処方された場合に、「禁止」のチェックがかかります。



『エネーボ配合経腸用液』の添付文書（抜粋）

#### 【禁忌】

牛乳タンパクアレルギーを有する患者〔本剤には牛乳由来のタンパク質が含まれているため、ショック、アナフィラキシーを引き起こすことがある。〕

禁止



## データベースの概要

患者属性に対する注意情報に関するデータベースです。

患者属性に応じた投与制限のチェックや患者さんへの服薬指導にご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての小児・高齢者・妊婦・授乳婦・性別に対する注意喚起の情報を網羅しています。

## データベースの特徴

### 6段階のレベル分け

添付文書の小児・高齢者・妊婦・授乳婦・性別に対する注意喚起の情報を以下の6段階のレベルに区分しているため、選択したレベルの範囲でチェックを行うことが可能です。

| 高 | レベル  | 添付文書の記載表現                  |
|---|------|----------------------------|
|   | 禁止   | 禁忌、禁止、投与しない、投与を避ける など      |
|   | 原則禁止 | 原則禁忌、原則として禁止、原則として投与しない など |
|   | 相対禁止 | 有益性が危険性を上回る場合にのみ投与 など      |
|   | 希望禁止 | 投与しないことが望ましい など            |
|   | 慎重投与 | 慎重投与、慎重に投与する など            |
|   | 注意   | 注意、留意 など                   |
| 低 |      |                            |

### 詳細な年齢区分に対応

添付文書に細かい年齢区分の記載がある場合に、患者さんの該当年齢に応じたチェックを行うことが可能です。

#### 例

「12歳未満の小児」「12歳以上の小児」「18歳未満の肥満」などの年齢に該当する患者さんに『 ترامセット配合錠 』が処方された場合に、該当するレベルでのチェックがかかります。

『 ترامセット配合錠 』の添付文書（抜粋）

【禁忌】  
**12歳未満の小児**

『 ترامセット配合錠 』のデータ（概略）

| レベル | 患者属性             |
|-----|------------------|
| 禁止  | 12歳未満の小児 (0～11歳) |

禁止

【合併症・既往歴等のある患者】  
**18歳未満の肥満、閉塞性睡眠時無呼吸症候群又は重篤な肺疾患を有する患者**  
投与しないこと。重篤な呼吸抑制のリスクが増加するおそれがある。

| レベル | 患者属性                                                   |
|-----|--------------------------------------------------------|
| 禁止  | 18歳未満の肥満<br>18歳未満の閉塞性睡眠時無呼吸症候群<br>18歳未満の重篤な肺疾患 (0～17歳) |

禁止

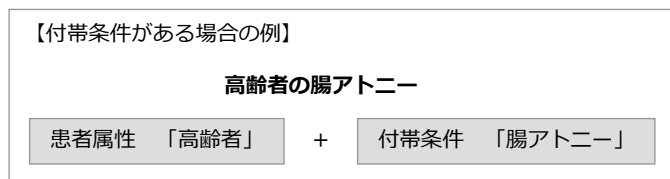
【小児等】  
**12歳以上の小児**  
12歳以上の小児に対する有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していない。

| レベル | 患者属性              |
|-----|-------------------|
| 注意  | 12歳以上の小児 (12～14歳) |

注意

## 付帯条件のある患者属性に対応

小児、妊婦、高齢者などの「患者属性」に疾患などの「付帯条件」がある場合、投与制限の対象は付帯条件をもつ場合に限られます。このような付帯条件の有無を区別してチェックを行うことが可能です。



### 例

全ての高齢者が禁忌の対象である『ジベトス錠50mg』の場合と、「腸アトニー」の高齢者のみが禁忌の対象である『ポラキス錠1』の場合を区別してチェックを行うことが可能です。

『ジベトス錠50mg』の添付文書（抜粋）

【禁忌】  
次に示す状態の患者[乳酸アシドーシスを起こしやすい。]  
**高齢者**

『ジベトス錠50mg』のデータ（概略）

| レベル | 患者属性 |
|-----|------|
| 禁止  | 高齢者  |

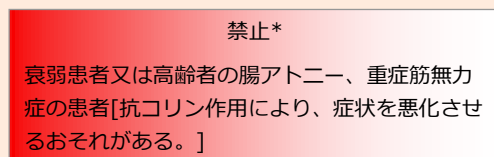


『ポラキス錠1』の添付文書（抜粋）

【禁忌】  
衰弱患者又は**高齢者の腸アトニー**、重症筋無力症の患者[抗コリン作用により、症状を悪化させるおそれがある。]

『ポラキス錠1』のデータ（概略）

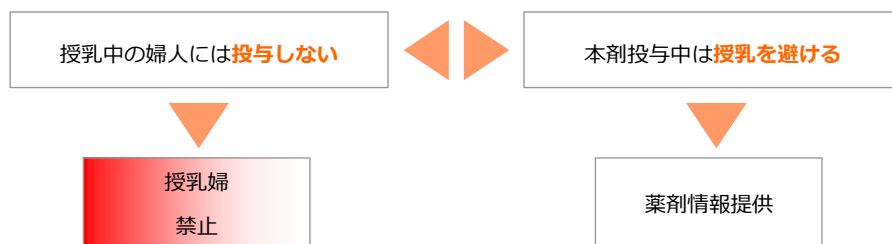
| レベル | 患者属性      |
|-----|-----------|
| 禁止  | 高齢者の腸アトニー |



\*全ての高齢者が対象ではない場合、チェック結果の「禁止」の表示とともに添付文書の該当箇所の情報が表示されるため、投与適否の判断が可能です。

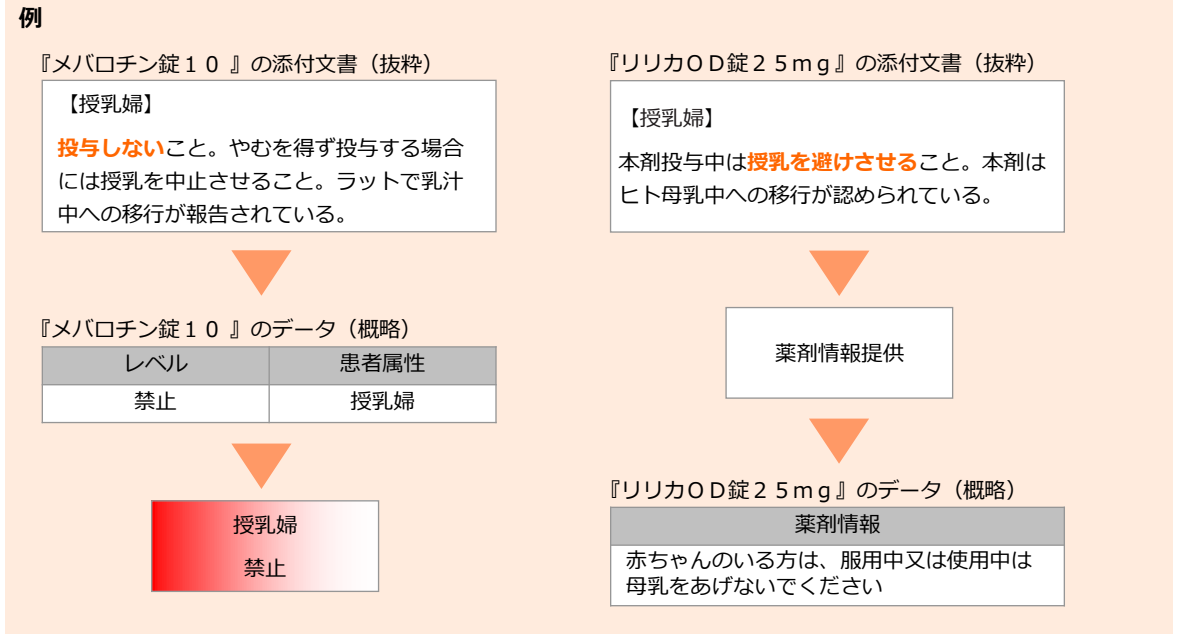
## 異なる患者属性の記載に対応

添付文書における授乳婦に対する注意喚起の記載は、以下の2種類に大別されます。



「授乳中の婦人には投与しない」は“授乳婦への投与は禁止”である旨の記載ですが、「本剤の服用中は授乳を避ける」は“授乳婦への投与は可能であるが授乳を禁止”する旨の記載であり、意味が異なるため、これらの情報を区別しています。

※いずれの記載においてもチェックを行うことが可能です。

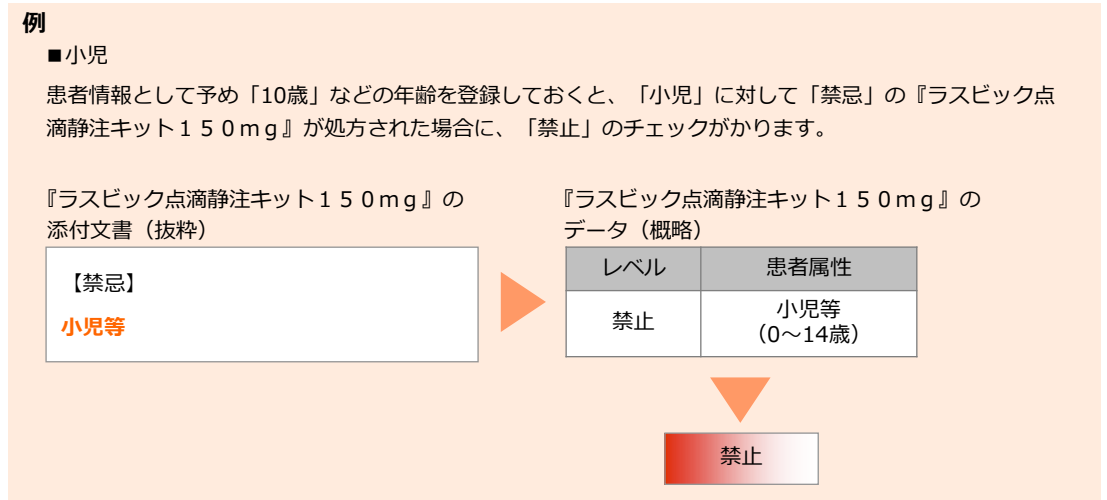


## データベースの機能

### 患者属性とのチェックによる注意喚起

#### 小児・高齢者・妊婦・授乳婦・性別とのチェック

患者属性として年齢・妊婦・授乳婦・性別を登録しておくことで、処方薬に対する注意喚起情報の確認を行うことが可能です。



例

■ 妊婦

患者情報として予め「妊婦」を登録しておく、「妊婦」に対し「禁忌」の『ユニシア配合錠LD』が処方された場合に、「禁止」のチェックがかかります。

『ユニシア配合錠LD』の添付文書（抜粋）

【禁忌】  
妊婦又は妊娠している可能性のある女性

『ユニシア配合錠LD』のデータ（概略）

| レベル | 患者属性 |
|-----|------|
| 禁止  | 妊婦   |

禁止

例

■ 女性

患者情報として予め「性別」を登録しておく、「女性」に対し「注意」の『レベトールカプセル200mg』が処方された場合に、「注意」のチェックがかかります。

『レベトールカプセル200mg』の添付文書（抜粋）

【特定の背景を有する患者に関する注意】  
合併症・既往歴等のある患者  
〈ペグインターフェロン アルファ-2b（遺伝子組換え）との併用の場合〉  
投与開始前のヘモグロビン濃度が14g/dL未満、好中球数が2,000/mm<sup>3</sup>未満、  
あるいは血小板数120,000/mm<sup>3</sup>未満の患者及び女性

『レベトールカプセル200mg』のデータ（概略）

| レベル | 患者属性 |
|-----|------|
| 注意  | 女    |

注意



## データベースの概要

薬品の使用時に注意が必要な職業や作業に関するデータベースです。

注意喚起のためのチェックや患者さんへの情報提供にご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての職業・作業に対する注意喚起の情報を網羅しています。

## データベースの特徴

添付文書に様々な表現で記載されている職業や作業に対する注意情報を、次のグループに分類しています。

| 分類名             |
|-----------------|
| 危険を伴う作業         |
| 高温環境下での作業       |
| 創傷を受けやすい作業      |
| 激しい運動や重労働       |
| 薬が効いている間の作業     |
| 夜間休息が必要な仕事      |
| 水銀化合物を取り扱う作業    |
| 有機リン系殺虫剤を取り扱う作業 |
| 声を使う仕事          |
| 太陽光や強い光を受ける作業   |

## データベースの機能

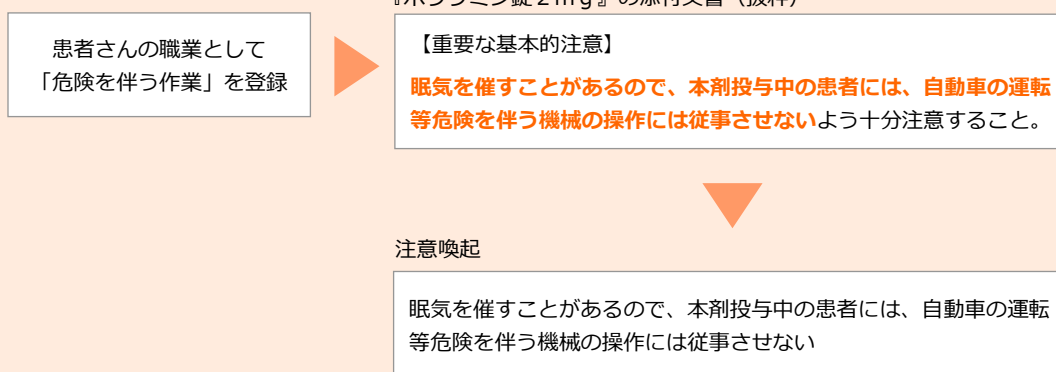
### 職業・作業に対する注意喚起のためのチェックおよび情報提供

問診などにより得られた職業や頻繁に行う作業の情報を予め登録しておくことで、注意を要する薬品が処方された場合にチェックを行うことが可能です。

また、服薬指導の際の参考情報として、該当する添付文書に記載された注意情報を薬品毎に表示することが可能です。

#### 例

患者情報として予め「危険を伴う作業」を登録しておくこと、『ポララミン錠 2 mg』が処方された場合に、注意喚起の情報を表示します。





## データベースの概要

せん妄の「副作用」のある薬品、診療報酬における「せん妄ハイリスク患者ケア加算」においてリスク薬とされているベンゾジアゼピン系薬、および厚生労働省から発表された「高齢者の医薬品適正使用の指針」において、せん妄のリスクのある薬に指定されている薬品を分類したデータベースです。

せん妄を起こす恐れのある薬品を商品名毎に判別することが可能です。

本データベースは、医療用医薬品マスタ収載の全ての薬品を網羅しています。

※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

### せん妄の判別に対応

「せん妄ハイリスク患者ケア加算」においてリスク薬の例として明記されている「ベンゾジアゼピン系薬」に該当する薬品、「高齢者の医薬品適正使用の指針」において原因薬剤に該当する薬品をフラグで保持しています。

また、添付文書でせん妄の副作用が報告されている薬品の情報も保持しており、それぞれの情報からせん妄のリスクのある薬品についてご確認いただけます。

副作用データベースとあわせてご利用いただくことで、添付文書に記載された副作用名、発現頻度、記載項目の情報を取得することが可能です。

### 例

せん妄リスク薬候補薬剤のデータ（概略）

| 個別医薬品コード     | 商品名           | せん妄副作用 | ベンゾジアゼピン系 | 適正使用指針 | 投与経路区分 | 副作用 | 頻度   | 記載項目   |
|--------------|---------------|--------|-----------|--------|--------|-----|------|--------|
| 1179025F1026 | デパス錠0.5mg     | あり     | 該当        | 掲載     | 内服薬    | せん妄 | 頻度不明 | 重大な副作用 |
| 1190700S1029 | イクセロンパッチ4.5mg | あり     | 非該当       | 非掲載    | 外用薬    | せん妄 | 頻度不明 | 重大な副作用 |
| 2123011F2437 | テノミン錠50       | なし     | 非該当       | 掲載     | 内服薬    | -   | -    | -      |

### <参考>

診療報酬における「せん妄ハイリスク患者ケア加算」（抜粋）

**せん妄ハイリスク患者ケア加算に係るチェックリスト**

(患者氏名) \_\_\_\_\_ 殿

入院日 : 令和 年 月 日  
リスク因子確認日: 令和 年 月 日  
せん妄対策実施日: 令和 年 月 日

1. せん妄のリスク因子の確認  
(該当するものにチェック)

70歳以上

脳器質的障害

認知症

アルコール多飲

せん妄の既往

リスクとなる薬剤（特にベンゾジアゼピン系薬剤）の使用

全身麻酔を要する手術後又はその予定があること

厚生労働省から発表された「高齢者の医薬品適正使用の指針」（抜粋）

**表1 薬剤起因性老年症候群と主な原因薬剤**

| 症候  | 薬剤                                                                                                                                         |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| せん妄 | パーキンソン病治療薬、睡眠薬、抗不安薬、抗うつ薬（三環系）、抗ヒスタミン薬（H <sub>2</sub> 受容体拮抗薬含む）、降圧薬（中枢性降圧薬、β遮断薬）、ジギタリス、抗不整脈薬（リドカイン、メキシレチン）、気管支拡張薬（テオフィリン、アミノフィリン）、副腎皮質ステロイド |

## データベースの機能

### 診療報酬において「せん妄ハイリスク患者ケア加算の算定対象」となるベンゾジアゼピン系薬の判別

ベンゾジアゼピン系薬を商品名毎に判別し、更に各薬品の副作用の有無情報を保持しているため、入院患者様のせん妄リスク因子の確認にご利用いただくことが可能です。

### 高齢者適正使用における服薬フォローおよび副作用確認

せん妄リスクのある薬品を判別できるため、調剤薬局における服薬フォロー、入院時の転倒リスク軽減、介護における注意喚起などにご利用いただくことが可能です。

## データベースの概要

効能・効果、副作用、使用上の注意、相互作用などに関する情報を、患者さんが理解しやすい表現を用いて作成したデータベースです。

薬剤情報提供書やお薬手帳などの患者さんへの情報提供にご利用いただくことが可能で、英語にも対応しています。

## データベースの特徴

### 英語に対応

効能・効果、重篤副作用初期症状、使用上の注意（適用上の注意、保管上の注意、妊娠・授乳に関する注意、職業に関する注意、医療用医薬品相互作用、飲食物相互作用）、使用タイミングなどに関する情報は、英語にも対応しています。

それぞれ英語版の内容と日本語版の内容が1：1となっているため、患者さんへの情報を確認した上でご提供いただくことが可能です。

### 効能・効果（日本語版／英語版）

添付文書の【効能・効果】【薬効薬理】やその他の文献を参考に、それぞれの薬品の効能・効果について、患者さんが理解しやすい表現を用いて説明文を作成しています。「効果」と「作用」の文章を、状況により組み合わせてご利用いただくことが可能です。

#### 例

『ゼチーア錠 10mg』の添付文書（抜粋）

##### 【効能又は効果】

高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症、ホモ接合体性シトステロール血症

##### 【薬効薬理】

エゼチミブは食事性及び胆汁性コレステロールの吸収を阻害する。エゼチミブの作用部位は小腸であり、ハムスター等を用いた動物試験において、小腸でのコレステロールの吸収を選択的に阻害し、その結果、肝臓のコレステロール含量を低下させ、血中コレステロールを低下させた。

#### 日本語版表示例

|    |                                               |
|----|-----------------------------------------------|
| 効果 | 脂質異常症を治療するお薬です。                               |
| 作用 | 小腸からのコレステロールの吸収をおさえ、血液中のコレステロールの量を減らす働きがあります。 |

#### 英語版表示例

|            |                                                                                             |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| indication | This is a medicine to treat hyperlipidemia.                                                 |
| effect     | It blocks cholesterol absorbed from the small intestine, and lowers its level in the blood. |

患者さんに伝える情報として慎重に検討すべき抗がん剤などに関しては、直接的ではない説明文もあわせて作成しています。

#### 例

##### 日本語版表示例

あなたの病気や症状に合わせて処方されたお薬です。

##### 英語版表示例

This is an individualized prescription for your disease/symptom.

## 副作用

添付文書の膨大な副作用情報の中から、頻度の高い副作用や薬品に特徴的な副作用を抽出しています。  
なお、症状を自覚しにくい副作用や検査値の変化は除外しています。

### 例

自覚しやすい副作用や頻度の高い副作用を抜粋して表示することが可能です。

『レキップC R錠8mg』の添付文書（抜粋）

11. 副作用  
次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用  
11.1.1 幻覚（13.7%）、妄想、興奮、錯乱（いずれも頻度不明）、譫妄（0.6%）  
幻覚、妄想、興奮、錯乱、譫妄等の精神症状があらわれることがある。[10.2参照]

11.2 その他の副作用

|       | 5%以上      | 5%未満       | 頻度不明                                        |
|-------|-----------|------------|---------------------------------------------|
| * 過敏症 |           | 発疹、痒痒      | 蕁麻疹、血管性浮腫等                                  |
| * 精神系 |           | リビドー亢進     | 病的賭博、強迫性購買、暴食、攻撃性、躁状態                       |
| 神経系   | 傾眠、ジスキネジア | めまい        | 失神                                          |
| 血管障害  |           | 起立性低血圧     | 低血圧                                         |
| 胃腸障害  | 悪心、便秘     | 腹痛、嘔吐、消化不良 |                                             |
| その他   |           | 末梢性浮腫      | 薬剤離脱症候群 <sup>①</sup> （無感情、不安、うつ、疲労感、発汗、疼痛等） |

表示例

やたらに体を動かす、顔をしかめる、幻覚、吐き気・嘔吐、便秘、歩きづらくなる、眠くなるなどの症状が現れることがあります。

## 重篤副作用初期症状（日本語版／英語版）

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）から発表された「重篤副作用疾患別対応マニュアル」に記載されている副作用について、初期症状を作成しています。

### 例

『ロコアテープ』の添付文書には、重篤副作用疾患別対応マニュアルに記載されている副作用の「スティーヴンス・ジョンソン症候群」と同義語の「皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）」が記載されており、これらの初期症状を表示することが可能です。

『ロコアテープ』の添付文書（抜粋）

#### 【重大な副作用】

中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、**皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）**、剥脱性皮膚炎：中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、剥脱性皮膚炎（いずれも頻度不明）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

日本語版表示例

|                   |
|-------------------|
| 熱がでる              |
| 全身の皮膚が赤く腫れて湿疹ができる |
| 唇や口の中がただれる        |
| 眼の充血              |

英語版表示例

|                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------|
| to develop fever                                                |
| skin over the entire body is swollen red, and a rash breaks out |
| lips and mouth are ulcerated                                    |
| redness of the eye                                              |

## | 使用上の注意（日本語版／英語版）

添付文書の使用上・保管上の注意に関する情報に対して、患者さんに理解しやすい文章への変更や、文章の補足などを行っています。

## 例

『ノボラピッド30 ミックス注 フレックスペン』

## 添付文書（抜粋）

## 【重要な基本的注意】

低血糖を起こすことがあるので、**高所作業、自動車の運転等**に従事している患者に投与するときには注意すること。

## 日本語版表示例

（大人用の表示例）

運転などの危険を伴う作業を行う際には十分に注意して下さい。

（子供用の表示例）

自転車や高い所での遊びなどには十分に注意して下さい。

## 英語版表示例

（大人用の表示例）

Be very careful if you are engaged in dangerous work such as driving a vehicle.

（子供用の表示例）

Be very careful if your child rides a bicycle or plays on high places.

## 添付文書（抜粋）

## 【適用上の注意】

投与時

本剤は**懸濁製剤**であるので、**次の手順で十分に混和し均一にした後、使用**すること。

## 日本語版表示例

よく振ってから使用して下さい。

## 英語版表示例

Shake well before using.

## 添付文書（抜粋）

貯法：**凍らせ**ないようにして、**冷蔵庫**で保管して下さい。

## 日本語版表示例

凍らせないようにして、冷蔵庫で保管して下さい。

## 英語版表示例

Store it in a refrigerator without freezing.

## 相互作用（日本語版／英語版）

相互作用情報について、患者さんに理解しやすい表現への変更や、文章の補足などを行っています。「医薬品に関する注意」と「飲食物に関する注意」に対応しています。

### 医薬品に関する注意（日本語版／英語版）

#### 例

『デカドロン錠0.5mg』の添付文書（抜粋）

#### 【併用注意】

| 薬剤名等                                               | 臨床症状・措置方法                           | 機序・危険因子                                                                   |
|----------------------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| マクロライド系抗生物質：<br>エリスロマイシン<br>アゾール系抗真菌剤：<br>イトラコナゾール | 副腎皮質ホルモン剤の作用が増強されるとの報告がある。          | 本剤の代謝が阻害されるおそれがある。                                                        |
| HIVプロテアーゼ阻害剤：<br>リトナビル                             | 本剤のAUCの上昇あるいはこれらの薬剤のAUCが低下するおそれがある。 | チトクロームP450に対して競合する可能性がある。また、本剤がチトクロームP450を誘導することより、これらの薬剤の代謝が促進される可能性がある。 |

#### 日本語版表示例

抗生物質のうち<マクロライド系>に分類される薬  
抗菌剤のうち<アゾール系>に分類される薬  
ウイルス薬のうち<プロテアーゼ阻害剤>に分類されるもの

#### 英語版表示例

antibiotic classified as <macrolide>  
antimicrobial agent classified as <azole>  
antiviral medicine classified as <protease inhibitor>

処方薬における相互作用の発現事象についても、患者さんが理解しやすい表現に変更しています。

#### 例

『スタレボ配合錠L50』の添付文書（抜粋）

#### 【併用注意】

| 薬剤名等                 | 臨床症状・措置方法         | 機序・危険因子                      |
|----------------------|-------------------|------------------------------|
| NMDA受容体拮抗剤<br>メマンチン等 | 本剤の作用を増強するおそれがある。 | これらの薬剤により、ドパミン遊離が促進する可能性がある。 |

#### 日本語版表示例

『スタレボ配合錠L50』⇔『メモリーOD錠5mg』（メマンチン塩酸塩錠）  
上記の薬品を一緒に使用すると、ときに“効き目が強くなる”場合があるので、不快な症状やいつもと違うと感じたら、すぐに医師や薬剤師にご連絡ください。

#### 英語版表示例

“Stalevo” ⇔ “Memory OD” (Memantine hydrochloride)  
When you use the above medicines together, “The efficacy becomes stronger.”, so if symptoms that are different from usual are seen, please consult a physician or a pharmacist.



## 飲食物に関する注意（日本語版／英語版）

### 例

『イスコチン錠100mg』の添付文書（抜粋）

#### 【併用注意】

| 薬剤名等                  | 臨床症状・措置方法                               | 機序・危険因子                                                                                       |
|-----------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ヒスチジンを多く含有する魚<br>マグロ等 | 頭痛、紅斑、嘔吐、そう痒等の<br>ヒスタミン中毒を起こすことが<br>ある。 | 本剤のヒスタミン代謝酵素阻害作用に<br>より、体内にヒスタミンが蓄積すると<br>考えられている。                                            |
| チラミンを多く含有する食物<br>チーズ等 | 血圧上昇、動悸があらわれるこ<br>とがある。                 | 本剤のMAO阻害作用により、チラミ<br>ンは不活性化されず、アドレナリン作<br>動性神経終末部において蓄積されてい<br>るカテコールアミンの遊離を促進する<br>と考えられている。 |

#### 日本語版表示例

下記の飲食物や生活上で使うものを一緒に使用すると、薬の効果に影響をおよぼすことがあるので、いつもと違う症状などがみられた場合は、医師や薬剤師にご相談ください。

ヒスチジン（アミノ酸の一種）を含むもの<かつお、まぐろ、ぶり（はまち）、大豆、小麦  
など>

チラミンを含むもの<コーヒー、そら豆、チーズ、ビール、赤ワイン など>

#### 英語版表示例

When the following foods, drinks and daily life items are used together, an influence is exerted on the effect of the medicine, so if symptoms that are different from usual are seen, please consult a physician or a pharmacist.

things containing histidine (an amino acid) (e.g. bonito, tuna, yellowtail (young yellowtail), soybean, and wheat)

things containing tyramine (e.g. coffee, fava bean, cheese, beer, and red wine)

## データベースの機能

### 薬剤情報提供を支援

患者さんが薬を正しく使用するための薬剤情報提供書やお薬手帳などにご利用いただくことが可能です。また、各種文書発行時に患者さんにあわせた情報を選択してご利用いただけます。

#### 使用にあわせた記載内容の選択

「薬を使う時」「薬を使った後」「薬を使っている間の生活上の注意」など、使用上の注意の内容を区分した情報を保持しています。

添付文書の情報を羅列するだけでは煩雑になりやすい膨大な情報の中から、薬品の使用にあわせて、情報提供のON/OFF（表示/非表示）を設定することが可能です。

#### 例

『アミティーザカプセル24μg』の添付文書（抜粋）

##### 【適用上の注意】

薬剤交付時：**PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用**するよう指導すること。〔PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。〕

| 使用上の注意               | 情報提供   |         |                 |
|----------------------|--------|---------|-----------------|
|                      | 薬を使うとき | 薬を使った後で | 薬を使っている間の生活上の注意 |
| お薬は包装から取り出して服用して下さい。 | ON/OFF | ON/OFF  | ON/OFF          |

#### 例

『レルベア100エリプタ30吸入用』の添付文書（抜粋）

##### 【適用上の注意】

吸入後

本剤**吸入後に、うがいを実施**するよう患者を指導すること（口腔咽頭カンジダ症又は嚔声の予防のため）。ただし、うがいが困難な患者には、うがいではなく、口腔内をすすぐよう指導すること。

| 使用上の注意                                | 情報提供   |         |                 |
|---------------------------------------|--------|---------|-----------------|
|                                       | 薬を使うとき | 薬を使った後で | 薬を使っている間の生活上の注意 |
| 吸入後はうがいをして下さい。うがいが困難な場合は、口の中をすすいで下さい。 | ON/OFF | ON/OFF  | ON/OFF          |

## 例

『アデムバス錠1.0mg』の添付文書（抜粋）

## 【特定の背景を有する患者に関する注意】

喫煙者

**禁煙させることが望ましい。**非喫煙者に比べて本剤の血漿中濃度が低下する。

| 使用上の注意       | 情報提供                                    |                                         |                                         |
|--------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
|              | 薬を使うとき                                  | 薬を使った後で                                 | 薬を使っている間の生活上の注意                         |
| 使用中は禁煙して下さい。 | ON <input checked="" type="radio"/> OFF | ON <input checked="" type="radio"/> OFF | <input checked="" type="radio"/> ON OFF |

## I 性別にあわせた選択

妊婦や授乳婦に対する注意喚起の内容は、原則として成人女性のみに必要な情報です。男女どちらか一方に対する注意喚起の情報について、患者さんの性別による情報提供のON/OFF（表示/非表示）を設定することが可能です。

## 例

『レブラミドカプセル5mg』の添付文書（抜粋）

## 【警告】

本剤は精液中へ移行することから、**投与終了4週間後まで、性交渉を行う場合は極めて有効な避妊法の実施を徹底（男性は必ずコンドームを着用）**させ、避妊を遵守していることを十分に確認すること。

## 【特定の背景を有する患者に関する注意】

生殖能を有する者

**投与開始予定4週間前から投与終了4週間後まで、性交渉を行う場合はパートナーと共に極めて有効な避妊法の実施を徹底（男性は必ずコンドームを着用）**させ、避妊を遵守していることを十分に確認すること。

妊婦

**妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないこと。**カニクイザルでの生殖発生毒性試験では、妊娠中にレナリドミドを投与された母動物の胎児に奇形が認められた。レナリドミドはヒトで催奇形性を有する可能性がある。

| 使用上の注意                                     | 情報提供                                    |                                         |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
|                                            | 男性                                      | 女性                                      |
| 妊娠およびその可能性がある方は、この薬を使用することはできません。          | ON <input checked="" type="radio"/> OFF | <input checked="" type="radio"/> ON OFF |
| 妊娠する可能性のある方は、この薬の使用前4週間から使用後4週間までは避妊して下さい。 | ON <input checked="" type="radio"/> OFF | <input checked="" type="radio"/> ON OFF |
| 男性は、この薬を使用中および使用を中止してから4週間は避妊するようにして下さい。   | <input checked="" type="radio"/> ON OFF | ON <input checked="" type="radio"/> OFF |

例

『ワーファリン錠 1mg』の添付文書（抜粋）

【特定の背景を有する患者に関する注意】

授乳婦  
本剤投与中の授乳婦には**授乳を避けさせる**こと。ヒト母乳中に移行し、新生児に予期しない出血があらわれることがある。

| 使用上の注意                   | 情報提供               |                    |
|--------------------------|--------------------|--------------------|
|                          | 男性                 | 女性                 |
| この薬を使用される方は、授乳を行わないで下さい。 | ON/ <del>OFF</del> | <del>ON</del> /OFF |

患者属性による注意情報の選択

併用する飲食物や投与経路の禁止および限定に対する注意喚起の内容について、患者属性により情報を選択して提供することが可能です。

例

■ 飲食物との相互作用

『ジルテックドライシロップ 1.25%』の添付文書（抜粋）

【併用注意】

**アルコール**

| 使用上の注意                                                            | 情報提供               |                    |                    |                    |                    |
|-------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
|                                                                   | 小児                 | 一般                 | 高齢者                | 男性                 | 女性                 |
| 次のものはこのお薬との飲み合わせに注意が必要です<br>アルコールを含むもの<ジン、ウォッカ、ラム、ウイスキー、ブランデー など> | ON/ <del>OFF</del> | <del>ON</del> /OFF | <del>ON</del> /OFF | <del>ON</del> /OFF | <del>ON</del> /OFF |

例

■ 投与経路の禁止

『ラキソベロン内用液 0.75%』の添付文書（抜粋）

【適用上の注意】

薬剤投与時の注意：**眼科用（点眼）として使用しないこと。**

| 使用上の注意        | 情報提供               |                    |                    |                    |                    |
|---------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
|               | 小児                 | 一般                 | 高齢者                | 男性                 | 女性                 |
| 目には使用しないで下さい。 | <del>ON</del> /OFF | <del>ON</del> /OFF | <del>ON</del> /OFF | <del>ON</del> /OFF | <del>ON</del> /OFF |

## 例

## ■投与経路の限定

『ポルタレンサボ2.5mg』の添付文書（抜粋）

## 【適用上の注意】

使用時：直腸投与による外用にのみ使用すること。

| 適用上の注意                                 | 情報提供   |        |        |        |        |
|----------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                                        | 小児     | 一般     | 高齢者    | 男性     | 女性     |
| お薬は指示を守って正しくお使い下さい。<br>それ以外の使用はおやめ下さい。 | ON/OFF | ON/OFF | ON/OFF | ON/OFF | ON/OFF |

## 英語による薬剤情報提供の支援

英語に対応した各種データを用いることで、英語による薬剤情報提供書を作成することが可能です。

### 例

『ドラル錠15』のデータ（概略）

#### 日本語版表示例

| 項目            | 薬剤情報                                      |
|---------------|-------------------------------------------|
| 商品名           | ドラル錠15                                    |
| 一般名           | クアゼパム錠                                    |
| 規格            | 15mg 1錠                                   |
| 色調            | 淡橙                                        |
| 投与経路          | 経口                                        |
| 使用タイミング       | 就寝直前                                      |
| 効能効果          | 寝つきが悪い、熟睡できないなどの不眠症状を改善するお薬です。            |
| 重篤副作用<br>初期症状 | ろれつが回らない／手足がうまく動かない                       |
| 作業（職業）上の注意    | 翌朝以降もお薬の影響が出ることがあります。運転などの危険を伴う作業は避けて下さい。 |
| 適用上の注意        | 食後の服用は避けて下さい。                             |
| 相互作用に関する注意    | <リトナビル>という成分を含む薬                          |
| 飲食物との注意       | アルコールを含むもの<ジン、ウオッカ、ラム、ウイスキー、ブランデー など>     |
| 妊婦への注意        | 妊娠およびその可能性がある方は、治療上必要な場合に限り、使用するお薬です。     |
| 授乳婦への注意       | この薬を使用される方は、授乳を行わないで下さい。                  |
| 保管上の注意        | 光の当たらない所で、湿気を避けて保管して下さい。                  |



#### 英語版表示例

| Category                                                       | Drug information                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Brand name                                                     | Doral                                                                                                                                 |
| Generic name                                                   | Quazepam                                                                                                                              |
| Specification                                                  | 15 mg/1 tablet(s)                                                                                                                     |
| Color                                                          | pale orange                                                                                                                           |
| Route of administration                                        | oral                                                                                                                                  |
| Timing of the dosage                                           | just before going to sleep                                                                                                            |
| Indications                                                    | This is a medicine to improve insomnia symptoms such as having trouble getting to sleep and lack of deep sleep.                       |
| Clinically significant<br>adverse reactions<br>initial symptom | slur words/cannot move arms and legs very well                                                                                        |
| Attention in the work<br>and occupation                        | The medicine may affect you even on and after the next morning. Avoid dangerous work such as driving a vehicle.                       |
| Precautions concerning<br>use                                  | Do not take it after meals.                                                                                                           |
| Precautions for drug<br>interaction                            | medicine containing an ingredient called <ritonavir>                                                                                  |
| Food/Drink interactions                                        | things containing alcohol (e.g. gin, vodka, rum, whisky, and brandy)                                                                  |
| Precautions for use<br>during pregnancy                        | This is a medicine that should be used by a pregnant woman or a woman of childbearing potential only when it is needed for treatment. |
| Precautions for use<br>during lactation                        | Anyone who uses this medicine should not breastfeed a child.                                                                          |
| Precautions of storage                                         | Store it away from sunlight and moisture.                                                                                             |

## データベースの概要

内服薬の粉碎、分割、脱カプセル、一包化に関するデータベースです。

調剤時の参考情報としてご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品のうち内服薬の錠剤、カプセル剤、顆粒剤などを対象としています。

## データベースの特徴

### 添付文書およびインタビューフォームの情報に対応

添付文書やインタビューフォームに記載されている情報をもとに、粉碎、分割、脱カプセル、一包化の適否を「可、不可、条件付可」などに区分しています。また、これらの判断の根拠とした添付文書やインタビューフォームの該当箇所の情報を取得することが可能です。

### 粉碎の判別に対応

#### 例

『カルナクリン錠25、カプセル25』  
の添付文書（抜粋）

| 2.製剤の性状                                                           |           |    |        |
|-------------------------------------------------------------------|-----------|----|--------|
| <錠>                                                               |           |    |        |
| (1)カルナクリン錠25は、白色の腸溶性フィルムコーティング錠であり、におい及び味はない。                     |           |    |        |
| 外形                                                                | 表         | 裏  | 側面     |
|                                                                   |           |    |        |
| 直径(mm)                                                            | 厚さ(mm)    |    | 重量(mg) |
| 7.3                                                               | 3.6       |    | 141    |
| <カプセル>                                                            |           |    |        |
| (3)カルナクリンカプセル25は、頭部だいたい色、胴部白色の4号硬カプセル剤で、内容物は、白色の腸溶性顆粒で、におい及び味はない。 |           |    |        |
| 外形                                                                | 頭部        | 胴部 |        |
|                                                                   |           |    |        |
|                                                                   | だいたい色     | 白色 |        |
| 識別コード                                                             | 重量(内容物)mg |    |        |
| Sc210                                                             | 195(155)  |    |        |

『カルナクリン錠25、カプセル25』  
のデータ（概略）

| 商品名          | 粉碎 | 理由・条件 | 情報源  |
|--------------|----|-------|------|
| カルナクリン錠25    | 不可 | 腸溶性   | 添付文書 |
| カルナクリンカプセル25 | 不可 | 腸溶性顆粒 | 添付文書 |

「腸溶性」のため「粉碎不可」

『バルネチール錠50、細粒50%』  
の添付文書・インタビューフォーム（抜粋）

| <添付文書>                                                    |               |             |             |
|-----------------------------------------------------------|---------------|-------------|-------------|
| 3.2 製剤の性状                                                 |               |             |             |
|                                                           | バルネチール錠50     | バルネチール錠100  | バルネチール錠200  |
| 色・剤形                                                      | 白色のフィルムコート錠   | 白色のフィルムコート錠 | 白色のフィルムコート錠 |
| 外形(識別コード)                                                 |               |             |             |
| 直径(mm)                                                    | 5.6           | 7.1         | 9.1         |
| 厚さ(mm)                                                    | 2.8           | 3.4         | 4.1         |
| 重さ(g)                                                     | 0.071         | 0.138       | 0.274       |
| バルネチール細粒50%                                               |               |             |             |
| 色・剤形                                                      | 白色のフィルムコート細粒剤 |             |             |
| <インタビューフォーム>                                              |               |             |             |
| 1. 剤形                                                     |               |             |             |
| (1) 剤形の区別                                                 |               |             |             |
| 原薬が苦味を有するためフィルムコート錠とし、服用しやすくした。また、同様の理由で細粒にもコーティングを施している。 |               |             |             |

『バルネチール錠50、細粒50%』  
のデータ（概略）

| 商品名         | 粉碎   | 理由・条件                           | 情報源        |
|-------------|------|---------------------------------|------------|
| バルネチール錠50   | 条件付可 | 原薬が苦味を有するためフィルムコート錠とし、服用しやすくした。 | インタビューフォーム |
| バルネチール細粒50% | 条件付可 | 原薬が苦味を有するため、細粒にもコーティングを施している。   | インタビューフォーム |

「苦味のためフィルムコーティング」との情報より錠剤、細粒ともに「粉碎条件付可」

## 分割および脱カプセルの判別に対応

### 例

『ノルバスク錠2.5mg・OD錠2.5mg』  
の添付文書（抜粋）

| 3.2 製剤の性状  |                   | ノルバスク錠2.5mg | ノルバスクOD錠2.5mg |
|------------|-------------------|-------------|---------------|
| 外形<br>(mm) | 上面                |             |               |
|            | 下面                |             |               |
|            | 側面                |             |               |
| 識別<br>コード  | —                 | —           |               |
| 色調等        | 白色<br>フィルムコーティング錠 | 淡黄色<br>素錠   |               |

14. 適用上の注意  
14.1 薬剤調製時の注意  
<錠>  
14.1.1 分割後は早めに使用すること。分割後に使用する場合には、遮光の上30日以内に使用すること。  
<OD錠>  
14.1.2 分割後は早めに使用すること。分割後やむを得ず保存する場合には、湿気、光を避けて保存すること。

『ノルバスク錠2.5mg・OD錠2.5mg』  
のデータ（概略）

| 商品名               | 分割/<br>脱カプセル | 理由・条件                                                  | 情報源  |
|-------------------|--------------|--------------------------------------------------------|------|
| ノルバスク錠<br>2.5mg   | 条件付可         | 分割後は早めに使用する。<br>分割後に使用する場合に<br>は、遮光の上30日以内<br>に使用する。   | 添付文書 |
| ノルバスクOD錠<br>2.5mg | 条件付可         | 分割後は早めに使用する。<br>分割後やむを得ず保存す<br>る場合には、湿気、光を<br>避けて保存する。 | 添付文書 |

「分割後の注意」に関する情報より「分割“条件付可”」

『ポマリストカプセル1・2mg』  
の添付文書（抜粋）

| 3. 組成・性状         |                  |                  |
|------------------|------------------|------------------|
| 3.1 組成           |                  |                  |
| 販売名              | ポマリストカプセル<br>1mg | ポマリストカプセル<br>2mg |
| 有効成分<br>(1カプセル中) | ポマリドミド1mg        | ポマリドミド2mg        |
| 3.2 製剤の性状        |                  |                  |
| 販売名              | ポマリストカプセル1mg     | ポマリストカプセル2mg     |
| 剤形               | 硬カプセル剤           | 硬カプセル剤           |
| 外形               |                  |                  |

14. 適用上の注意  
14.1 薬剤調製時の注意  
脱カプセルをしないこと。  
14.2 薬剤交付時の注意  
14.2.2 カプセルをかみ砕いたり、開けたりせずに服用する  
よう指導すること。

『ポマリストカプセル1・2mg』  
のデータ（概略）

| 商品名              | 分割/<br>脱カプセル | 理由・条件                                                          | 情報源  |
|------------------|--------------|----------------------------------------------------------------|------|
| ポマリスト<br>カプセル1mg | 不可           | 抗癌性腫瘍剤<br>脱カプセルをしない。<br>カプセルをかみ砕いたり、<br>開けたりせずに服用する<br>よう指導する。 | 添付文書 |
| ポマリスト<br>カプセル2mg | 不可           | 抗癌性腫瘍剤<br>脱カプセルをしない。<br>カプセルをかみ砕いたり、<br>開けたりせずに服用する<br>よう指導する。 | 添付文書 |

「調剤時・服用時の注意」に関する情報より「脱カプセル“不可”」

なお、分割に関連した割線の有無や分割数の情報は、「剤形データベース」にて保持しています。

## 一包化の判別に対応

### 例

『デバケン錠100mg』の添付文書（抜粋）

| 3. 組成・性状  |            |
|-----------|------------|
| 3.2 製剤の性状 |            |
| 販売名       | デバケン錠100mg |
| 直径(mm)    | 8.2        |
| 厚さ(mm)    | 4.2        |
| 重量(g)     | 0.19       |
| 表面        |            |
| 側面        |            |

20. 取扱い上の注意  
本剤は吸湿性が強いので、服用直前までPTPシートから取り出さないこと。また、保存に際してPTPシートを破損しないこと。[14.1参照]  
14. 適用上の注意  
14.1 薬剤調製時の注意  
本剤は一包化調剤を避けること。[20.参照]

『デバケン錠100mg』のデータ（概略）

| 商品名            | 一包化 | 理由・条件                                                                          | 情報源  |
|----------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------|------|
| デバケン錠<br>100mg | 不可  | 一包化調剤を避ける。<br>吸湿性が強いので、服用直前ま<br>でPTPシートから取り出さな<br>い。また、保存に際してPTP<br>シートを破損しない。 | 添付文書 |

「一包化調剤を避ける」との情報より「一包化“不可”」



## 『アリセプトD錠5mg』の添付文書（抜粋）

|                                                            |                |  |
|------------------------------------------------------------|----------------|--|
| 3. 組成・性状                                                   |                |  |
| 3.2 製剤の性状                                                  |                |  |
| 販売名                                                        | アリセプト<br>D錠5mg |  |
| 剤形                                                         | 口腔内崩壊錠         |  |
| 識別コード                                                      | e248           |  |
| 外形                                                         | 表              |  |
|                                                            | 裏              |  |
|                                                            | 側面             |  |
| 直径 (mm)                                                    | 8.0            |  |
| 質量 (mg)                                                    | 168            |  |
| 厚さ (mm)                                                    | 3.3            |  |
| 色                                                          | 白色             |  |
| 14. 適用上の注意                                                 |                |  |
| 14.2 薬剤調製時の注意                                              |                |  |
| 14.2.1 自動分包機を使用する場合は欠けることがあるため、カセットのセット位置及び錠剤投入量などに配慮すること。 |                |  |

## 『アリセプトD錠5mg』のデータ（概略）

| 商品名        | 一包化  | 理由・条件                                             | 情報源  |
|------------|------|---------------------------------------------------|------|
| アリセプトD錠5mg | 条件付可 | 自動分包機を使用する場合は欠けることがあるため、カセットのセット位置及び錠剤投入量などに配慮する。 | 添付文書 |

「自動分包機に関する注意」の情報より「一包化”条件付可”」

## データベースの機能

## 調剤業務を支援

粉砕、分割、脱カプセルや一包化調剤の適否を判別するための参考情報としてご利用いただけます。判断の根拠とした添付文書やインタビューフォームの該当箇所を表示することが可能です。

## 例

## 処方例

デパケン錠200mg 1回1錠 1日3回 毎食後 30日分  
エビリファイ錠6mg 1回1錠 1日1回 夕食後 30日分

## 『デパケン錠200mg』、『エビリファイ錠6mg』のデータ（概略）

| 商品名        | 一包化 | 理由・条件                                                                                             | 情報源  |
|------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| デパケン錠200mg | 不可  | 吸湿性が強いので、服用直前までPTPシートから取り出さないで下さい。また、保存に際してPTPシートを破損しないようご留意下さい（本剤をPTPシートから取り出し一包化調剤することは避けて下さい）。 | 添付文書 |
| エビリファイ錠6mg | 可   | バラ包装                                                                                              | 添付文書 |



## データベースの概要

剤形、薬剤識別、製剤の色調に関するデータベースです。

患者さんへの情報提供や薬品の鑑別などにおける薬剤識別情報としてご利用いただくことが可能です。

色調に関する情報は、英語にも対応しています。

本データベースは、医療用医薬品のうち内服薬および外用薬（剤形データは外用薬を除く）を対象としています。

## データベースの特徴



### 剤形データ

内服薬における錠剤割線情報やフィルムコーティング、腸溶錠などの詳細な剤形情報です。

錠剤の割線情報については、分割数を取得することが可能です。

### 例

『アクトス錠15』の添付文書（抜粋）

| 3. 組成・性状  |                                                                                                                      |                                                                                                                      |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3.1 組成    |                                                                                                                      |                                                                                                                      |
| 販売名       | アクトス錠15                                                                                                              | アクトス錠30                                                                                                              |
| 有効成分      | 1錠中：<br>ピオグリタゾン塩酸塩<br>16.53mg<br>(ピオグリタゾンとして15mg)                                                                    | 1錠中：<br>ピオグリタゾン塩酸塩<br>33.06mg<br>(ピオグリタゾンとして30mg)                                                                    |
| 添加剤       | カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、乳糖水和物                                                                        |                                                                                                                      |
| 3.2 製剤の性状 |                                                                                                                      |                                                                                                                      |
| 販売名       | アクトス錠15                                                                                                              | アクトス錠30                                                                                                              |
| 色・剤形      | 白色～帯黄白色の割線入りの素錠                                                                                                      |                                                                                                                      |
| 形状        |  直径 7.0mm<br>厚さ 2.4mm<br>重量 120mg |  直径 7.0mm<br>厚さ 2.5mm<br>重量 120mg |
| 識別コード     | △ 390      △ 391                                                                                                     |                                                                                                                      |

『アクトス錠15』のデータ（概略）

| 剤形 | 割線 | 分割数 |
|----|----|-----|
| 素錠 | 有り | 4   |

『インヴェガ錠3mg』の添付文書（抜粋）

| 3. 組成・性状                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                          |                          |                          |
|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 3.1 組成                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                          |                          |                          |
| 本剤は、 <u>浸透圧を利用した放出制御システム（OROS）</u> を応用した、 <u>バリペリドンの放出制御型の徐放錠</u> である。 |                                                                                                                                                                                                                                                          |                          |                          |
| 販売名                                                                    | インヴェガ錠<br>3mg                                                                                                                                                                                                                                            | インヴェガ錠<br>6mg            | インヴェガ錠<br>9mg            |
| 有効成分                                                                   | (1錠中)<br>バリペリドン<br>3mg含有                                                                                                                                                                                                                                 | (1錠中)<br>バリペリドン<br>6mg含有 | (1錠中)<br>バリペリドン<br>9mg含有 |
| 添加剤                                                                    | 塩化ナトリウム、カルナウバロウ、酢酸セルロース、三二酸化鉄、ジブチルヒドロキシルエン、ステアリン酸、ヒドロキシエチルセルロース、ポビドン、ポリエチレンオキシド200K、ポリエチレンオキシド7000K、マクロゴール4000、ヒプロメロース、酸化チタン、黄色三二酸化鉄 <sup>(注1、2)</sup> 、黒酸化鉄 <sup>(注3)</sup> 、乳糖水和物 <sup>(注1)</sup> 、トリアセチン <sup>(注1)</sup> 、マクロゴール400 <sup>(注2、3)</sup> |                          |                          |

『インヴェガ錠3mg』のデータ（概略）

| 剤形                       | 割線 |
|--------------------------|----|
| 徐放性・フィルムコーティング錠（分割・粉砕不可） | 無し |

### 14. 適用上の注意

#### 14.1 薬剤交付時の注意




**14.1.2** 本剤は徐放性製剤であるため、噛んだり、割ったり、砕いたり、溶解したりしないよう指導すること。また、開封後は時間を置かずに必ず飲み物と一緒に服用するよう指導すること。

## 薬劑識別データ（識別コード）

内服薬・外用薬の識別コードに関する情報で、多様な識別検索キーを保持しています。

### 例

『イミグラン錠50』の添付文書（抜粋）

|            |                                                                                            |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3. 組成・性状   |                                                                                            |
| 3.2 製剤の性状  |                                                                                            |
| 表<br>(直径)  | <br>7.6mm |
| 裏          |           |
| 側面<br>(厚さ) | <br>3.4mm |

『イミグラン錠50』の製剤写真



『イミグラン錠50』のデータ（概略）

| 記載箇所 | 薬劑識別記号   |
|------|----------|
| 本体表  | GXES3    |
| 本体裏  | なし       |
| 被包表  | 50       |
| 被包裏  | GSKGXES3 |

『イミグラン錠50』の検索キー（概略）

「GXES3」「3GXES」「ES3GX」  
「50」  
「GSKGXES3」「3GSKGXES」  
「ES3GSKGX」「GXES3GSK」

## カラーデータ（日本語版／英語版）

内服薬・外用薬の添付文書に記載されている製剤の色調情報で、英語にも対応しています。

### 例

『リンゼス錠0.25mg』の添付文書（抜粋）

| 3. 組成・性状    |     |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     |       |
|-------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 3.2 製剤の性状   |     |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     |       |
| 剤形          | 色   | 外形・大きさ・重量                                                                           |                                                                                     |                                                                                     | 識別コード |
|             |     | 表                                                                                   | 裏                                                                                   | 側面                                                                                  |       |
| フィルムコーティング錠 | 淡黄色 |  |  |  | ★725  |
|             |     | 直径                                                                                  | 厚さ                                                                                  | 重量                                                                                  |       |
|             |     | 約6.6mm                                                                              | 約3.1mm                                                                              | 約115mg                                                                              |       |

『リンゼス錠0.25mg』のデータ（概略）

日本語版表示例

カラー

淡黄

英語版表示例

color

pale yellow

『アズノールうがい液4%』の添付文書（抜粋）

|                                                                                                                               |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 組成・性状                                                                                                                         |  |
| 1. 組成                                                                                                                         |  |
| 本剤は、1 mL中アズレンスルホン酸ナトリウム水和物40mgを含有する。<br>添加物としてグリセリン、エタノール、ポリソルベート80、エドト酸ナトリウム水和物、リン酸水素ナトリウム水和物、無水リン酸二水素ナトリウム、メントール、ハッカ油を含有する。 |  |
| 2. 製剤の性状                                                                                                                      |  |
| 本剤は、 <u>濃青色</u> の液で、芳香がある。<br>pH：6.5～8.5                                                                                      |  |

『アズノールうがい液4%』のデータ（概略）

日本語版表示例

カラー

濃青

英語版表示例

color

dark blue

## データベースの機能

### 薬剤情報提供への利用

患者さん自身が薬品を確認するために薬剤情報提供書などとしてご利用いただくことが可能です。

### 薬品の鑑別

識別コードから薬品の検索を行うことが可能なため、持参薬などの鑑別を行う際にご利用いただけます。

様々な入力パターンに対応した検索を行うことが可能です。

### 調剤業務を支援

「粉碎分割一包化データベース」などとあわせて、調剤時の参考情報としてご利用いただくことが可能です。



## データベースの概要

薬品の使用時や調剤時の注意事項に関するデータベースです。

医療従事者向けの参考情報としてご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての使用時、調剤・調製時の注意情報を網羅しています。

## データベースの特徴

### 使用時の注意に関する情報

添付文書に記載されている医療従事者向けの注意情報を、使用時の参考情報として表示することが可能です。

#### 例

使用時の注意の文章に、補足文章を付け加えた情報を表示します。

『ネキシウムカプセル10mg』の添付文書（抜粋）

#### 【その他の注意】

本剤の投与が、**胃癌による症状を隠蔽することがあるので、悪性でないことを確認**して投与すること。

#### 表示例

投与前は次のことをするよう、添付文書に記載されています

胃癌による症状を隠蔽することがあるので、悪性でないことを確認

『注射用エフオーワイ100』の添付文書（抜粋）

#### 【重要な基本的注意】

ショック、アナフィラキシーショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので、**十分な問診と救急処置のとれる準備**を行い、投与にあたっては観察を十分に行い、血圧低下、発赤、痒痒、不快感、嘔気等の症状があらわれた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。

#### 表示例

投与前は次のことをするよう、添付文書に記載されています

十分な問診  
救急処置のとれる準備

### 調剤・調製時の注意に関する情報

添付文書に記載されている調剤上の注意情報を、調剤・調製時の参考情報として表示することが可能です。

#### 例

調剤・調製時の注意に、補足文章を付け加えた情報を表示します。

『ジブレキサザイディ錠5mg』の添付文書（抜粋）

#### 【適用上の注意】

薬剤調製時の注意

**通常の錠剤と比較してやわらかいため、自動分包機には適さない。**

#### 表示例

調剤に際して次のような注意があります

通常の錠剤と比較してやわらかいため、自動分包機には適さない

『ミリスロール注1mg/2mL』の添付文書（抜粋）

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤は**塩化ビニル製の輸液容器及び輸液セットに吸着されるので、本剤点滴時にはガラス製、ポリエチレン製又はポリプロピレン製の輸液容器を使用**すること。

#### 表示例

使用する器具・機器などに関して次のような注意があります

塩化ビニル製の輸液容器及び輸液セットに吸着されるので、本剤点滴時にはガラス製、ポリエチレン製又はポリプロピレン製の輸液容器を使用

## データベースの機能

### 薬品の使用時や調剤時の注意情報を表示

処方や調剤の際に、薬品の使用、調剤・調製に関する注意情報としてご利用いただけます。



## データベースの概要

経管経腸栄養剤をはじめとした、栄養成分を含有する医療用医薬品の栄養成分に関するデータベースです。処方設計時に栄養量などの算出を行うことが可能です。

## データベースの特徴

該当する薬品におけるビタミンや微量元素をはじめとした栄養組成成分の種類や含有量の情報です。

### 例

『エレメンミック注』のデータ（概略）

|                    |              |                         |              |
|--------------------|--------------|-------------------------|--------------|
| 2mL中               |              |                         |              |
| 【有効成分】             |              |                         |              |
| ヨウ化カリウム            | 0.1660mg     | 分子式 K I                 | 分子量 166.0000 |
| 塩化マンガン             | 0.1979mg     | 分子式 M n C l 2           | 分子量 125.8400 |
| 塩化第二鉄              | 9.4600mg     | 分子式 F e C l 3           | 分子量 162.2000 |
| 硫酸亜鉛水和物            | 17.2500mg    | 分子式 Z n S O 4 · 7 H 2 O | 分子量 287.5500 |
| 硫酸銅                | 1.2480mg     | 分子式 C u S O 4           | 分子量 159.6200 |
| 【電解質】              |              | 【微量元素】                  |              |
| C l -              | 53.4972mEq/L | マンガン (M n)              | 1.0000μmol   |
| K +                | 0.5000mEq/L  | ヨウ素 (I)                 | 1.0000μmol   |
| 【浸透圧比】             |              | 亜鉛 (Z n)                | 60.0000μmol  |
| 0.5000             |              | 鉄 (F e)                 | 35.0000μmol  |
|                    |              | 銅 (C u)                 | 5.0000μmol   |
| 【添加物】              |              |                         |              |
| コンドロイチン硫酸エステルナトリウム | 9.7740mg     |                         |              |
| 水酸化ナトリウム (pH調節剤)   | 分子式 N a O H  | 分子量 40.0000             |              |

## データベースの機能

### 処方設計を支援

処方量から各薬品の栄養成分の摂取量を算出することが可能です。栄養のコントロールが必要な患者さんの処方設計のための情報としてご利用いただけます。

### 例

『エネーボ配合経腸用液』が1,000mL、『ワンパル1号輸液』が800mL1キット処方された場合

『エネーボ配合経腸用液』1,000mLのデータ（概略）

|         |              |               |              |
|---------|--------------|---------------|--------------|
| 【有効成分量】 |              | 【電解質量】        |              |
| L-カルニチン | 128.0000mg   | C a + +       | 57.8842mEq   |
| カリウム    | 1.2000g      | C l -         | 28.2087mEq   |
| カルシウム   | 1.1600g      | K +           | 30.6905mEq   |
| クロム     | 124.0000μg   | M g + +       | 17.1123mEq   |
| コリン     | 0.8400g      | N a +         | 40.0174mEq   |
| セレン     | 80.0000μg    | P             | 1000.0000mg  |
| タウリン    | 180.0000mg   | 【微量元素量】       |              |
| ナイアシン   | 18.0000mg    | クロム (C r)     | 2.3800μmol   |
| ナトリウム   | 0.9200g      | セレン (S e)     | 1.0100μmol   |
| パントテン酸  | 10.0000mg    | マンガン (M n)    | 101.9300μmol |
| ピオチン    | 52.0000μg    | モリブデン (M o)   | 1.4200μmol   |
| ビタミンA   | 760.0000μgRE | 亜鉛 (Z n)      | 275.2700μmol |
| ビタミンB1  | 2.0400mg     | 鉄 (F e)       | 315.1300μmol |
| ビタミンB12 | 3.5200μg     | 銅 (C u)       | 30.2100μmol  |
| ビタミンB2  | 3.2000mg     | 【熱量】          |              |
| ビタミンB6  | 3.0800mg     | 1200.0000kcal |              |
| ビタミンC   | 252.0000mg   |               |              |
| ビタミンD   | 11.2000μg    |               |              |
| (以下省略)  |              |               |              |

次ページへ続く

『ワンパル1号輸液』 800mL1キットのデータ (概略)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【有効成分量】</b></p> <p>L-アスパラギン酸 0.7600g<br/>         L-アラニン 1.2400g<br/>         L-アルギニン 1.5800g<br/>         L-イソロイシン 1.1200g<br/>         L-グルタミン酸 1.3000g<br/>         L-システイン 0.2000g<br/>         L-セリン 0.4400g<br/>         L-チロシン 0.0700g<br/>         L-トリプトファン 0.2600g<br/>         L-トレオニン 1.3000g<br/>         L-バリン 0.9000g<br/>         L-ヒスチジン 1.2000g<br/>         L-フェニルアラニン 1.8700g<br/>         L-プロリン 0.6600g<br/>         L-メチオニン 0.7000g<br/>         L-リシン 1.7580g<br/>         L-ロイシン 2.5000g<br/>         L-乳酸ナトリウム 0.5820g<br/>         アスコルビン酸 100.0000mg<br/>         (以下省略)</p> | <p><b>【電解質量】</b></p> <p>C3H5O3- 5.2000mEq<br/>         C6H5O7--- 11.7000mEq<br/>         Ca++ 8.0000mEq<br/>         CH3COO- 29.0000mEq<br/>         Cl- 50.0000mEq<br/>         K+ 25.0000mEq<br/>         Mg++ 6.0000mEq<br/>         Na+ 50.0000mEq<br/>         P 247.7600mg<br/>         SO4-- 6.1000mEq</p> <p><b>【微量元素量】</b></p> <p>マンガン (Mn) 0.5000μmol<br/>         ヨウ素 (I) 0.5000μmol<br/>         亜鉛 (Zn) 50.0000μmol<br/>         鉄 (Fe) 8.7500μmol<br/>         銅 (Cu) 2.5000μmol</p> <p><b>【熱量】</b></p> <p>560.0000kcal</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

『エネーボ配合経腸用液』 1,000mLと『ワンパル1号輸液』 800mL1キットの合算

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【有効成分量】</b></p> <p>L-カルニチン 128.0000mg<br/>         フラクトオリゴ糖 6.8000g<br/>         カリウム 1.2000g<br/>         カルシウム 1.1600g<br/>         クロム 124.0000μg<br/>         コリン 0.8400g<br/>         セレン 80.0000μg<br/>         タウリン 180.0000mg<br/>         ナトリウム 0.9200g<br/>         ナイアシン 18.0000mg<br/>         ニコチン酸アミド 20.0000mg<br/>         パントテン酸 17.5000mg<br/>         ビオチン 0.1020mg<br/>         ビタミンA 4183.3080国際単位 (ビタミンA)<br/>         ビタミンB1 6.0400mg<br/>         ビタミンB12 0.0085mg<br/>         ビタミンB2 5.7000mg<br/>         ビタミンB6 7.0800mg<br/>         ビタミンC 352.0000mg<br/>         ビタミンD 0.0137mg<br/>         ビタミンE 49.0000mg<br/>         ビタミンK 0.1910mg<br/>         マグネシウム 208.0000mg<br/>         マンガン 5.6000mg<br/>         モリブデン 136.0000μg<br/>         ヨウ化カリウム 83.0000μg<br/>         リン 1.0000g<br/>         リン酸二水素カリウム 1.0880g<br/>         亜鉛 18.0000mg<br/>         塩化カルシウム水和物 0.5880g<br/>         塩化ナトリウム 2.4520g<br/>         塩化マンガン水和物 98.9500μg<br/>         塩化第二鉄水和物 2.3650mg<br/>         塩素 1.0000g<br/>         脂肪 38.4000g<br/>         酢酸カリウム 1.6700g<br/>         炭水化物 158.4000g<br/>         蛋白質 54.0000g<br/>         鉄 17.6000mg<br/>         ブドウ糖 120.0000g<br/>         銅 1.9200mg<br/>         L-乳酸ナトリウム 0.5820g<br/>         非必須アミノ酸 8390.0000mg<br/>         必須アミノ酸 11608.0000mg<br/>         葉酸 0.5720mg<br/>         硫酸マグネシウム水和物 0.7400g<br/>         硫酸亜鉛水和物 14.3800mg<br/>         硫酸銅水和物 0.6240mg</p> | <p><b>【電解質量】</b></p> <p>CH3COO- 29.0000mEq<br/>         C6H5O7--- 11.7000mEq<br/>         Ca++ 65.8842mEq<br/>         Cl- 78.2087mEq<br/>         K+ 55.6905mEq<br/>         C3H5O3- 5.2000mEq<br/>         Mg++ 23.1123mEq<br/>         Na+ 90.0174mEq<br/>         P 1247.7600mg<br/>         SO4-- 6.1000mEq</p> <p><b>【微量元素量】</b></p> <p>クロム (Cr) 2.3800μmol<br/>         セレン (Se) 1.0100μmol<br/>         マンガン (Mn) 102.4300μmol<br/>         モリブデン (Mo) 1.4200μmol<br/>         ヨウ素 (I) 0.5000μmol<br/>         亜鉛 (Zn) 325.2700μmol<br/>         鉄 (Fe) 323.8800μmol<br/>         銅 (Cu) 32.7100μmol</p> <p><b>【熱量】</b></p> <p>1760.0000kcal</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## データベースの概要

注射薬および経管経腸栄養剤におけるナトリウムイオンやカリウムイオンなどの電解質に関するデータベースです。

処方設計時に電解質量の算出を行うことが可能です。

## データベースの特徴

該当する薬品における有効成分の電解質の種類と、100mL（液剤）又は1g（固形剤）当りの電解質濃度の情報です。

### 例

『ソリター-T3号輸液』の添付文書（抜粋）

1. 組成  
本剤は下記の成分を含有する。

| 成分        | 1袋(200mL)中 | 1袋(500mL)中 |
|-----------|------------|------------|
| 塩化ナトリウム   | 0.18g      | 0.45g      |
| 塩化カリウム    | 0.298g     | 0.745g     |
| L-乳酸ナトリウム | 0.448g     | 1.12g      |
| ブドウ糖      | 8.6g       | 21.5g      |

| 添加物         | 1袋(200mL)中 | 1袋(500mL)中 |
|-------------|------------|------------|
| L-乳酸(pH調節剤) | 適量         | 適量         |

熱量：34kcal(200mL中)、86kcal(500mL中)

| 電解質濃度 (mEq/L)   |                |                 |                        |
|-----------------|----------------|-----------------|------------------------|
| Na <sup>+</sup> | K <sup>+</sup> | Cl <sup>-</sup> | L-Lactate <sup>-</sup> |
| 35              | 20             | 35              | 20                     |

『ソリター-T3号輸液』のデータ（概略）

| 電解質の種類               | mEq/100mL |
|----------------------|-----------|
| Na <sup>+</sup>      | 3.5       |
| K <sup>+</sup>       | 2         |
| Cl <sup>-</sup>      | 3.5       |
| Lactate <sup>-</sup> | 2         |

『ホスミンS静注用0.5g』の添付文書（抜粋）

2) 本剤は14.5mEq/g(カ価)のナトリウムを含有するので、心不全、腎不全、高血圧症等ナトリウム摂取制限を要する患者に投与する場合は注意すること。

『ホスミンS静注用0.5g』のデータ（概略）

| 電解質の種類          | mEq/g |
|-----------------|-------|
| Na <sup>+</sup> | 14.5  |

## データベースの機能

### 処方設計を支援

処方量から各薬品の電解質の摂取量を算出することが可能です。

電解質量のコントロールが必要な患者さんの処方設計のための情報としてご利用いただけます。

### 例

『ソリター-T3号輸液』と『ホスミンS静注用0.5g』が処方された場合に、処方量からナトリウムイオンの摂取量を算出します。

患者さんのナトリウムイオンの適正摂取量を予め登録しておく、算出されたナトリウムイオンの摂取量との比較を行うことが可能です。

処方例

|                                           |      |
|-------------------------------------------|------|
| 『ソリター-T3号輸液』1000mL（製剤量）                   | 1日1回 |
| 『ホスミンS静注用0.5g』2g（カ価）                      | 1日1回 |
| ▼ 処方薬のナトリウムイオンの摂取量を算出                     |      |
| ナトリウムイオン摂取量 = 10 × 3.5 + 2 × 14.5 = 64mEq |      |



## データベースの概要

医療用医薬品の添付文書に記載されている熱量に関するデータベースです。  
処方設計時に熱量の算出を行うことが可能です。

## データベースの特徴

該当する薬品における100mL（液剤）又は100g（固形剤）当りの熱量とその種類の情報です。

### 例

『エルネオパNF2号輸液』の添付文書（抜粋）

| ■混合時（1袋中） |             |          |          |
|-----------|-------------|----------|----------|
| 成分        | エルネオパNF2号輸液 |          |          |
|           | 1000mL      | 1500mL   | 2000mL   |
| 総熱量       | 820kcal     | 1230kcal | 1640kcal |
| 非蛋白熱量     | 700kcal     | 1050kcal | 1400kcal |
| 非蛋白熱量/窒素  | 149         | 149      | 149      |

『エルネオパNF2号輸液』のデータ（概略）

| 熱量の種類 | 熱量（100mL当り） |
|-------|-------------|
| 非蛋白熱量 | 70kcal      |
| 総熱量   | 82kcal      |

## データベースの機能

### 処方設計を支援

処方量から各薬品の摂取熱量を算出することが可能です。

カロリーコントロールが必要な患者さんの処方設計のための情報としてご利用いただけます。

### 例

『エルネオパNF2号輸液』が処方された場合に、処方量から摂取する熱量を算出します。

患者さんの適正な摂取熱量を予め登録しておくことで、算出された熱量との比較を行うことが可能です。

処方例

|                          |             |      |
|--------------------------|-------------|------|
| 『エルネオパNF2号輸液』            | 1800mL（製剤量） | 1日1回 |
| 処方薬の総熱量を算出               |             |      |
| 総熱量 = 82 × 18 = 1476kcal |             |      |

